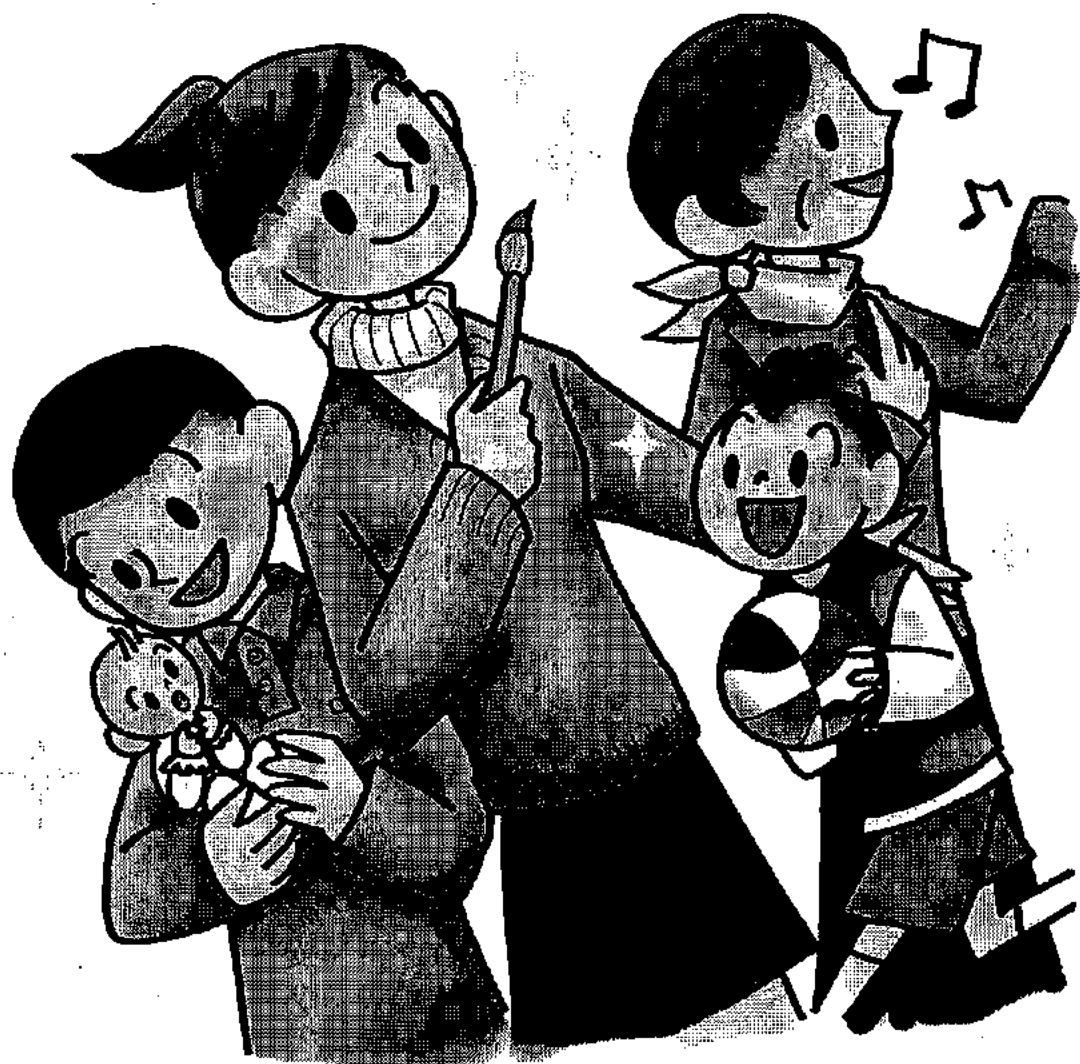


「かがやきライフタウン・大垣2005」

報告書



目次

かがやきライフタウン・大垣2005

1. かがやきライフタウン・大垣2005概要 1
2. オープニングセレモニー 14
3. かがやきプラザ 17
4. 高野優さんのトーク&おしゃべり会、わくわく異世代熱気球搭乗体験 38
5. アート・イン・大垣城ホール 43
6. かがやきセミナー 45
7. 大垣に園芸福祉活動を広めよう!! 54
8. おおがき未来創造会議 58
9. 郭町に忍者がはしる!!～忍たま大集合 86
10. プラチナ オン ステージ (元気な熟年のつどい) 89
11. クロージングステージ 92
12. スタンプラリー 95

同時開催事業

1. かがやけ!男女共同参画トーク 97
2. ダイナミックシティ大垣構想 まちの「夢・未来」絵画展 99
3. 大垣市・上石津町・墨俣町 ふるさとミニギャラリー 107

アンケート結果

1. 来場者用 108
2. 出展者・出演者用 116
3. 実施団体用 122
4. アンケート用紙 125

資料

1. かがやきライフタウン・大垣2005開催経緯 131
2. かがやきライフタウン構想 134
3. かがやきライフタウン・大垣2005提案書 144
4. かがやきライフタウン・大垣2005募集要綱 155
5. かがやきライフタウン・大垣2005事業選考会 158
6. かがやきライフタウン・大垣2005運営委員会 160
7. かがやきライフタウン構想市民懇談会 164
8. かがやきライフ委員会 167
9. 大垣市若手職員まちづくり研究会 169
10. かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議 173
11. 新聞記事・広報記事 177

「かがやきライフタウン・大垣2005」

1. 開催趣旨

市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまち・大垣を創っていこうとする「かがやきライフタウン構想」を推進するため、市民がそれぞれの活躍の場を「発見」し、お互いに「交流」しあい、自己実現や生きがいを実感できる「活動」をしていくことで、輝いた人生を送るためのきっかけづくりとするフェスティバルとして、「かがやきライフタウン・大垣2005」を開催した。

- (1) 日 時 平成17年11月19日(土) 10:15~17:00
 (10:00開場)
 20日(日) 10:00~16:00
- (2) 場 所 大垣城ホール、大垣公園、大垣市総合福祉会館、郭町一帯
- (3) 主 催 大垣市
- (4) 主 管 「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会
- (5) 入場者数 15,000人
 (19日:6,000人、20日:9,000人)

2. 事業内容

「かがやきライフタウン・大垣2005」は、「発見」・「交流」・「活動」の3つを柱として8事業を開催した。また、その他関連4事業も併せて開催した。

分野	構成事業	企画運営団体
発見 (1事業)	かがやきプラザ ・玉屋庄兵衛(かくりん)のからくりの世界 ・市民が輝く活動メッセ ・イキイキメイク体験	特定非営利活動法人大垣まちづくり市民活動支援会議
交流 (5事業)	高野優さんのトーク&おしゃべり会 わくわく異世代熱気球搭乗体験	特定非営利活動法人くすくす
	アートでかがやく人達「アート・イン・大垣城ホール」 ・アートマーケット	スイトミュージアム研究会
	かがやきセミナー ・セミナーとパネル展示	ぎふ「地球村」
	大垣に園芸福祉活動を広めよう!! ・講演(みんなが生き生きと参加している園芸活動) ・ペットボトルを利用した寄せ植え体験とパネル展示	2005園芸の会
	おおがき未来創造会議	岐阜経済大学マイスター倶楽部
活動 (2事業)	郭町に忍者がはしる!!~忍たま大集合	特定非営利活動法人大垣おやく劇場
	プラチナ オン ステージ(元気な熟年のつどい) ・プラチナプラザ屋台 ・プラチナ オン ステージ(元気な熟年のつどい) ・プラチナ寄席	終の住まい研究会

(1) 発見

かがやきプラザ

様々なまちづくり活動の紹介を通して、市民が自分のやりたいことを発見できる場を提供するとともに、まちづくり活動団体がそれぞれの活動に誇りを持ち、生き生きと輝ける場を提供することで、大垣のまちづくり活動全体の活性化を図る。

○玉屋庄兵衛(からくり師)のからくりの世界(要申込・定員200人・参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 11:15~12:45
場所：大垣城ホール 1階 ステージ
講師：溝口正成氏(犬山市文化史料館館長)
内容：講演、からくり実演、展示

○市民が輝く活動メッセ：48団体・87ブース(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 10:15~17:00
20日(日) 10:00~16:00
場所：大垣城ホール 1階 大ホール
内容：大垣市、上石津町、墨俣町をはじめとする県内外の市民活動団体、ボランティア団体、生涯学習グループ、文化サークル、スポーツサークル、企業(社会貢献活動)などの活動を紹介するブース展示、フリーマーケット、オンステージ

○イキイキメイク体験(要申込・定員各回40人・参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 1回目 13:00~14:30
2回目 15:00~16:30
場所：まちづくりプラザ(旭市防火訓練センター) 2階 会議室
内容：プロのメイクアドバイザーによる生き生きと輝くメイク体験

(2) 交流

様々な分野で活躍している人や団体の活動を紹介するとともに、全ての人が世代を超えてまちづくりについて考える交流会を開催する。

高野優さんのトーク&おしゃべり会、わくわく異世代熱気球搭乗体験

子育て中の人をはじめとする様々な世代が、子育て家庭を支えるまちづくりについて共に考えるとともに、子どもと大人が一緒になって楽しい体験をする交流会を開催する。

○高野優さんのトーク&おしゃべり会(要申込・定員200人・有料)

日時：平成17年11月20日(日) 14:00~15:30
場所：大垣市総合福祉会館 5階 ホール
講師：高野優氏(漫画家)

○わくわく異世代熱気球搭乗体験(要申込・定員各回70人・有料)

日時：平成17年11月19日(土) 1回目 10:15~12:15
2回目 14:00~16:00
場所：大垣公園城西広場

アートでかがやく人達「アート・イン・大垣城ホール」

アート分野で活動している人の交流やアーティストを育てていく環境づくりを進め、アートを生かしたまちの活性化の可能性を探る交流会を開催する。

○アートマーケット：24ブース(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 10:15~17:00
20日(日) 10:00~16:00
場所：大垣城ホール 1階 大ホール
内容：油絵、書、陶芸、木工、鍛金など

かがやきセミナー

環境分野で輝いた生き方をしている人や活動を紹介し、環境に優しいまちづくりについて意見交換を行う交流会を開催する。

○セミナー(定員：各回30人・参加無料)とパネル展示(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 1回目 11:00~11:50
2回目 13:00~13:50
3回目 14:00~14:50
4回目 15:00~15:50
場所：大垣城ホール 2階 会議室
講師：1回目・3回目 堀川ひろ子氏(飛騨高山「地球村」所属)
2回目・4回目 今井 光代氏(ネットワーク「地球村」名古屋講師)

大垣に園芸福祉活動を広めよう！！

緑や花を守り、育て、生かしながら、健康で快適な生活を送ることができるまちづくりについて考える交流会を開催する。

○講演(みんなが生き生きと参加している園芸活動)(要申込・定員50人)

日時：平成17年11月20日(日) 13:30~14:30
場所：大垣城ホール 2階 研修室
講師：渡邊利子氏(「癒しの園芸の会(大阪府)」コーディネーター)

○ペットボトルを利用した寄せ植え体験(要申込・定員100人・有料)とパネル展示(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 1回目 10:45~12:45
2回目 13:30~15:30
20日(日) 3回目 10:30~12:30
4回目 14:30~15:30
場所：大垣城ホール 2階 研修室

おおがき未来創造会議

大垣市の将来を担う若者の視点から、今後の大垣のまちづくりについて提言を行う学生会議を開催する。

○アンケート(実施中)

内容：大垣市、上石津町、墨俣町の小中学生(約700人)を対象に、今後の大垣のまちづくりについてのアンケート調査

○未来創造会議(参加無料)

日時：平成17年11月20日(日) 14:00~15:30
場所：大垣城ホール 1階 ステージ
内容：大垣市長、上石津町長、墨俣町長と3市町の高校生・大学生(20人)による座談会

(3) 活動

子どもから高齢者まで、すべての世代が、自己実現や生きがいを実感できる活動を体験できる場を提供する。

郭町に忍者がはしる！！～忍たま大集合

子どもと大人が一緒になって、大垣のまちの良さについて再認識するとともに、大垣のまちを活用した事業を企画し実践する。

日時：平成17年11月20日(日) 10:00～12:00

場所：大垣公園、旧大垣城体育館、大垣市郭町一帯

内容：子どもが生き生きと輝き育つ街を創る活動体験(忍者に扮した子どもによる中心市街地での修行(定員200人))、巨大迷路(参加無料)

プラチナ オン ステージ(元気な熟年のつどい)

プラチナ世代が、これまで培ってきた知識・経験・ノウハウを生かしたまちづくり活動を実践するとともに、これからの生きがいづくりに向けての新たな決意を発表する。

○プラチナプラザ屋台：7ブース(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 10:15～17:00
20日(日) 10:00～16:00

場所：大垣城ホール 1階 大ホール

内容：屋台形式による木目込人形、絵手紙、書、健康体操等の講座

○プラチナ オン ステージ(元気な熟年のつどい)(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 15:30～17:00
20日(日) 12:30～14:00

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：大垣市、上石津町、墨俣町のプラチナ世代による特技(手品、日舞、カラオケ、三味線など)の披露や、プラチナ世代がこれからの輝く人生を語るステージ

○プラチナ寄席(参加無料)

日時：平成17年11月20日(日) 14:30～15:30

場所：大垣城ホール 2階 会議室

内容：プラチナ世代による寄席

3. セレモニー

(1) オープニング

日時：平成17年11月19日(土) 10:15～10:45

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：オープニングステージ

主催者あいさつ

来賓あいさつ及び紹介

開会宣言

(2) クロージングステージ

日時：平成17年11月20日(日) 15:30～16:00

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：オープニングステージ

市長あいさつ

市民によるかがやきライフタウン・大垣を築くためのまちづくり宣言

フィナーレステージ

4. その他事業

(1) 関連事業

①かがやけ！ 男女共同参画トーク(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 14:30～15:30

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：高校生、大学生、主婦などが男女共同参画社会のあり方を考える討論会

②ダイナミックシティ大垣構想 まちの「夢・未来」絵画展(参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 10:15～17:00

20日(日) 10:00～16:00

場所：大垣城ホール 2階 通路

作品：459点(小学生：318点、中学生：141点)

表彰：ダイナミックシティ大垣構想 まちの「夢・未来」作文・絵画

日時：平成17年11月19日(土) 10:45～11:15

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：作文表彰：88人、絵画表彰：60人

(2) その他

①子どもコーナー

○バルーンアート(ジュニアリーダー(高校生・中学生))(参加無料)

日時：平成17年11月20日(日) 10:00～12:00

場所：大垣城ホール 1階 大ホール

○ペンダントづくり(大垣ガスリビングナビくらぶ)(無料)

日時：平成17年11月19日(土) 10:15～17:00

20日(日) 10:00～16:00

場所：大垣城ホール 1階 大ホール

○ITロボット実演 (参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 10:15~17:00
20日(日) 10:00~16:00

場所：大垣城ホール 1階 エントランスホール

内容：ロボット製作実演 (「IT致道館」相談コーナー、IT致道館 [プラス] 講座)、マイコンカー実演 (NPO法人パソコンまるごとアシスト、大垣工業高校)

②大垣市・上石津町・墨俣町 ふるさとミニギャラリー (参加無料)

日時：平成17年11月19日(土) 10:15~17:00
20日(日) 10:00~16:00

場所：大垣城ホール 1階 エントランスホール

内容：平成18年3月に合併する大垣市・上石津町、墨俣町の観光名所や郷土芸能などの写真展示

③スタンプラリー

日時：平成17年11月19日(土) 10:45~17:00
20日(日) 10:00~15:30

場所：「味どころ (西濃・まるごとバザール・インおおがき) (スタート)
まちづくりプラザ
プラチナプラザ
子育て交流プラザ
大垣城ホール・大ホール (ゴール)

景品：約5,500個 (市民による不用品リサイクル活動として提供)

抽選：大垣城ホール・エントランスホール

■「かがやきライフタウン・大垣2005」スケジュール 11月19日(土)

	大垣城ホール1F		大垣城ホール2F		大垣城ホール3F	大垣公園 城西広場	旧大垣城体育館	まちづくりプラザ		
	ステージ	大ホール	会議室	研修室	多目的室					
10:00									10:00	
10:30	オープニング	かがやきプラザ アートでかがやく人達 (アートマーケット)	プラチナプラザ アートでかがやく人達 (アートマーケット)	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	まちづくりプラザ	10:30	
11:00	まちの「夢・未来」 作文・絵画コンテスト								かがやき セミナー1	11:00
11:30	玉屋庄兵衛 (からくり人形師) の世界								11:30	
12:00									12:00	
12:30								12:30		
13:00	かがやきプラザ オンステージ							13:00		
14:00								14:00		
15:00	かがやき1 男女共同参画 トーク							15:00		
16:00	プラチナ オン ステージ (元氣な舞臺のつどい)							16:00		
17:00								17:00		

■「かがやきライフタウン・大垣2005」スケジュール 11月20日(日)

	大垣城ホール1F		大垣城ホール2F		大垣城ホール3F	大垣公園 城西広場	旧大垣城体育館	総合福祉会館	
	ステージ	大ホール	会議室	研修室	多目的室				
10:00									10:00
11:00	かがやきプラザ オンステージ	かがやきプラザ アートでかがやく人達 (アートマーケット)	プラチナプラザ アートでかがやく人達 (アートマーケット)	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	大垣に園芸福祉 活動を広めよう!! 寄せ植え体験	まちづくりプラザ	11:00
12:00									12:00
13:00	プラチナ オン ステージ (元氣な舞臺のつどい)								13:00
14:00	おおがき米 創造会議								14:00
15:00								15:00	
16:00	クローキング ステージ							16:00	
17:00								17:00	

～あなたにとって輝いた人生とは～

かがやきライフタウン 大垣2005

2005 11月19日・20日
SAT SUN

会場 大垣市総合福祉会館



「かがやきライフタウン・大垣2005」は市民の皆さんが、それぞれの活躍の場を発見し、お互いに交流しあい、自己実現や生きがいを実感できる活動をしていくことで、輝いた人生を送るためのきっかけづくりとしていくフェスティバルです。

スタンプラリー
大垣市総合福祉会館
大垣市総合福祉会館
大垣市総合福祉会館

発見

11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

交流

11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

活動

11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

セレモニー

11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

かがやきライフタウン 大垣2005

かがやきライフタウンとは

かがやきライフタウンとは、市民が社会参加や地域貢献などを通して自己実現や生きがいを実感でき、市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の能力で活力あふれるまちであり、以下のような姿がイメージできます。市民がいるいるな活動に参加することが市民の能力を引き出し、市民一人ひとりがかがやくことがまちをかがやかせることにつながるのです。

- 市民一人ひとりを大切にすること**
 - 子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが健康で、個性や魅力を生かした活動を通して自己実現や生きがいを実感できる。
 - 市民一人ひとりが輝く機会を大切にし、面白いまちづくり活動につながる。
- いつまでも住み続けたいまち**
 - 市民一人ひとりが暮らしに誇りを持ち、まちを誇らしく思う。
 - まちの個性を大切に、このまちにしかないものを生み出す。
- 交流・ふれあいのあふれるまち**
 - 笑顔ももって様々な活動に参加するとともに、子ども・高齢者・障がい者の世代の交流を大切にす。
 - 地域の交流の輪を広げ、活力を生み出す。
 - みんなで楽しいなかつくり感覚で様々な活動をする。

開催スケジュール

時間	大垣城ホール1F	大垣城ホール2F	大垣公園	大垣城ホールプラザ
10:00	開会式	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン
11:00	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン
12:00	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン
13:00	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン
14:00	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン
15:00	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン
16:00	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン	かがやきライフタウン
17:00	閉会式			

講演会講師ご紹介

11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

高野 俊氏 (たかのし しのぶ)
11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

川口 正成氏 (かわぐち せいせい)
11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

高野 俊氏 (たかのし しのぶ)
11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

川口 正成氏 (かわぐち せいせい)
11月19日 14:00-15:30
11月20日 10:00-11:30

スタンプラリー

大垣城ホールの新大垣に設置される「味どころ(西濃・まるごとバザール・インおがき)」をスタートとして、大垣城ホールをゴールとするスタンプラリーです。すべてのチェックポイントを制覇した方には、抽選で素敵な景品をプレゼントします。ぜひお参加ください。

西濃・まるごとバザール・インおがき「味どころ」(スタート)

まちづくりプラザ

プラチナプラザ

子育て交流プラザ

大垣城ホール(ゴール)

【主催】大垣市 【主幹】「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会

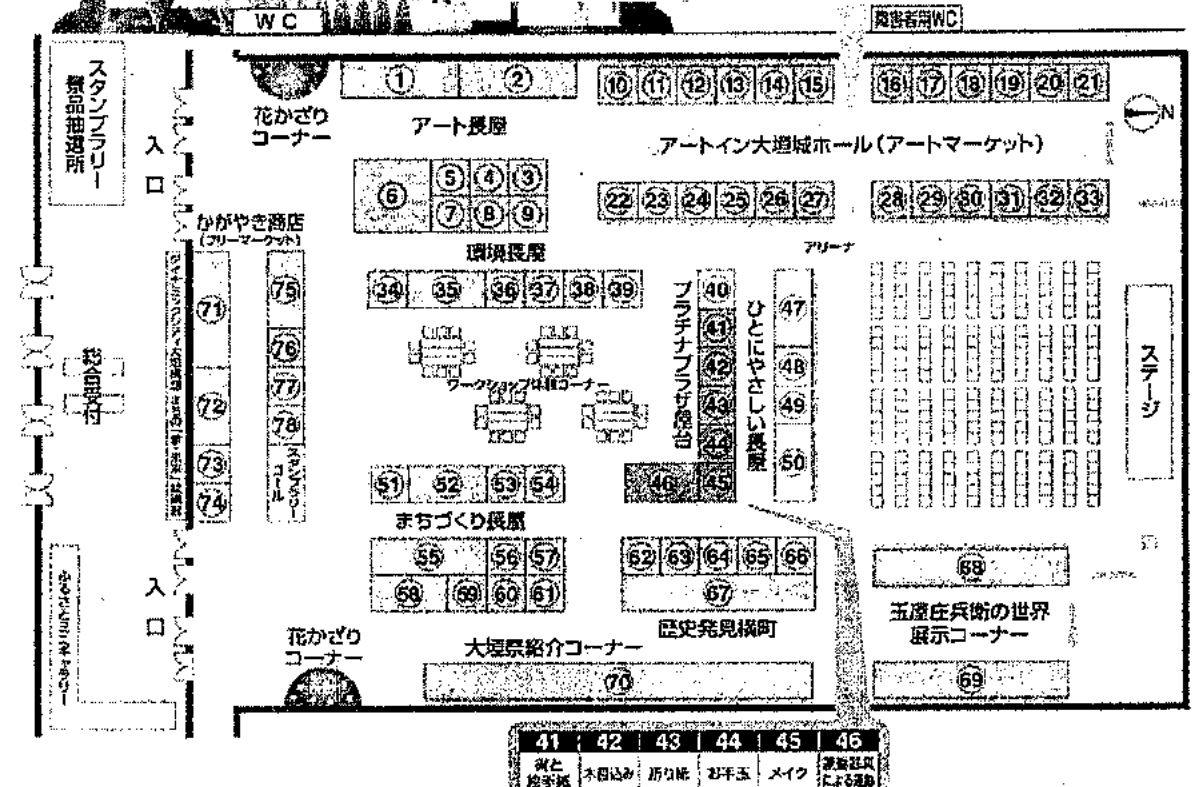
【主催】大垣市 【主幹】「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会

～あなたにとって輝いた人生とは～

かがやきライフタウン 大垣 2005

大垣ホール1階会場図

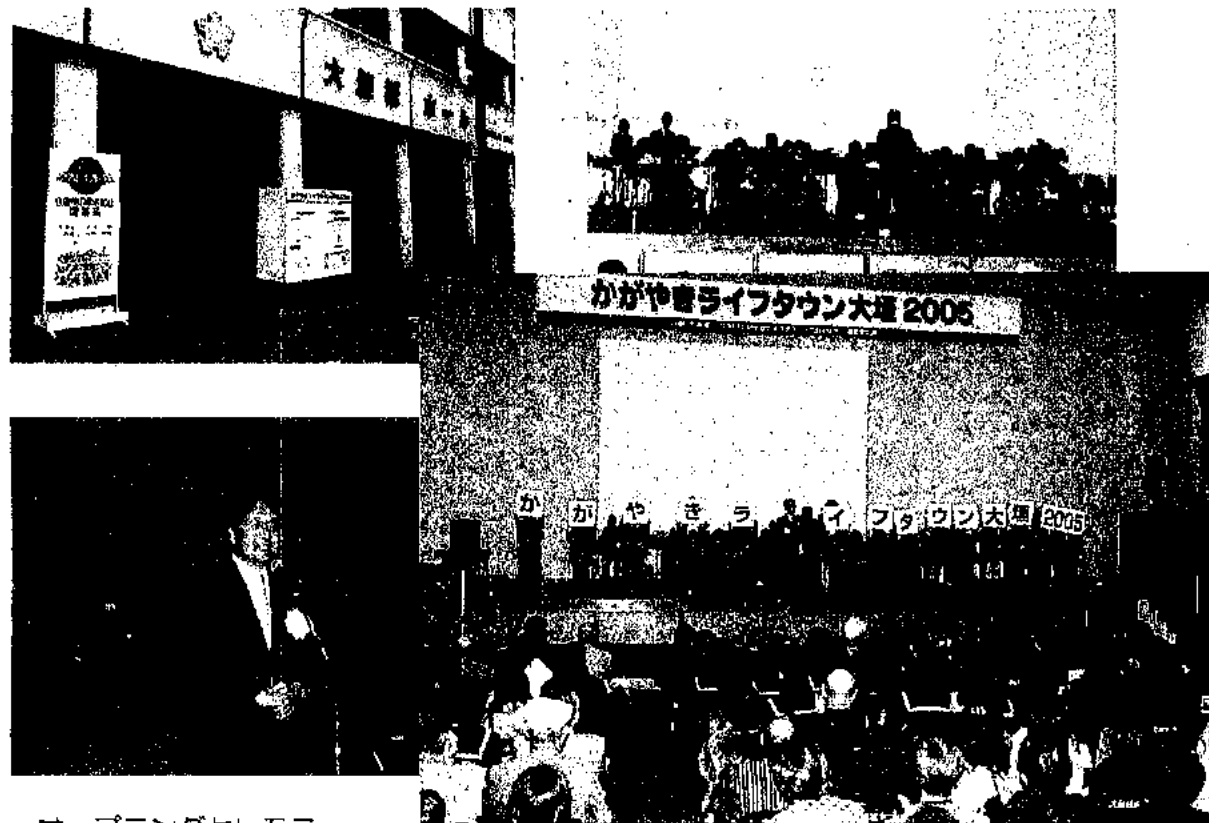
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
アクリル	陶芸	木工	洋裁	木工		ちり紙	陶芸	アクリル	木工	染物	彫金
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
木工	木工	日本酒	陶芸	陶芸	木工	木工	陶人形	彫文字	陶芸	ガラス	木工



ブース番号	団体名	ブース番号	団体名	ブース番号	団体名
1	NPO法人 デジタル・アーカイブ・アライアンス	40	NPO法人 総合サービスなでしこ	62	大垣ビデオ
2	大垣県民協賛会	41-46	かがやきプラザ	63	アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会
3	大垣県民協賛会	47	(社)倫理研究所 家庭内暴力の会 大垣市	64	ヒップファミリークラブ
4	まちづくり推進実行委員会	48	NPO法人 大垣おこし隊	65	大垣市スポーツ少年団+大垣市体育無形文化財協会
5	ドリームアート	49	NPO法人 くすくす	66	(有)サンクソール企画
6	IAMAS (T) 推進室、大垣工業高校、NPO法人 (N) コンサートアシスト	50	さわかみ ままもり Eye	67	おいじゃーす 歴史観光グループ
7	エッグアート「アトリエ・セッション」	51	(社)大垣青年会連合	68-69	東京 五原庄兵衛の世界
8	もめんの花	52	NPO法人 大垣まちづくり市民活動支援会	70	東京 大垣まつり
9	みらい	53	大垣まちづくり協議会	71	民間学童保育「どろんこ子どもクラブ」
10-33	アートイン/大垣城ホール(アートマーケット)	54	大垣夢ある女性の会	72	抹茶サークル
34	2005 蘭の会	55	NPO法人 まちづくり	73	NPO法人 岐阜ダンスの会 ビュー
35	大垣市環境市民会議	56	NPO法人 結核・新しいまちづくり研究会	74	社会福祉法人 身生会 (C) 江戸川ドリーム 保護者会
36	グリーンの会	57	和室 (WA-ON)	75	上石津切草サークル
37	昭和音楽部	58	岐阜経済大学 マイスター倶楽部	76	大風ガスピンガナビくらぶ
38	西濃緑化推進協議会 大垣支部	59	(有)大垣青年クラブ	77	境内ニューミカレディースせせらぎ会
39	緑とプランクの会	60	大垣市青年のつどい実行委員会	78	リ・サークル
		61	都市再生推進計画市民ワークショップ		

かがやきライフタウン・大垣 2005 開催スケジュール

時間	内容	時間	内容
10:15	オープニングセレモニー ◎大垣日本大学高校吹奏楽部 ◎主催者挨拶	10:00	かがやきプラザオンステージ ◎市民協賛 ◎上石津もんでこ太鼓保存会
10:45	◎市民協賛 ◎来賓紹介 ◎副会挨拶	12:10	◎大垣県民協賛 ◎SGストリートダンス(ヒップホップダンス) ◎Y'mix(ワイワイミックス)ジュニア (歌と楽器演奏) ◎市民協賛(お祭りよこい) ◎ナ メレ フラ オハナ(フラダンス) ◎Studio BHS 飛(FLAZE HAVE SOUL (ヒップホップダンス)
10:45	ダイナミックシティ大垣構想 まちの「夢・未来」作文・絵画表彰式 ◎大垣少年少女合唱団 ◎表彰 作文(代表9人) ◎絵画(代表6人)	12:30	プラチナ オン ステージ (元氣な熟年のつどい) ◎市民協賛クラブ(祭典司合奏・太鼓) ◎市民協賛おどり(踊り) ◎ナ メレ フラ オハナ(フラダンス) ◎みやび会(祭典司合奏) ◎市民協賛おどり(祭典司合奏) ◎のど自慢大会 ◎市民協賛 「おの川」 ◎市民協賛 「おの川」 ◎市民協賛 「おの川」 ◎市民協賛 「おの川」 ◎市民協賛 「おの川」
11:15	五原庄兵衛(からくり人形師)の からくりの世界 ◎オープニング ◎演劇 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界	14:00	おおがき未来創造会議 ◎大垣女子短期大学ウィンドアンサンブル ◎市民協賛 ◎市民、上石津町長、豊後町長、高校生、大学生 ◎大垣県高校合唱団
11:15	五原庄兵衛(からくり人形師)の からくりの世界 ◎オープニング ◎演劇 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界 ◎市民協賛 五原庄兵衛のからくりの世界	15:30	かがやきプラザオンステージ ◎NPO法人 デジタル・アーカイブ・アライアンス (おつかいおつかい) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛「やさしい」(よこい) ◎川越士郎(おつかい)
13:00	かがやきプラザオンステージ ◎NPO法人 デジタル・アーカイブ・アライアンス (おつかいおつかい) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛「やさしい」(よこい) ◎川越士郎(おつかい)	15:30	かがやけ!! 男女共同参画トーク
14:30	かがやきプラザオンステージ ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛「やさしい」(よこい) ◎川越士郎(おつかい)	15:30	かがやけ!! 男女共同参画トーク
14:30	かがやけ!! 男女共同参画トーク	15:30	プラチナ オン ステージ (元氣な熟年のつどい) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品)
15:30	プラチナ オン ステージ (元氣な熟年のつどい) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品)	16:00	クラウジングステージ ◎大垣日本大学高校吹奏楽部 ◎市民協賛 ◎市民によるかがやきライフタウン・大垣を 盛り上げるまちづくり協議会 ◎大垣日本大学高校吹奏楽部
17:00	プラチナ オン ステージ (元氣な熟年のつどい) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品) ◎市民協賛おつかい(手品)		



オープニングセレモニー



わくわく異世代
熱気球搭乗体験



かがやきプラザ



アート・イン・大垣城ホール



かがやきセミナー



大垣に園芸福祉活動を
広めよう!!



おおがき未来創造会議



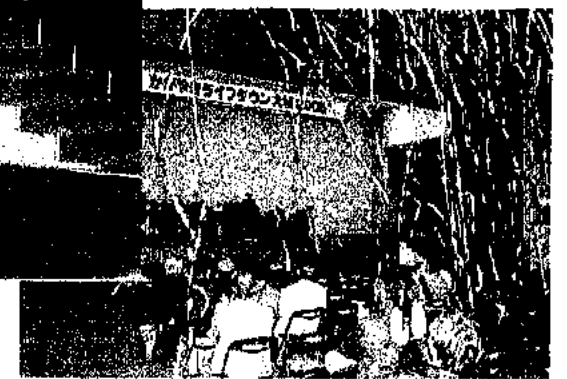
郭町に忍者がはしる!!
～忍たま大集合



プラチナ オン ステージ
(元気な熟年のつどい)

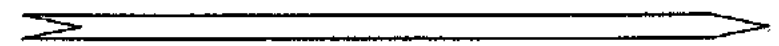


クロージングステージ



() ●

オープニングセレモニー



() ●

オープニングセレモニー

1. 概要

日時：平成17年11月19日（土） 10:15～10:45

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：○大垣日本大学高校吹奏学部（演奏：2曲）

○主催者あいさつ

・小川 敏 市長

○来賓あいさつ

・高畑 正 市議会議員

・棚橋 泰文 衆議院議員

○来賓紹介

・猫田 孝 岐阜県議会議員

・不破 照子 岐阜県議会議員

・伊藤 秀光 岐阜県議会議員

・藤原 勉 岐阜県西濃地域振興局長知事代理

・小川 一善 上石津町長

・栗田 金一 墨俣町長

・三羽 光彦 岐阜経済大学経済学部教授

○開会宣言

・溝口隆司 「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会副委員長
（ステージ登壇者）

・丸の内保育園児

・「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会

・かがやきライフ委員会

○大垣日本大学高校吹奏学部（演奏・ファンファーレ）

2. 市長あいさつ



本日、このオープニングセレモニーには、高畑議長さんや棚橋衆議院議員さんをはじめ、多くのご来賓の方にご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

本市では、昨年、様々な団体の代表者や公募市民の皆さんにご協力いただき、「市民一人ひとりがいつまでも輝き続け、市民の魅力で活力あふれるまち・大垣」を創っていか

とする「かがやきライフタウン構想」を策定いたしました。

そこで、本日から明日の2日間、ここ大垣城ホールをメイン会場として、市民の皆さんが活躍の場を「発見」し、お互いに「交流」し、生きがいを実感できる「活動」をしていただき、輝いた人生を送るためのきっかけづくりとしていただくた

め、この「かがやきライフタウン・大垣2005」を開催させていただきました。

市民の皆さんは、すべて違った個性をお持ちです。例えば、熟年世代の方は人生経験が豊富で、多くの知識やノウハウをお持ちです。そうした自分の持ち味を社会活動で発揮し、生きがいとしていただければと思います。来年合併する上石津町と墨侯町の方も含め、市民一人ひとりが魅力と個性を發揮できるまちにしていきたいと思ひます。

最後になりましたが、本フェスティバルの開催に当たり、「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会の皆さんには、非常に短期間での準備ではございましたが、お力添えをいただき、誠にありがとうございました。心からお礼を申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

3. 開会宣言

宣言者：溝口隆司氏 「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会副委員長

宣言文： 「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会副委員長の溝口隆司でございます。

この「かがやきライフタウン・大垣2005」は、昨年9月に「かがやきライフタウン構想」が策定され、その後市民が主体となって組織された「かがやきライフ委員会」において、そのあり方が検討され、市へ提言されたものでございます。

その内容は、「発見」・「交流」・「活動」の3つを柱として、大垣市のすべての市民が輝いた人生を送るためのきっかけづくりとするものとし、フェスティバルの構成事業については、市民団体を対象として募集するというものでした。

こうして、市民の手によって事業を創り上げていくという新たな試みのもと、市民が主役となるフェスティバルとするために、様々な分野で活動している市民や市民団体が参加し、今日、この日を迎えることができました。

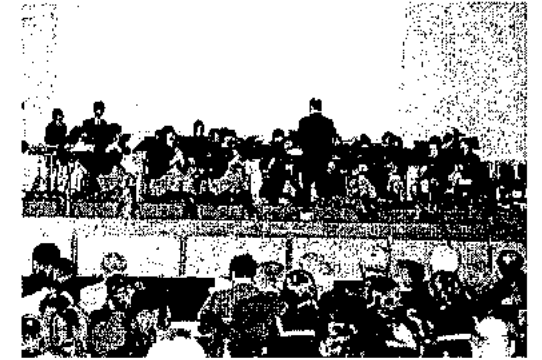
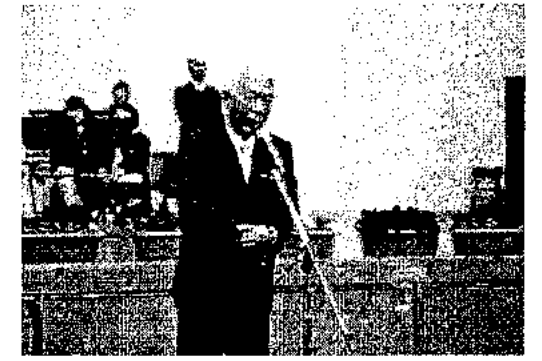
この「かがやきライフタウン・大垣2005」は、今日と明日の2日間に渡り開催いたします。このフェスティバルを通して、少しでも多くの皆さんに、生きがいを持った輝いた人生を送るきっかけをつかんでいただきたいと思ひます。

それでは、只今から、「かがやきライフタウン・大垣2005」を開会いたします。

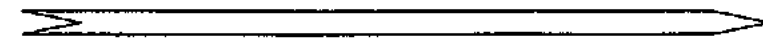
大いに楽しみましょう。



4. 写真



かがやきプラザ



かがやきプラザ

1. 企画運営

特定非営利活動法人大垣まちづくり市民活動支援会議 理事長 黒川博

2. 事業趣旨

様々なまちづくり活動の紹介を通して、市民が自分のやりたいことを発見できる場を提供するとともに、まちづくり活動団体がそれぞれの活動に誇りを持ち、生き生きと輝ける場を提供することで、大垣のまちづくり活動全体の活性化を図る。

3. 事業内容

(1) 玉屋庄兵衛（からくり人形師）のからくりの世界

日時：平成17年11月19日（土） 11：15～12：45

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：講演、からくり実演、展示

(2) 市民が輝く活動メッセ

日時：平成17年11月19日（土） 10：15～17：00

20日（日） 10：00～16：00

場所：大垣城ホール 1階 大ホール

内容：大垣市、上石津町、墨俣町をはじめとする県内外の市民活動団体、ボランティア団体、生涯学習グループ、文化サークル、スポーツサークル、企業（社会貢献活動）などの活動を紹介するブース展示、フリーマーケット、オンステージ

(3) イキイキメイク体験

日時：平成17年11月19日（土） 13：00～14：30

15：00～16：30

場所：まちづくりプラザ（大垣市まちづくり市民活動支援センター）2階 会議室

内容：プロのメイクアドバイザーによる生き生きと輝くメイク体験

4. 玉屋庄兵衛（からくり人形師）のからくりの世界

参加者数：200人

出演者：司会 臼井 由美氏
講師 溝口 正成氏（犬山市文化史料館館長）
パネリスト 五島 茂雄氏（竹島町）
吉田 豊成氏（中 町）
田辺 幸一氏（新 町）

実演 新町芸能保存会、中町神楽山車

内容：開催のあいさつ

湯たて神楽（説明・実演：大垣市中町）

文字書き人形（説明・実演：大垣市新町）

からす天狗（実演：玉屋工房、解説：溝口正成氏）

講演 演題：玉屋庄兵衛（からくり人形師）のからくりの世界

講師：犬山市文化資料館館長 溝口正成氏

茶運び人形（実演・解説）

お祭りトーク「大垣祭の歴史・現状・これから」

<講演録>

(1) からくりの実演（湯たて神楽）

<司会>

皆さま、おはようございます。ただ今より「伝統を守り、祭りで輝く人達」と題しまして、講演とからくりの実演を開催させていただきます。私は本日の司会進行を務めさせていただきます、臼井由美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

では始めに大垣市中町の皆さんに、神楽やまの湯たて神楽を実演していただきます。大垣祭には11輛のやまが市内を練り歩きますが、神楽やまはいつも先頭を行くやまです。このやまは本町、中町、新町で年々交代して曳いております。この神楽やまが八幡神社で奉迎する人形神楽は、舞台の下から人が直接棒で操られ、全国的にも大変珍しいもので、350年ほどの歴史を持つ貴重な文化財です。

神楽やまの人形神楽は、巫女と山伏の2体からなっております。巫女の人形の名は、昔、大垣の八幡神社に「いち」と呼ばれる美しい巫女がいたことから、「いち」と呼ばれています。おいちさん、顔見せてください。（人形神楽の巫女が登場）はい、おいちさんです。ありがとうございました。まずこの巫女は、裾を鳴らしながら静かに祈祷や清めの舞をします。お囃子が急テンポになると山伏が登場して両手に熊笹を持ち、湯桶の湯を撒き散らして神楽を舞います。これを湯たて神楽と言います。このお囃子がチャーチャーと聞こえることから、山伏の人形は「チャーチャー」と呼ばれています。チャーチャー、顔を見せてください。（人形神楽の山伏が登場）はい、「チャーチャー」です。ありがとうございました。

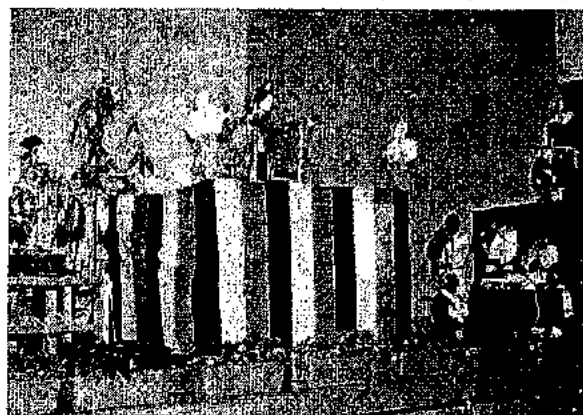
この神楽は湯ではなく、紙ふぶきとなっております。お囃子のテンポが速くなると紙ふぶきが舞います。この紙ふぶきには栄典があってこの紙ふぶきで体をさすれば、病魔退散、家内安全が叶うとされています。

それでは中町の皆さん、湯たて神楽の実演をお願いします。

（お囃子が流れ）

～大垣市中町 湯たて神楽 実演（約15分間）～

ありがとうございました。中町の皆さん



です。神楽やま、湯たて神楽を、皆さまにご覧いただきました。ありがとうございました。おいちさん、そして山伏の人形、チャーチャーと呼ばれています。大きな拍手をどうぞ。はい、ありがとうございました。おいちさん、チャーチャー、ありがとうございました。大変全国的にも珍しい350年もの歴史を持つ貴重な文化財だそうですね。中町の皆さんでした。ありがとうございました。はい、ありがとうございました。最後は本当に紙ふぶきが舞いました。中町の皆さんの湯たて神楽をお楽しみいただきました。

(2) 講演『玉屋庄兵衛（からくり人形師）のからくりの世界』

<犬山市文化史料館館長 溝口正成氏>

愛知県では、3月の25日から6か月間、半年行われます。4月の下旬にですね、万博会場に愛知県からちょうど100輛山車を集めまして展示したんです。実は愛知県には山車、やまとも言いますが、400輛近くあるんですよ。再現数だけでも30近くあるんですよ。岐阜県にもたくさんありますよね。もちろん、岐阜県の大垣祭も有名ですね。その隣の羽島、養老、垂井、東濃のほういきまして美濃、関、さらに飛騨のほういきまして高山、黒川。たくさんからくりの載った山車の祭がありますよね。

実は愛知県と岐阜県を中心にして全国のからくりの7割以上があるんですよ。その訳はですね、江戸時代に名古屋と尾張徳川藩ですね、その尾張徳川藩の藩主がそういう政策をしたと言われてい

るんです。今から270年ほど前、江戸時代の享保年間でございますが、その時の藩主がですね、そういう文化政策と言うよりも芸術政策の振興を盛んに唱えたんですね。玉屋庄兵衛さんは9代目ですが、初代というのがこの享保年間に京都から名古屋へ移り住んだのを初代とカウントして、今9代目なんです。もともとからくり人形師というのは、そんなに数多く江戸時代からおったわけではないのですが、現在、家柄として連綿として続いているからくり人形師としては、玉屋家の一軒だけなんです。本当は今日、ご本人さんに来てお話いただくのが1番分かりやすいんですけどね、ちょっとアメリカのほうへ行ってましてね、私が代理で紹介させていただいておりますけれども。

愛知万博に100輛そろえた山車なんですけど、なんと66輛までからくりがついとったんです。こういうような山車からくり、細工からくりとも言いますけどね、こういうからくりは基本的には手動です。幕間に人間が隠れて今のご紹介があった湯たて神楽のように操るやつ、糸で操るやつ、あるいはさしがねと言った遠隔装置を使うことがあります。とにかく人間が手動で操作するというのが山車からくりの特徴なんです。

玉屋さんが昔から作っておられるからくりは、もう一つ別のからくりがあるんです。いわゆるこの手のからくりを「座敷からくり」。江戸時代、特に金持ちの方が中心だったようですけどね、座敷でこういうものでお客人をもてなすように使ったおもちゃで



す。こちらの座敷からくりの特徴は、全自動です。オートマチックなんですよ。これ、とっても有名な茶運び人形。実はこれ、これも9代目が最近復元されて作った物なんですけど、ほぼ同じ物が400年近く前、江戸時代の最初から日本で作られていたんですよ。ほぼ同じ構造、同じ材料で復元されています。

そうしましたら、まず、とにかく動かして。直接ご覧になったこと、あまりないでしょ？ちょっと動かしてみます。お茶の湯飲みの取り役、どなたかご希望者おられますか？どなたでもいいですよ。ぼく、やる？おいで。こちらでね。

(男の子、登場)

全自動ですけど、動力はぜんまいですから、ぜんまいを巻く作業は手でやります。その後は自動的に動くんですよ。よろしいですか？

(茶運び人形実演準備)

これでね、全部完了なんですよ。あと、スイッチ入れれば動くんですが、スイッチがこの湯飲みなんですよ。湯飲みをここに載せると動くんです。(男の子に) 僕ね、ここに湯飲みを載せるとお人形さんがこちらに動くから、湯飲みだけ取ってくれる？それで止まるから。大丈夫？はい。

(不具合のため再度準備)

もう1回やりましょうか。ちょっと調子悪いですね。慌てとるね。

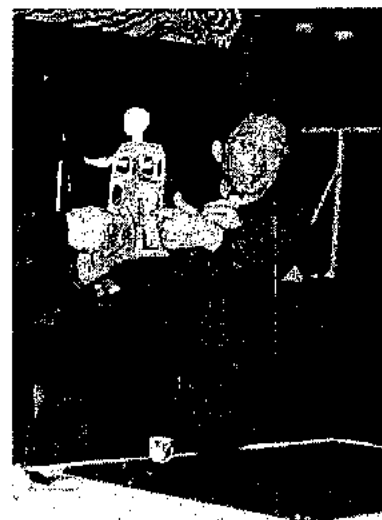
(茶運び人形実演)

飲んでみてくれる？それで「ごちそうさま」ってここに置いて。こうやって、空の湯飲みを主人の元にちゃんと持って返る。こういうふうにするんですよ。(男の子に) ありがとね、はいどうも。(拍手)(男の子、降壇)

そうしましたらちょっとこのお人形さん、裸にしてご覧にいます。

(人形のからくり披露)

だいたいこの茶運び人形1体つくるのにですね、最速で3か月かかるんです。全部手作りなんですよ。ですから、玉屋さんは年間に3体ないし4体しか作られません。



今注文されても1年以上待たないと納められないと思います。

ご覧になったように、みんな木製です。やはり、あの、日本の文化って木の文化って言われてるじゃないですか。全部木でできています。

江戸時代の始め頃にあったと申しましたが、実は江戸時代の前の戦国時代ですね、戦国時代の終わり頃にヨーロッパからキリスト教の宣教師がたくさん来られましたね。その宣教師の方々が持ち込んだ置時計ですね。その置時計の機能をヒントに作られたと言われています。

日本人といいますのは、新しい原理の発見とかしなくても、そういうその応用力がすごいと言われるんですね。時計の機能を応用したというのが特に顕著なのはこちらでございます。调速機と言いまして、ぜんまいで動くんですが、ぜんまいが強いと早く動くでしょ。悪くなると速度が落ちますよね。そうであってはいけないんです。同じ速度で動かさなきゃいけないんです。それは時計がぜんまいに巻いても強弱に関わらず、振り子が一定に振らなきゃいけないでしょ。そうい

う機構が時計と同じ、ここに用いられているんですね。

もともとですね、江戸時代盛んにこの手のからくりが作られたようなんですけど、明治以降どういうわけかぱったりと作られなくて幻の人形となっていたんです。それを9代目のお父さんが7代目なんですけどね、7代目が初めて世に復元して出されたんですが、そのきっかけとなったのが「からくりずい」という江戸時代のからくりの設計図があったんですね。大変珍しいんです。日本の職人の世界では、その技術を伝えるのに書でしたためて伝えるという習慣がないですね。見て覚えろ、体で覚えろという世界でしょ。そういう中で唯一貴重なからくりの設計図というのがあったんですね。それを元に復元されたんですけど、ただ極めて大雑把な図面だったんですよ。

実はその「からくりずい」というのが、日本の古い科学技術書物ということで、大英博物館に展示されとったんです。3年前、玉屋さんがイギリスに行かれた時にそれをご覧になって、実はうちの父親がこの図面を基に作品を復元したんですよとお話されたのをきっかけに今年の7月にこれと同じお人形さんが大英博物館に寄贈されたんですよ。作品が受け取っていただけたのは、日本で初めてだそうですよ。

そしてね、全部でね、その9代目はさらに人形さんを作るのに進化させまして、全部で7種類の木を使い分けているんです。それぞれの部品がどうい木がいいのかということですよ。特に日本は湿度が非常に動く国でしょう。梅雨時と冬の場の乾燥と、まったく湿度が違うんですね。木というのはすごい膨張と収縮を繰り返すんです。そうすると動きが狂うでしょ。そういうことを極力避けるためにいろんな工夫をなされています。

例えば歯車の例をとりましょうか。ちょっと遠いですが見えにくいかなと思うんですけど。これ、かりんの木でできてるんですけど、1枚板じゃないんですよ。8枚を放射状に中心に向かって糊付けされてるんですよ。と言いますのは、木というのは目にそって収縮するんですよ。ですから目を全部、中心に向かって放射状に糊付けすることにより、反りとか膨張、収縮を極力抑えてるんです。この歯車一つ一つ作るだけでも3か月かかるんだそうですよ。それとあと、顔とか手足は彫刻しますので、柔らかめの水分多く含んだ桜を使っています。こういうからくりのお顔はみんな、中空洞なんですよ。ほっぺから一旦真っ二つに割って、中全部彫る。空洞にするんです。そうしないと表面のお化粧がひび割れを起こしやすいんだそうです。あと、胴体は桜の木。それから先ほど説明しました時計の機能を応用した「てんぷ」と言います。昔の和時計と同じですよ。ちょっと重ための木が必要ですから黒檀。それからぎざぎざの層は「だんざ」と言いますが、先を尖らせて細工しますから、欠ぎにくいツゲの木。それは日本でも櫛を作るのにいいでしょ。細工の尖ったものはツゲの木。あと、シャフト、棒は竹ですよ。全部で7種類の木を上手に使い分けているんです。

本来、全部天然素材で作るのが本当なんですけどね、唯一例外があるんですよ、ぜんまい。金属使ってるんですけどね、本当は金属使わないんですよ。何使うかという、クジラのひげ使ってます。セミクジラというクジラのひげが非常に弾力性に富んでいまして。ですが、今絶滅種に指定されまして1本も取っちゃいけないんですよ。ですからね、なかなか手に入らないんですね。ですから、ぜんまいだけはやむを得ず、唯一金属使ってますが、本来は全部天然素材で作ることなんです。

あと、なんでこうUターンしたか構造的に知りたい方は、後ほどゆっくり説明させ

ていただきますね。もう一度裸のまま動かしてみましようか。

(茶運び人形実演)

止まりましたでしょ？実はね、この湯飲みの重みによって腕が上下しますでしょ。その上下によってこちらにストッパーがあるんですよ。そのストッパーが上下して解除したりかかったりして、発進・ストップ、発進・ストップという仕組みになっとなんです。で、戻します。

ターンするのは「カム」と言いまして、楕円形の部品が歯車の横に付いてあって、その楕円形の半径の一番長いところがシャフトを押しして前輪が回るようにできてるんです。

実はあの、また万博の話に戻りますけどね、万博はねロボット万博とも呼ばれたんですよ。いろんなロボットが出ました。このお人形さんね、日本のロボットの源流のひとつだということで非常に注目を浴びたんです。すなわち機械、物が動くということの原理はほとんどこれなんです。ここからスタートしているんです。ただ、ぜんまいではなくて、動力が電気であったりガソリンの爆発であったり。先ほど言いました「カム」という部品もね、あるいは「レバー」とか「カム」を何十何百と複雑に組み合わせ、それをコンピューターが制御するとかね。というふうに進化しているだけで、物が動く、原理はここに集約されているんです。

先ほども言いましたけど、全国の7割以上のからくりがこの地方にあると言いましたでしょ。それは玉屋さんなどの優秀なからくり師、それはある意味で江戸時代で言う科学技術者なんです。そういう優秀な技術者が尾張名古屋を中心にたくさんおったんです。それがそのまま今まで続いておるもんですから、実は愛知県はTOYOTAさんを始めとし、もちろんロボット産業も盛んですけどね、産業立県であるということの理由のひとつであると思えますよ。

確か、この大垣市にも最先端の研究所のゾーン(ソフトピア等)がありますでしょ。それも大垣祭という伝統のある地域にそういう最先端の研究所があるということも、私は無縁なことではないと思えます。まさに、過去から現在、未来と連綿と続いていると思えます。

茶運び中心の話はこれくらいにして、また後ほど祭礼用の山車からくりを披露させていただきますので、その時にお願いします。

ありがとうございました。(拍手)

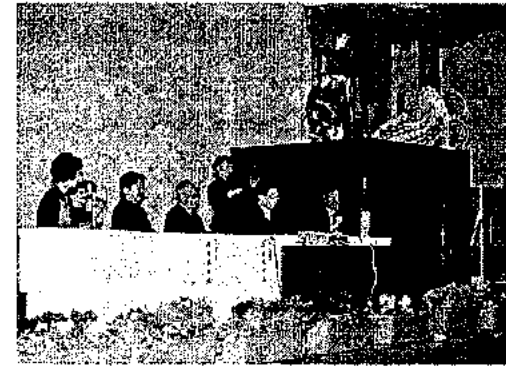
(司会)

ありがとうございました。溝口さんありがとうございました。ただ今実演していただきました茶運び人形は今や座敷からくりの代表的なものとして知られていますが、これは9代目のお父様、7代目玉屋庄兵衛さんが残っていた古い図面を参考に復元されたものだそうです。

さてこの後はお祭りトークとして、大垣祭の歴史・現状・これからについて4人のパネリストの方にお話をうかがってまいりたいと思えます。準備が整ったら早速トークショーに行きたいと思えますので、しばらくお待ちくださいませ。

(3) お祭りトーク『大垣祭の歴史・現状・これから』

(司会)



どうやら準備が整ったようでございます。では、4人のパネリストを順にご紹介してまいります。まず竹島町の五島茂雄さん。お願いいたします。お席にお着きください。そして続きまして中町の吉田豊茂さん。先ほど神楽の芸をしていただきました、中町です。そして新町の田辺幸一さん、どうぞお願いいたします。そしてただ今講演していただきました溝口正成さんにも

も入っていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。お話順番にうかがってまいります。

では早速ですが、お時間もなかなか短いので、ひとつでもたくさんのお話をうかがいたいので早速。まず、竹島町の五島さん。大垣祭の歴史についてまずうかがいたいのですけれども、五島さんは大垣祭のやまなどに彫刻されたり、絵巻物にされたり貴重な資料を自ら作っておられますが、まず大垣祭の起源、歴史を簡単にご紹介いただけますか。

(五島氏)

皆さんこんにちは。ただ今、芸をいたしました。大垣には10の町がございます。それは商人の町でございます。ただ今では道路は自動車の通る道になっておりますが、昔は街道、大垣のお城を中心にしまして通りの商人の町が全部“城壁”になってございまして、その“城壁”と申しますのはその雨戸が現代は左右に動いておりますが、昔の雨戸は上下になってございました。上は吊り上げますと庇になります。それから下は今度逆に通りのほうへ倒しますと陳列棚になります。それが街道が全部その商人の町で城壁の代わりになってございまして、それを閉めると町中がお城の外側の城壁になります関係で、全部防波堤になるわけです。その通る街道に全部の町10がございまして、それがいわゆる商人の町でございます。それ以外は全部武家の町と農村でございましたので、その10の町が各町内町内によって、先ほど芸をやりましたやまの各町内へ変わったやまを出すこと、という形で大垣城ができてから町がそういう商人の町ができてまいりましたので、歴史は非常に古いわけなんです。

(司会)

そうするともう300何十年、どれくらいになりますか？

(五島氏)

その歴史のせんからいきまして、その町々にやまのことを申しますと、同じものを出すわけにはいかないでしょ。今言う“字かきやま”もあれば、いろんなやまもあるという格好で、各町内町内が全部の変わった演し物(だしもの)を出したと。それと同時にただ今ありましたように、昔は笛2年、太鼓3年、囃子5年というふうな格好で、謡が10年となっておりますので、謡に始まって謡に終わるという格好で、本町から始まりまして宮町で終わると。高砂がいわゆる謡の始めでございますので、謡によって本町から始まって宮町で終わるようになって、各町内町内が謡と囃子によって動いておったという格好でございますので、各町内町内の歴史が全部ございまして

で、この歴史を全部話しておりますと非常に長くなりますので。

(司会)

そうですね、そうですね。そのね、恐れ入りますが話を端折って申し訳ないですが、大垣祭はそうすると始まって300何十年ですか。

(五島氏)

そうですね。

(司会)

300何十年と変わってきますか。変わってきましたか。段々だんだん時代と共に。

(五島氏)

というのは歴史が変わりますように、人も変わる。現在は特に、もうあの囃子も小学校が子どもが6年で終わりましたので、子どももおらんくなった。それと同時に各町内の“商人の町”が“自動車の町”のほうに全部移って行ってしまったので、経済そのものが、大垣の“商人の町”の名前だけが10か町で、はやしをやる人もなくなっただけか、歴史が変わって、運営方法も変わり、はやしも変わっていくと。

(司会)

そうですね。今も運営の方法というのも変わってきたというお話も出ましたが、そのやまの保存や運営について、今日ご参加いただいております中町と新町の代表の方、お聞きしたいんですが。運営、保存というのはなかなか難しいと思いますが、どんなご苦労などございますか。中町の吉田さん、お話いただけますか。

(吉田氏)

中町の吉田でございます。今も説明ございましたけども、我々、残念ながら先の大戦で本やまをなくしております。それであの3年に1度の先ほど掛け芸させていただきました神楽やまを新町さん、本町さんと共に運営しておるわけなんですけど、なんかやあ、高齢化それと少子化で、なかなか芸の伝統継承が難しいということで、先ほどやらさせていただいたのが本当にもうベストメンバーでございます。一人欠けてもなかなか大変ということで非常に苦労しております。ただ、小さい子どもがおりました。なかなか上手に笛も吹きますし太鼓もできますし人形以外全部やりますもんで、こういった子どもを徐々に一人二人育てていきたいなと思っております。

(司会)

育てていくことが大変だということですが、新町の田辺さんはいかがですか。

(田辺)

私の町内は新町と言いましてそこにかざってあります、いわゆる字書き、いわゆる文字書きやまを持ってあります。まあ天神やまとも申しまして、いわゆる天神さんを氏神さんとしまして、我々はそれを受け継いでおるわけですけども。

特に運営にあたりましては私の町内では、「担務会」というのと、それから「芸能保存会」というふたつの会を持っておりまして、「担務会」というのはいわゆるやま一般と言いますか、やまを曳く当日ですね、交通係とかいわゆる食事係ですとかいろんなそういうやま全般にあたってやっていただいております。それから芸能のほうは、いわゆる昔から伝わってきましたはやし、踊りというようなものを受け継いでおるわけですけども、何分にも今中町の吉田さんが言われましたとおり、少子化になりまして急にメンバーが少なくなっております。

それでも私の町内はまだ自分の町内でいわゆる小中学生が20数名おりますので、その人にどうしても受け継いでいただきたいということで、私の町内では保存会の人を中心にしまして、いわゆるやまの大切さというか、これが宝物だということはどうしても教えていくのが一番手っ取り早いやまを継承してくれることだと思いまして、まずや第一にいわゆるやまのできたまでの苦労というか、今本町さんがやまを造られましたけど、今白木ですけど、これに漆を塗り、金具をつけ、というようなことを順番にやって約10年ほどかかりましてやまができたんですね。私の今のやまも。そうですから、なかなかそういう何年か先輩の苦労の上に初めてできたんだということ、子どもたちにも教えますと同時に、天神様の由来ですとかそれから菅原道真を奉っていること自体を人物像なんかを説明しまして、なるだけ物語的に言いまして、小冊子なども発行しまして、子どもたちにどうしてもこんなことを伝えて、そしてそれがやがてやまが好きになり、やまを継承してくれることを今思っています。以上です。

(司会)

はい、ありがとうございました。まさしく皆さんに関心を持ってもらって、それを次の世代に伝えられるかということが大変難しいことだということですね。それぞれご苦労なさっている様子がよく分かります。

それでは、溝口さん、犬山の場合はいかがでしょうか。犬山は既にやまの会館など、施設などかなり充実しているようですね、そのようなところはでしょうか。

(溝口氏)

はい。祭のような伝統文化をいかに保存していくかということは、大変難しい問題でして、今新町組様のおっしゃったことは大変重要なことだと思っております。すなわち、祭というのは伝統文化としての文化財だけの一面だけではないと思うんですね。例えば私も犬山は観光都市ですから、お祭に付随する観光的側面が当然あるだろうと。さらに地域づくりといいますが、まちづくり、これにも大いに関係しとるであろうと。更に言いますと、先ほどおっしゃいましたけども、後継者育成ということも兼ねまして教育面ですね。そういう非常に多面的な要素を持って保存会活動をしていくということが大事なことだと思っております。

そして私も犬山ではですね、ハード面におきまして20年前に私のおります犬山市文化史料館という館が建ったときに、犬山は13軒のやまがあるんですけど、1年交代で展示用にね、本物のやまをエントランスホールに飾っていただくというようにしたんですね。さらに10年ほど前ですが、その文化史料館の向かい側にある個人の建物をお借りしまして、9代目の玉屋庄兵衛さんを犬山へ招聘したんです。未だに毎週金曜日・土曜日にそこへ来てですね、犬山工房で仕事をされとるんです。そこからくりも多く展示しまして、からくり別館と。今現在ですね、文化史料館の本館とからくり別館でおおよそ年間10万人の人がご覧になりに来られます。

さらに、5年前には4町内が合同で「どんでん館」という施設を建てたんですね。これは元々、地域振興の予算が当時の建設省、今の国交省からね、2分の1いただけるということで総額5億円くらいかけてまして4町内の合同山車倉(だしぐら)を地域振興も兼ねて造ったわけですね。

いずれもですね大事なことは、まずその祭をやられておる地区のいわゆる“民”ですね、“民”の方が相当熱意を持ってやらないといかんということです。そうしますと

“官”が支援をしていただけるんです。あの、ただただね“官”にね補助金くれとか何とか言ってもね、“官”はそういうふうには見ません。“民”がいかに必死にやっているかということでは、こういう補助金というのはつかないんですね。ですからまず、苦しくて民間が一生懸命まず動く。保存会さんがね。そうすると物分りのいい首長さんであれば“官”がそれに対して支援していただけて、官民一体で初めて物事が、文化財の保全ということもなっていくと。そんなことだと思っています。

(司会)

なるほどね。やはりこう、小さな力がひいては大きな力を動かすということですよ。ね。そうすると犬山では、お祭だけではなくて行く度ごとにそのやまを見ることができるとい施設もあるということなんですね。なるほど。なかなか大垣の場合は、もう入ってしまうと祭じゃないと見ることが出来ませんけれども。まあそんな犬山はご苦労を重ねて上手にやまを運営してなさっているということなんですが、そのお話をお聞きになって、吉田さんいかがですか？私たちの町でも。

(吉田氏)

そうですね、最近良く話題に出るんですが、やはりあの祭に出る者は“やま気遣い”と呼ばれて、町内でも肩身の狭い思いをしておりますが、やっぱりある程度家庭を犠牲にしながら本当に少ない人数で頑張っておりますので。

それと我々もなんとか祭をもう少し皆様に理解してもらいたい、それから知っていただきたいということでPR活動を兼ねまして、先回もイベントの合併の中で墨俣で掛け芸をやってきましたし、上石津でもやってまいりました。それから3年にいっぺんですが、何とかあの祭を通して皆さんにご奉仕したいということで、老人ホーム及び医療施設を3か所慰問しております。そうしながら一生懸命“官”にもPRしながら我々“本やま”がありませんので、何とかならんかという状態で本当に溝口さんのおっしゃる通りだと今そう思っております。

(司会)

そうですね。実際の小さな地区の方でも頑張ってらっしゃる。でもそれをまた大垣市民の方々にそういうことを、中町のご苦心を皆さんに知ってもらいたいですよね。はい、ありがとうございます。

それじゃあ、田辺さんはどんな風にご感想をお持ちですか。

(田辺氏)

大変貴重なお話をいただきまして。大垣もやはり、犬山さんを見習ってやっていかなあかなということも思っています。それと同時に、やまというのは大勢の人が関わるもんですから、少人数でちゃちゃっとやってる程度のことではなかなか外へ広まっていかないんですね。私の町内でも現在は自分の町内だけでなんとかやろうというんですけれども、年々人もいわゆる減少しておりますのでね、やはりよそさんの町内ともやはり融和を図って、そしてやっぱり保存をしていかなければならない時代に入ったかなと思っております。以上です。

(司会)

そうですね。本当に家族のご協力もねなければ出来ませんし、ま、自分達の町内だけのやまという認識だけでなく、市民の、大垣市民みんなのやまなんだと、一人ひとりの市民がみんな関心を持ってもらうことが、やまの運営にも繋がると思いますよ

ね。ありがとうございます。では五島さんはどう思われますか。

(五島氏)

どの町内も同じことだと思います。ただその町内だけでは先ほど申しましたように、街道の筋が変わりましたので、人口が減っていくのとそれから若いお方が全部都会へ出てしまいますので、それと同時にお子さんがなくなってしましまして、私の町内でも実は自治会をあずかった時には小学校だけで50人ぐらいおりました。自分の町内で伝統芸能は全部できたんですが、現在は一町内で10人おりません。ということになりますと、伝統芸能が全部譲るわけにはいなくなってきているということで、それと同時に商人の町が1割以上じゃない半分くらい空家が出来てしましましたので、人口密度が減ってきたというのが昔の十力町内の姿で、“やま”のある町内の姿でございますので、なんとかその伝統芸能を各町内も一緒なんですが、譲っていく方法を考えなくちゃいけない。それと同時に近在の近くの町内の方に全部助けをいただいて現在動いておりますが、その方法も続けてどうやらやっておりますので、はやしの継承だけでなく、人形の操りも出来ない形が現代でございますので、その昔から我々の町内に息づいたところの特殊の芸能を受け継いでいく方法を考えていかなければならないと思っております。

(司会)

はい、ありがとうございます。まだまだ本当ならば、いろいろお聞きしたいところですけども、時間の制約もありますので、ここで終わらせていただきます。本当にありがとうございました。

お聞きしましたように、大垣祭の実施には多くの方が関わっています。支えておられます10か町。実際に運営されている皆さん、やまの保存や修復に関わる人、中でも大垣にも後藤さんがいらっしゃいます。この方は宮大工の経験を活かして面打ちを習得されるなどして、修復に貢献されていらっしゃるそうです。今日は会場にお越しとうかがっておりますが、お見えでしょうか。ちょっとお立ちいただけますか。後藤さんです。はい、ありがとうございました。お忙しいところありがとうございました。

こういう方々が支えていらっしゃるということで、もちろん家族の人など多くの祭を支える人がいます。今回このかがやきプラザでは講演を通じて祭の魅力を伝えるとともに、それらの祭に関わり、支える人たちを継承したいと思っております。

今、地方の時代といわれる中で大垣の歴史と文化を代表する祭は貴重な地域の財産です。この機会です、みんなで祭を支える気運が盛り上がることを望んでやみません。ほんとに今日は皆様、パネリストの方、ありがとうございました。短い時間で失礼をいたしました。ありがとうございました。祭を運営していく苦労やこれから時代を次の世代を伝えていくご苦労などをお話いただきました。ありがとうございました。(拍手)

(4) からくりの実演(文字書き人形)

(司会)

運営しているのは、新町自治会です。新町にはその昔、大垣城内にあった天神神社が新町地内に移築され、町の氏神となりました。初代の引きやまが明治24年濃尾震災で消失したのを受け、大正3年、やまの再建が決まりまして、この菅原やま・別名

天神やまが完成しました。

このからくりは、やまの中の中2階とでも言うべきところに6~7名の操り人が人形を操り、文字書きを披露します。この人形は6代目玉屋庄兵衛の作品だそうです。

では、その新町の渡辺さんから補足説明をしていただきながら、文字書きからくり、これからご覧いただきます。それではお願いいたします。

〈新町・渡辺氏〉

皆さんこんにちは。本来、大垣祭の場合は書いているところは見えないので、今回あえて皆さんにどんな形で書いているところを見たいと思ひまして、あえてオープンな形で出演することになりました。いつもは、やまの巡行中はすでにここから動作をしまして、額に紙を入れたり、筆に墨をつけたり、すでにできているんですけど、今回はそういった作業も皆さんに見ていただきたいと考えました。もうしばらくお待ちください。

それとですね、私ども先ほどお話にあったように、なかなかそのお囃子を継承するというのは難しいんです。特に謡曲をとということになりますと、先ほども10年かかるというお話になるように、なかなかその謡曲、和太鼓、鼓等ですね。まあ、徐々に練習しながら本番では生でやるよう努力をしていますが、完全にまだ完成しておりません。私の夢ですけど、いずれはそういった形で生で演奏し、人形を操りたいと、非常にそう思っています。

それではこれより始めますので、どうかお楽しみください。

(お囃子が流れ)

~大垣市新町 文字書き人形 実演(約10分間)~

〈司会〉

さてどうやら書き上げたようでございます。なんと書かれているのでしょうか。ご覧いただけますでしょうか。「新町菅原やま」でございます。素晴らしい。狭いところでも集中して書いていらっしゃるんですね。はい、ありがとうございます。あのまさしく、この、いつもは見ることはできないのですよね?中のところは。

〈新町・渡辺氏〉

なかなかね、町のものでも見ることはできませんね。

〈司会〉

こうして中に入って一生懸命、集中して書いてらっしゃる。もう、また、漢字です。難しいですよ。ちょっとの引き具合でも。

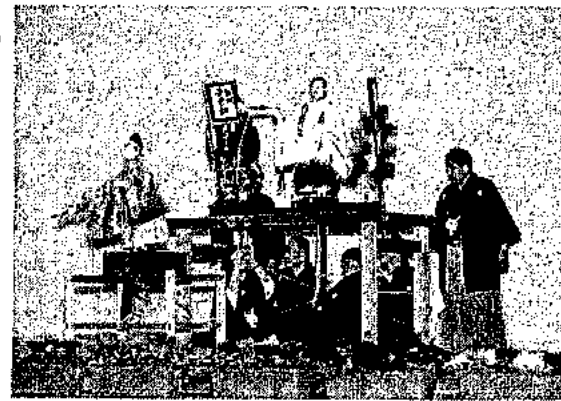
〈新町・渡辺氏〉

かえってひらがなより漢字のほうが書きやすいです。

〈司会〉

ひらがなより?ひらがなのほうが難しい?

〈新町・渡辺氏〉



そうですね。

〈司会〉

そうなんですか。画数が多いから漢字のほうが難しいかと思ひましたけど。

〈新町・渡辺氏〉

そんなことない。実際書かれるとわかると思ひます。

〈司会〉

そうですね。でも素晴らしいです。文字からくり菅原やま、新町菅原やままでございました。素晴らしい文字ありがとうございました。いつもこんな狭いところで書いてらっしゃる皆さんでした。ありがとうございました。(拍手)

素晴らしい文字からくりをご覧いただきました。新町の皆さん、本当にありがとうございました。(拍手)

(5) からくりの実演(9代目玉屋庄兵衛作「からす天狗」)

〈司会〉

9代目玉屋庄兵衛作の「からす天狗」を玉屋工房の皆さんに実演していただきます。それではお願いいたします。

〈溝口氏〉

ただ今の文字書き人形すばらしかったですね。6代目の玉屋さんの作だそうです。実は愛知県、岐阜県にたくさん文字書き人形残っておりますけど、ほとんどが歴代の玉屋作なんですよ。2代目とか5代目とか7代目とか、こちら6代目とかね。どうも玉屋家の十八番のひとつがこの文字書き人形だったようでございますね。

さて、これからご覧になっていただきます「からす天狗」ですが、これは新作ものです。9代目の玉屋さんが作られた新作ですが、造りは伝統的な技術、方法で作られています。そして、山車からくりのいいところをふんだんに取り入れたいいところ取りのからくりなんです。

一応山車からくりというのはひとつの人形劇になっておるんですけど、この場合は源義経が若かりし頃牛若丸ですね、牛若丸が京都の鞍馬山でからす天狗から妖術を教わるという能楽から題材をとったストーリーになっております。

そしてからくり仕掛けとしましては、8つの高さの違う“くい”を二足歩行でからす天狗が登っていきます。そして登った後、一部顔が変わったり、姿が変わったりという、最後に多く見せ所が残っておる出し物でございます。終わりましたらちょっと種明かしもいたしますが、まずはご覧になってくださいませ。



(太鼓の音からお囃子が流れ)

~「からす天狗」 実演(約8分間)~

いかがでございましたか。どうして、ちょっとこのような動きをするのか仕掛けを説明させていただきます。ちょっとよろしくお願ひしますね。

〈玉屋工房〉

簡単に説明させていただきます。このからす天狗ですけれども、下駄の中は空洞になっております。中は空です。仕掛けはくい棒のほうにあります。こちらのくい棒のほうにですね、中からストッパーが出てきます。このストッパーが下駄の中に入りましてですね、人形と杭棒を固定します。(実演しながら)今、固定しました。固定しますと横にしても人形落ちません。この状態で固定ができましたら、下から押し棒を押し上げて足を前に出します。これで一歩ずつ一段ずつ上がっていきます。それを交互にやっております。

次はですね差し金の説明をさせていただきます。(人形を見せながら)この人形、お尻のところに穴が開いておりまして、その中に差し金が入れてやります。このように入れまして、先ほど、面を被りましたけれども差し金の操作によって面を被りますし、羽根を開くことができるんですね。で、腕も上げることまでできます。

〈溝口正成氏〉

あの、「あいつは誰々の差し金だ」って言いますでしょ。その語源がこの装置なんです。いわゆる遠隔操作でね、あの、このからくりからで出た言葉なんですよ。先につめが付いておりまして、その人形の中でそのつめが引っかかってこのような動きがするように人形自体も複雑にできとるわけですよ。このような“乱くいわたり”とか差し金を使用してやるからくりは“離れからくり”と言いましてね、また、“糸からくり”とは違っていわゆる大技、非常に観客に喜ばれるからくりがこの離れからくりの手法でございます。

今日はどうもありがとうございました。(拍手)

〈司会〉

ありがとうございました。一瞬にしてカラスに転じるというところ、本当に素晴らしい技でございます。普段はそのからくりがどうなっているのかなということが分からなくても、今こうしてご説明していただきましたので、これから見る時はこういう風になるんだなということを考えながらご覧になるのも楽しいかもしれません。ありがとうございました。

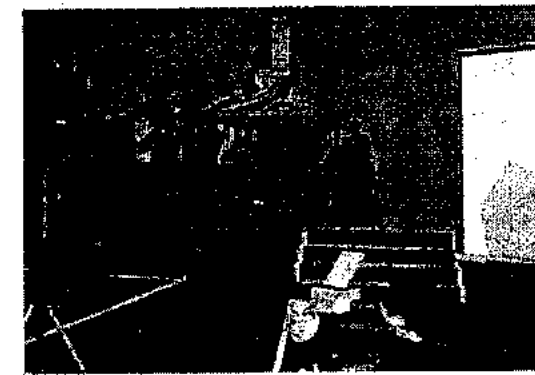
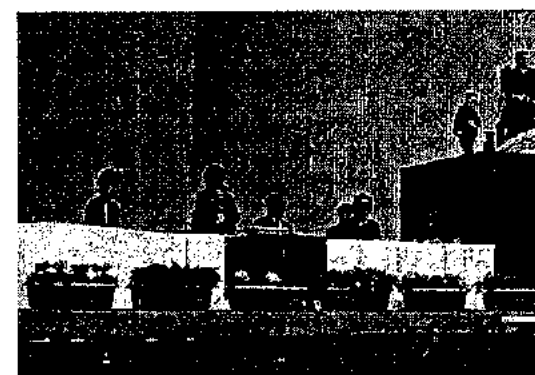
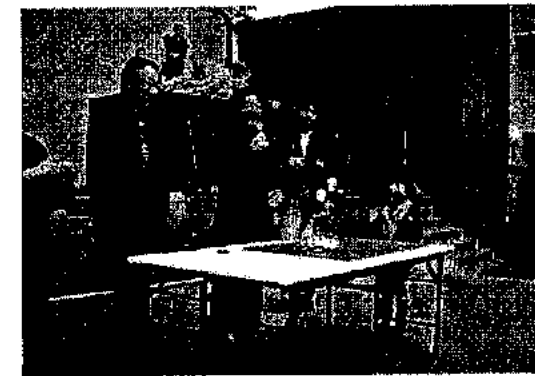
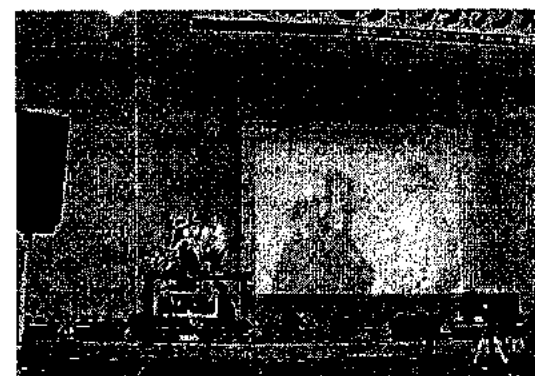
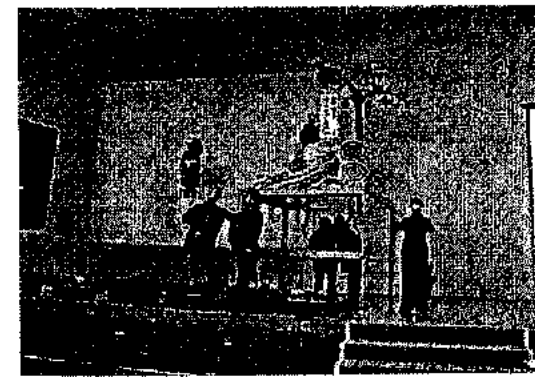
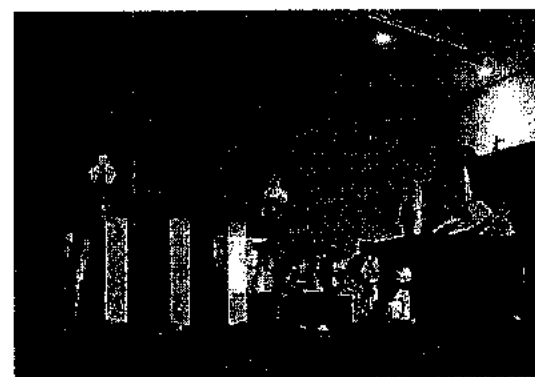
今年は万博を通じてからくりと祭のやまが全世界へと発信されました。9代目は今まさに、「EXPO JAPAN in ロサンゼルス」でアメリカの地におられるそうです。弓引き人形も一緒に渡米しており、その妙技をご覧いただけないのは今日は大変残念でございます。

さて本日の講演とからくりの実演は以上で終了させていただきますが、会場では本日限りではあります万博の唐子指南車の3分の1モデルを始め、貴重な作品を展示してあります。また今日、明日の両日は大垣祭の写真・ポスター、さらに五島さんの作られた貴重な作品なども展示しております。あわせてご覧ください。

今日は本当に長時間にわたりまして、ご覧いただきまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして終了させていただきます。ありがとうございました。(拍手)

〈写真〉



5. 市民が輝く活動メッセ

出展者・出演者数：63団体

参加者数：15,000人

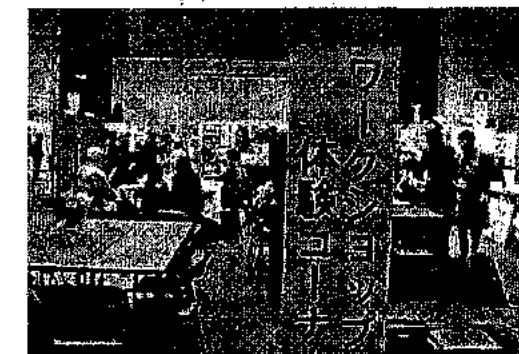
(1) ブース展示

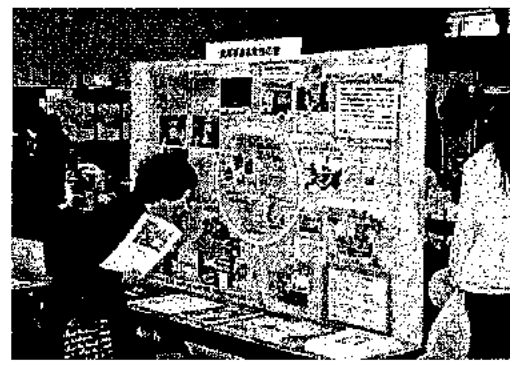
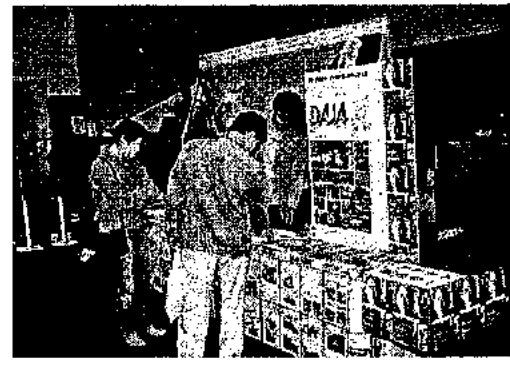
様々な分野で活動する団体によるブース展示や、体験コーナーを実施した。ブースや体験コーナーのレイアウトは、分野ごとの長屋風にアレンジした。

出展者一覧

ブース番号	団体名	分野
1	特定非営利活動法人 デジタル・アーカイブ・アライアンス	アート長屋
2	大垣演劇鑑賞会	
3	大垣風愛好会	
4	まちかど劇場実行委員会	
5	ドリームアート	
6	I AMAS	情報
	IT致道館	
	岐阜県立大垣工業高等学校	
	特定非営利活動法人パソコンまるごとアシスト	
7	エッグアート「アトリエ・パッション」	アート長屋
8	もめんの花	
9	み美粋	
10~33	アートイン大垣城ホール (アートマーケット)	アートマーケット
34	2005園芸の会	環境長屋
35	大垣市環境市民会議	
36	グリーンの会	
37	昭和技研(株)	
38	西濃緑化推進協議会 大垣支部	
39	緑とプランコの会	
40	特定非営利活動法人 配食サービスなでしこ	
41~46	終の住まい研究会 (プラチナプラザ)	プラチナプラザ屋台
47	(社) 倫理研究所 家庭倫理の会 大垣市	ひとにやさしい長屋
48	特定非営利活動法人 大垣おやこ劇場	
49	特定非営利活動法人 くすくす	
50	さわやか みまもり Eye	
51	(社) 大垣青年会議所	
52	特定非営利活動法人 大垣まちづくり市民活動支援会議	まちづくり長屋

ブース番号	団体名	分野
53	大垣まちづくり応援団	まちづくり長屋
54	大垣夢ある女性の会	
55	特定非営利活動法人 まち創り	
56	特定非営利活動法人 岐阜・楽しい家づくり研究会	
57	和響 (WA-ON)	
58	岐阜経済大学マイスター倶楽部	
59	(社) 大垣青年クラブ	
60	大垣市青年のつどい協議会	
61	都市再生整備計画市民ワークショップ	
62	大垣ビデオ	
63	アフリカへ毛布をおくる運動推進委員会	
64	ヒッポファミリークラブ	
65	大垣市スポーツ少年団	
	大垣市体育指導委員協議会	
66	(有) サングレイル企画	
67	おいじゃ〜す 歴史観光グループ	歴史発見横町
68~69	玉屋庄兵衛の世界	からくり展示
70	大垣まつり	まつり展示
71	民間学童保育「どろんこ子どもクラブ」	かがやき商店 (フリーマーケット)
72	抹茶サークル	
73	特定非営利活動法人 岐阜ダウン症の会ピュア	
74	社会福祉法人 芽生会	アート長屋
75	上石津切絵サークル	
76	大垣ガスリビングナビくらぶ	企業社会貢献
77	坂内ニューさかレディース せせらぎ会	かがやき商店
78	リ・サークル	(フリーマーケット)





(2) かがやきプラザオンステージ

様々な分野で活動する団体の活動紹介を行うステージイベントを実施した。

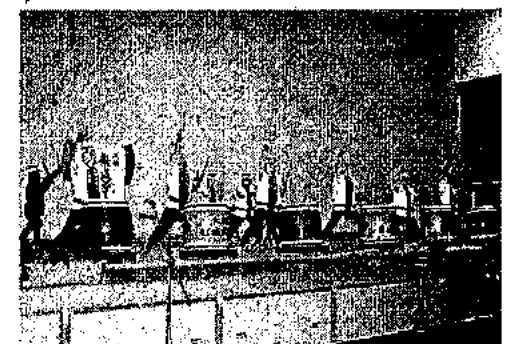
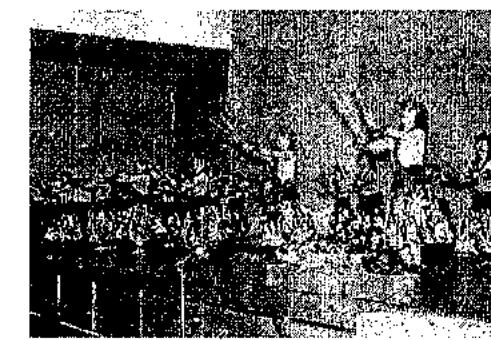
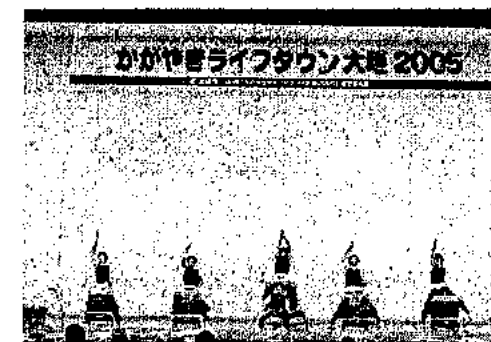
出演団体一覧

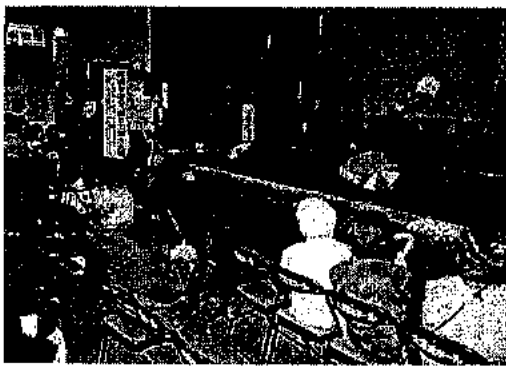
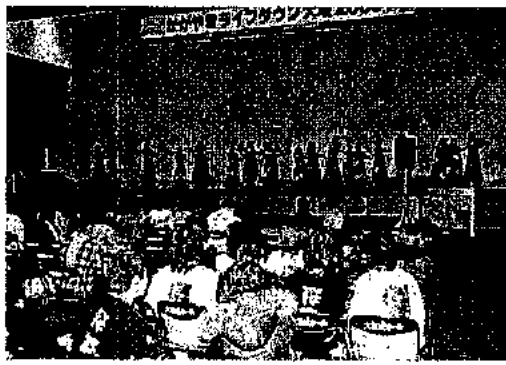
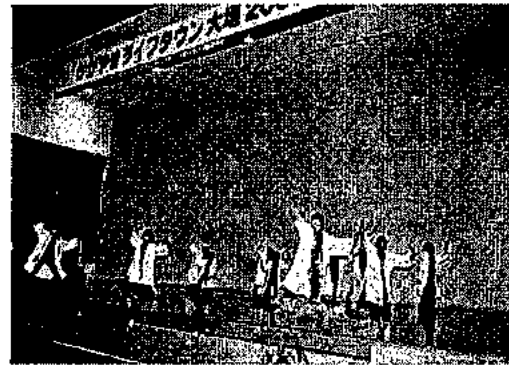
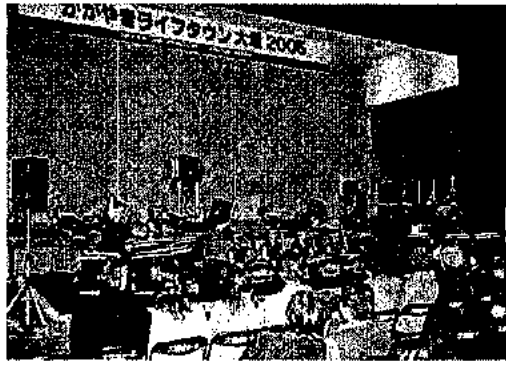
11月19日(土)

- ・特定非営利活動法人デジタル・アーカイブ・アライアンス(なつかし写真トーク)
- ・手品なかよし会(手品)
- ・土曜学園「やすい」(よさこい)
- ・川並土曜塾(ほなみ太鼓)

11月20日(日)

- ・墨俣太鼓(演奏)
- ・上石津もんでこ太鼓保存会(演奏)
- ・大垣薬城太鼓(演奏)
- ・SGストリートダンス(ヒップホップダンス)
- ・Y2mix(ワイワイミックス)ジュニア(歌と楽器演奏)
- ・ナメレフラオハナ(フラダンス)
- ・Studio BHS所属BLAZE HAVE SOUL(ヒップホップダンス)





6. イキイキメイク体験

参加者数：49人

協力：資生堂

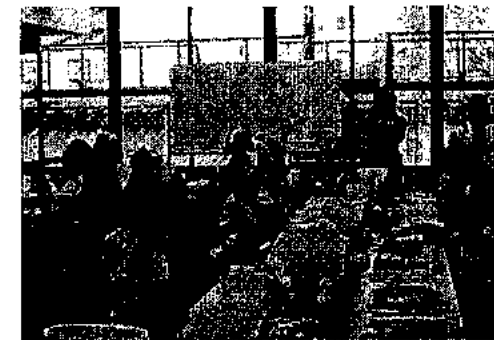
内容：開催のあいさつ

注意事項説明

メイク開始

メイクを落とし、化粧水・乳液・ファンデーションなどの説明を受けながらのメイク体験を実施。

メイクのコツ、自分の肌年齢をいかに保っていくかなどのアドバイスを受ける。



高野優さんのトーク&おしゃべり会
わくわく異世代熱気球搭乗体験



高野優さんのトーク&おしゃべり会、わくわく異世代熱気球搭乗体験

1. 企画運営

特定非営利活動法人くすくす 代表 安田典子

2. 事業趣旨

子育て中の人をはじめとする様々な世代が、子育て家庭を支えるまちづくりについて共に考えるとともに、子どもと大人が一緒になって楽しい体験をする交流会を開催する。

3. 事業内容

○高野優さんのトーク&おしゃべり会

子育て中の親を対象に「子育ては10人10色」でいいんだよというメッセージを伝える。高野優さんのお話を聞きながら「子育て中のちょっぴり辛いこと、悲しいこと、うれしいこと、楽しいこと」を共に感じる空間を提供する。

「子育て、がんばっているね!」と参加された方が自分にエールを送り、子育てを通して豊かな人生を感じていただくトーク&高野さんとのおしゃべり会

○わくわく異世代熱気球搭乗体験

屋外で、子どもを核に様々な世代の人が子どもと熱気球の搭乗体験をすることにより、子どもとともに「わくわく」する体験をしてもらう。「わくわく」感
は人生をより豊かにする。

4. 高野優さんのトーク&おしゃべり会

開催日時：平成17年11月20日（日） 14:00~15:30

開催場所：大垣市総合福祉会館 5階 ホール

参加者数：110人（託児24人）

講師：高野 優氏

北海道生まれ。マンガ家・エッセイスト。

プライベートでは9歳、6歳、2歳の三姉妹の母となり、育児に関する講演活動を行っている。

著書に、「ランドセルママ（主婦の友社）」、「おひさまランドセル（講談社）」、「ニンプの玉手箱（小学館）」、「ぐるぐるニンプ待合室（学研）」等がある。

<講演概要>

大垣市での講演は、去年に引き続き2回目となりました。高野さんのお人柄でしょうか、温かい雰囲気です。会場全体がつつまれて素敵な時間を過ごすことができました。高野優さんは、本業がマンガ家ということもあり、お話のところどころでOHPを使い、3人のお子さんのそれぞれの特徴など、マンガで描いて説明してくださいました。

子育て中の親にとって高野優さんのお話はとても身近で「うん。そうそう！」とうなずけることばかり。お話の中で「子育ては後悔したり、汗かいたり、恥をかいたり・・・それをひっくるめて子育てだと思っんです。」と話された言葉に会場の皆さんが大きくなすくという場面もありました。

「水中出産」を体験された高野優さんは、「生まれたばかりの子どもは泳ぐと聞いていたのにどんどん沈んでいって・・・」と、ご自分でお子さんを水の中からすくったというお話や、へその緒を切る瞬間を家族皆で経験したお話などをされ、そのたびに会場内から笑いが溢れました。

その後、会場内からは高野優さんへ「保育園での先生との連絡帳のやり取りについて」や「公園での子ども同士のトラブルについて」など質問がありました。高野優さんは、ひとつひとつの質問にご自分の体験を交えながらアドバイスされていました。そんな笑いあり、涙ありの講演会も終焉に近づき、高野優さんよりご自分のエッセー「おひさまランドセル」の中から「優しさの泉」を朗読してくださいました。

優しさの泉

あなたは私の宝物だよ
あなたが大好きだよ
娘たちが赤ちゃんの頃から
もう何年もささやいている
柔らかい言葉はその場の空気までも
ふんわりとまあるく包みこむようだ。

ついこの前、わがママを言った次女をきつく叱っていると、
目に涙をいっぱい溜めたまんま
「宝物に向かって、そんなこと言っているの？」
と、大声で怒り出した。

怒っているのは私のほうなのに
吹き出しそうになりながら
「宝物だから叱るんだよ。」
と、静かに諭した。

我が家の宝物はぶっちゃんのまま
「じゃあ大好きって言って」
とリクエスト。

「はいはい、好きだよ」
そういいながら抱きしめると
幼い頃の自分の姿が浮かんだ

私は両親から優しい言葉を投げかけてもらった記憶が無い
お前のような子はいない
お前なんか産まなきゃよかった
耳に残る重くてざらざらとした言葉は
私の存在全てを否定した
声にならない悲鳴を上げていたあの頃

大人になり、母親となった今でも
ふとした瞬間に見え隠れするこの言葉
それに惑わされては自信を失う自分が嫌になる
刃を持つ言葉は年月を経てもこうして人を苦しめる

強くて優しい人になりたい
堂々と胸を張って前を見つめて歩くような人になりたい
娘に話す言葉は私自身が両親から聞いたかったものだ
聞いたかったけれど、聞けなかった言葉の数々

これからも私は娘に暖かい言葉の水を
たっぷりかけていこう
何時までも枯れることの無いように
娘の心に優しさの泉がわきますように

この一遍にみなさん涙、涙・・・。
最後に、高野優さんが「子育てはこれからも長いし大変なこともいろいろあると思いますが自分のもとに来た、奇跡の子どもたちをみんなで大事にしていきたいですね。そして、本当にまわりを支えてくれる方達の中で育児をしながら自分も育っていきたくらいなと思っています。」と話され、会場内は大きな拍手がいつまでも響いていました。

5. わくわく異世代熱気球搭乗体験

開催日時：平成17年11月19日（土） 10:15~12:15
14:00~16:00

開催場所：大垣公園 城西広場

参加者数：120人

<実施内容>

10:15 熱気球搭乗体験開始

※ しかし、6組目からは風が強くなり、熱気球の搭乗が不可能になり、熱気球教室に変更して実施した。

13:40 みのり・きど保育園児の参加によるセレモニーを開催
(セレモニー)

○みのり・きど保育園 (鼓隊演奏：2曲)

○あいさつ

小川 敏 市長

15:00 熱気球教室開催

16:00 終了

<市長あいさつ>

「みのり保育園」と「きど保育園」の皆さん、元気いっぱいに演奏をしていただき、ありがとうございました。

この「熱気球搭乗体験」では、高齢者の皆さんと子ども達との交流など、様々な世代の交流が生まれることを期待しております。

また、参加されたすべての人にとって楽しい思い出の一つとなり、温かい会話が弾めばと思います。

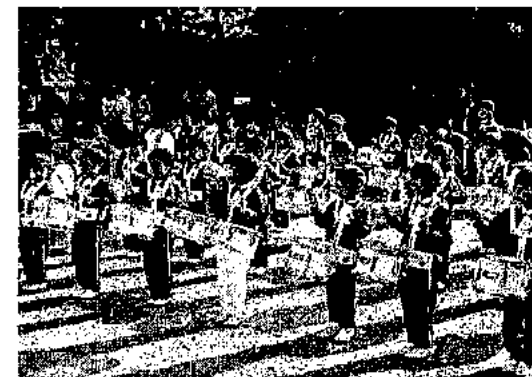
そして、世代を越えた交流から生まれる新たな力で、これからの大垣市のまちづくりを担っていただければと期待しております。

「かがやきライフタウン・大垣2005」では、この「熱気球搭乗体験」以外にも、様々な事業を市民の皆さんに実施していただいております。

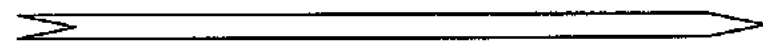
ここにおられる皆さんにも、ぜひとも大垣城ホールへの足を運んでいただき、様々な活動をご見学いただき、それをきっかけとして様々な分野で活躍され、輝いた人生を送っていただければと思います。

最後になりましたが、この「熱気球搭乗体験」の実施に当たり、特定非営利活動法人くすくすの皆さんには、大変短期間での準備でご苦労されたことと思います。厚くお礼を申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



アート・イン・大垣城ホール



名 前	作 品
石谷 則子	粘土を主体に木、布、ビーズなどを組み合わせて作るアクセサリー、インテリア雑貨
平田 泰久	木エクラフト
西脇 幸代	陶玉、陶玉のアクセサリー
廣瀬 哲美	花器、食器
渡辺 祐一 野生司真弓	プランツデザイン、ワイヤーワーク
田中 直哉	木と鉄を使った家具、小品
安藤 清子	陶器のお地蔵さま各種
森島 渉	筆文字
長澤 直人	陶芸品
安田 直己	花器、テーブルウェア、アクセサリーなどのガラス作品

(敬称略)

8. 写真



かがやきセミナー

輝いたまちを創る交流会（環境交流会）

かがやきセミナー

1. 企画運営

ぎふ「地球村」 代表 高木正樹

2. 事業趣旨

地方分権時代にあつて、地球のことに地域住民自身が責任を持てるようにするとともに、大垣市民一人ひとりが、生き生きとした生活を送ることの一助となるよう、「かがやきセミナー」を開催した。

3. 事業内容

輝いた生きかたをされている方を講師とした環境と平和の講演会、パネル展示

4. 開催日時

(1) パネル展示

平成17年11月19日（土） 10:15~17:00

(2) セミナー

平成17年11月19日（土）
1回目：11:00~11:50
2回目：13:00~13:50
3回目：14:00~14:50
4回目：15:00~15:50

5. セミナー

○講師略歴

堀川ひろ子氏

飛騨高山「地球村」所属、ピースアクション飛騨代表。

アフガニスタンで孤児と未亡人の支援活動や、カンボジアの地雷撤去活動を行っている。飢餓、貧困、戦争、環境破壊のない「持続可能な社会」を理想とする、ネットワーク「地球村」の高山支部事務局。高山市内で海外支援活動を展開するボランティア団体「楽楽地球人飛騨」代表。高山市在住。

今井光代氏

ネットワーク「地球村」名古屋の講師。

大垣市に生まれ、高校時代からボランティア活動に携わる。1996年、ネットワーク「地球村」代表高木喜之さんの講演を機に地球環境問題に関心を持つようになる。「グリーンコンシューマーガイドブック」の作成に関わるほか、地球の環境グループ「エコライフエコちゃん」などで地域活動を行う。現在、児童デイサービスの保育士をしながら市民講師としても活躍中。名古屋市在住。

○講演録

1回目 演題：主婦の見た素顔のアフガン

講師：堀川ひろ子氏

〔スライドを使用して講演〕

私は、これまで2回、アフガニスタンを訪れたが、それまではアフガンのことを知らなかった。たまたま名古屋市に来ていたアフガンに住む女性の講演会を高山で開催したことをきっかけにアフガンのことを知り、その方に同行するかたちでアフガンに行くこととなった。

最初、空爆間もないアフガンの首都カブールに行った。建物はすべて壊れてい

て、日本の終戦直後のようだった。車も銃弾で蜂の巣状態、町中の道路には戦車が走り、銃を持つ人もいる。商店街でも普通に銃が売られている。

私が行ったとき、物乞いの子どもたちがとても多く、なぜこれほど多いのか気になった。どこへ行っても「バクシーシー」と言われ、車の窓が子どもの顔で埋まってしまうくらいだった。路上で、水を売っている子もいる。この子も物乞いの子だが、父親が目の前で死んで、まったく無表情になってしまった。

アフガンでは、母親がいても父親が死んでいると孤児である。女性は、苦ければ再婚できるが、できないと自分で物乞いするか、身体を売る。又は子どもを働かせるか、子どもを売る。それしか道がないとのことだった。

別の村で、男の子の孤児に文房具を配っていたら、大人の男の人も来た。これまで勉強していないので、勉強するためにもらいにきたとのことだ。文房具をあげたら、大泣きされた。

カブールでは、山の中腹にも家があり、貧しい人たちが住んでいる。一日に何度も水を汲みに、坂道を登り下りしている。

この近くに、日本人医師でクリニックを開いている人がいて、そこを訪れた。その医師は、子どもたちの精神的なケアをしておられる。その医師から、この子どもたちの様子をぜひ日本に伝えてほしいと言われた。この子どもたちは、目の前で両親が殺されて、それ以来口がきけなくなったということだ。

この別の家の女の子たちは、夜明けから日暮れまで絨毯を織っていて、昼食とき以外はずっと座って仕事をしている。毎日がつらいから、成長が止まってしまっていて、5歳くらいの子に見えた。

こちらの子は15歳の女の子で化粧が濃いのが、売春で食べている。こんな子どもたちを見ていると涙しか出てこないと言っていたが、私もそうだった。こんな子が、カブールだけで3000人いるとのことだった。

地方の町にも行った。道ばたに壊れた戦車が放置され、物乞いの親子もいた。ガルピースという村だが、ここは日本人が初めて行くところのこと。自給自足で、井戸水を使っている。電気、ガス、水道はない。夜は、ランプに火を点



けて灯りとしている。

この女性は、爆撃時にかまどに触れ、やけどを負って微笑みを失っている。民家に泊めていただいたが、子どもたちは私を珍しがって集まってくる。泊めてもらった晩、近くで爆撃があった。まずドカーンという音。それに、バババババ、パンパンという音もある。ピューンピューンというのは、至近距離を弾丸がかすめ飛んでいる音だ。

これは、子どもが何か食べている写真。何かと思ったら、雑草だった。もちろん、洗わずに食べている。

モスクの一室が学校になっていて、男は男の子同士、女は女の子同士で、別々の教室だ。ここで、父親のいない子がどれくらいいるのか聞いたら、3割ほどだった。

バーミヤンの別の学校。バーミヤンは今は世界遺産となっているが、戦争の傷跡があちこちにあるし、山は地雷原になっている。山は、シンギスカンの時代から要塞として利用されていた。

バーミヤンから、さらに山奥へ。レザーさんと、彼が17歳のときにロシアと戦った戦車の写真だ。山は、23年前のロシアとの戦争のとき、地雷をいっぱい埋めたので、それ以来山仕事ができなくなったといていた。

泊めていただいた民家では、当然言葉が通じないので、ランプのあかりを使って指の影絵遊びをしたり、歌をうたったりした。言葉は通じないけれど、ところが通じ合って、楽しいひとときが過ごせた。

この村では、買って来たノートなどを配布した。1人当たり鉛筆3本、ノート1冊、靴下1足。

ここには、黒板もないし、ミシンもない。モノをあげる支援は本来良くなくて、最初だけに限るべきだと思っているが、ここではたくさんの人に幸せをあげることができたと思う。「希望をもらったよ」とレザーさんはおっしゃってくれた。

車で走行していたら、車が横転して大事故になった。すると、どこからともなく人が集まってきて、修理してくれた。衛星電話を持っている人が給油車を呼んでくれて給油もしてもらった。いったいいくら請求されるか不安だったが、いっさい請求されなかった。イスラム教とは、困った時には助け合うのが当然という宗教だということだった。

私は、文房具などのモノをあげることもしてきたが、日本の小学生が描いた絵もプレゼントした。中には「日本の子どもが描いた絵が宝物だ」といって、絵を大事にしまっている子もいた。アフガンの子どもに絵を描いてもらって、それを日本の小学生にも届けた。こういったことが、モノをあげるのではなく、ところをつなげることになるのだと思う。

今日はかがやきセミナーということで、私の体験したこのようなお話をさせていただいた。皆さんも何か人のためになることを見つけて、かがやいた人生を送っていただきたい。(拍手)

2回目 演題：ゴミ問題から考える優しい地球の未来

講師：今井光代氏

〔OHPを使用して講演〕



私は大垣市で生まれ育ったが、学生のころはミーハーで、1ヵ月に7万円くらい洋服代に使っていた頃もあった。車も3ナンバーしか乗りたくなかった。体型がその頃と変わらず、いまだに昔買った洋服が着られるので、最近あまり洋服を買わないが、それでも最近2着の服を買って、今日はそれを着てきた。

環境のことに関心を持つようになり、それにつれて行動も変わってきた。この服は藍染めの服で、染料に藍の葉を使い、川に流しても自然に返っていくものが使われている。この靴も、タンニンで染めたもので、そういうものを売っている店があり、私もそういう店を支持していきたいということで買って来た。

この店では、お客さんが要望すれば、商品を風呂敷に包んでいる。コストは高くなるので悩んだそうだが、敢えて昔からある風呂敷を勧めているお店だ。私も、3回くらいその店を利用しているが、その都度風呂敷は持参していく。

名古屋市の栄には、若向きのショップでラシックという店ができた。ドイツの会社だが、オイルやピネガー、リキールなどは量り売りしているし、瓶を持っていくとワインをそこにに入れて売ってくれる。石けんのキットや無添加スーブ、酵母パンなども売られている。私は、こういう店を支持していきたい。では、なぜこれが大事なのか。

今日は、OHPを利用してお話させていただくが、ここで使う資料は、新聞記事や、政府、国連などの公的機関が発表しているものをデータとさせていただいている。

世界各国の焼却炉の数を調べると一目瞭然だが、日本は焼却炉が世界一多い。大きなもので1769基、大小入れると9万基とも言われている。

ダイオキシンの排出量も日本はダントツに多い。

これはベトナムに生まれた二重胎児、ベトちゃん和ドクちゃんの写真だ。ベトナム戦争の時に、ジャングルに兵士が隠れることができないよう、枯れ葉剤がまかれ、その枯れ葉剤を浴びたりした野菜や魚を食べた人から生まれた赤ちゃんだ。

ベトナムでは、病院で羊水検査をし、障害児だと墮胎が今でも行われているという。今でも、枯れ葉剤の影響が残っているということだ。

こうした二重胎児は、自分みたいな子を産まないで、というメッセージを背負って産まれてきたのではないかと思う。

ベトちゃんも分離手術を受けたが、今では大学生となり、講演などでメッセージンジャーとして活躍している。

これは眼球がない少女で、盲学校で勉強している。この子が枯れ葉剤を浴び

たのではなく、この子の母親が浴びた。

日本は、わざわざたくさんのゴミを出して結果的にダイオキシンを排出している。ゴミは、モノを買えば買うほど増える。

名古屋市は、ゴミを分別していて、ゴミが減った。しかし、プラスチック容器は圧縮して、燃料として燃やしている。名古屋市は、分別貧乏と言われている。燃やしたり、埋めたりするのが安上がりで、分別するとお金がかかる。頑張らないと、ゴミは減らない。

「人体の脂肪中のダイオキシンの濃度」を調べると、日本は84.9ピコグラム、カナダ65.72、イギリス57.4、ドイツ49.03、スペイン41.1で、南ベトナムは18.1となっている。

29年前に、イタリアでセベツ事件というのが起きた。農薬工場で事故が起こり、農薬の影響で虫や鳥が大量に死んだ。

平成12年5月の新聞記事には、イタリアのその汚染地で、男子の出生数が減少とある。時間が経過してから影響が現れる。

私たちも、日常的に農薬という言葉を知っているから怖さが分からなくなっているが、人体への影響はある。

腹水からダイオキシンという記事もある。愛媛大学のグループが、女性の胎内で世界で初めて確認したとある。

私も二児の母親だが、もう一人、おなかの中で死んだ子がいる。なぜ異常が起きたのかは分からないが、へその緒が細く長かったからかもしれない。思い当たることといえば、昔ぜんそくだったから、薬を飲んでたことくらいだ。

これは水俣病のトモコちゃんの写真。トモコちゃんは、水俣病にかかりながら家族から宝子（たからご）として大事にされた。トモコちゃんは、20歳を迎えて、間もなく亡くなった。

トモコちゃんの母親は、水銀に汚染された魚を食べた。当時、水俣病は奇病と呼ばれ、人々も患者がいる家庭を避けるようにしていた。しかし、この家では、トモコちゃんが毒を吸ってくれたということで、宝子として大事にされた。

水俣病がきっかけで、科学物質が胎盤をとおして影響を与えることが初めて分かったという。

水俣病は50年前に起き、今はその3世の時代だが、今も苦しんでいる人がいる。長い年月にわたって影響が出る。30歳代の子でも、水俣病として認定されているケースもある。

長崎の病院では、指が3本の子が生まれているが、これは原爆の影響だと言われている。イラクやアフガンでは劣化ウラン弾が使われたが、これも長い長い年月にわたって影響を及ぼすことが懸念される。

イラクへ派遣された兵士も、放射能に汚染されて帰ってくる。外国で起きたことでも、水や空気は地球を巡っているのだから、どこにいても影響は出てくる。

環境ホルモンの影響について、この記事（朝日新聞、平成10年3月9日付け）では、帝京大学の先生の調査結果で、成人男性34人のうち、元気な精液を持っているのはたった1人だったということだ。元気な精子というのはちゃんと赤ちゃんができるということ。今の20代の青年は、50代の男性の2分

の1から3分の1の精子しか持っていない。

いったい何が問題なのか。この写真はくちばしに変形して生まれたが、私も実際、障害のある子と一緒にハトにエサをやっていたら、くちばしに異常のあるハトを見つけた。ハトにエサをやることなど、皆さんはほとんどないだろうが、よく観察していると異常に気づく。

この記事（朝日新聞、平成11年12月9日付け）には、塩ピラップでくるんだものをレンジでチンすることの危険性を訴えている。ポリプロピレンやポリエチレンがいいとされているが、最近はこちらも燃やすと有害ガスが出ると報告されている。

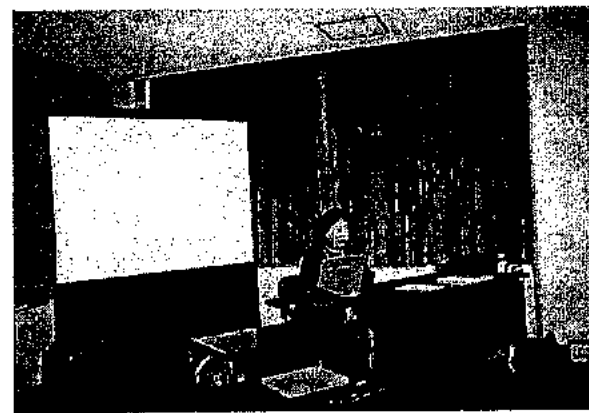
では、どうすればいいか。簡単にいえば、30年から40年前の暮らしを思い出していただいて、その時使っていたものを使うようにするのがいい。今は、年間1000から2000種類の化学物質がつけられているといわれているが、自然界になかったものは、人体にどのように影響を及ぼすのかがはっきり分からないからだ。

私は、環境のことに興味をもってから、こうして名古屋市内や各地で環境のお話をさせていただいている。これも私の自己実現だし、これからも皆さんにいろいろな情報を提供していきたいと思っている。皆さんも、どうか自分にあった分野で、かがやいた生き方を見つけてください。（拍手）

3回目 演題：ゴミ問題から考える優しい地球の未来

講師：堀川ひろ子氏

〔スライドを使用して講演〕



今の今井さんのお話は、環境ホルモンの影響ということで、原因と結果がすぐには結び付かないお話だったが、これからお話する地雷の話は、原因と結果がすぐに現れるものだ。地雷が爆発すれば、腕がなくなる。足が吹っ飛ぶ。あるいは命が奪われる。

カンボジアとアフガンで見たお話をさせていただく。

カンボジアというと、世界遺産のアンコールワットが有名で、世界中から集まる観光客はここを必ず訪れる。しかし、ここから一歩はずれたところがどのようなになっているのかを知る観光客はいない。

これはカンボジアのある村の写真だ。民家のすぐ脇に地雷が埋まっている印がある。こちらはアフガニスタンの道路。道路から一歩入ると地雷原なので、道路の脇にペンキを塗った石を置いて分かるように表示している。この写真は、対人地雷と対戦車地雷、それにその不発弾を写したものだ。

これは、対人地雷が埋められているところの写真。よく見ないと分からないが、ここここにある。地雷の近くにはくさびがばらまいてあるところもある。

地雷を避けようと歩いていても、くさびを踏んだ弾みで地雷を踏んでしまうということだ。また、見えない糸が張り巡らされており、その糸を引っかけると辺り一面の地雷が一齐に爆破する仕掛けになっている。

遊牧民の子が地雷で負傷し、家に帰れなくなって獣に食べられたということがあったそうだ。そこでは、それを機に地雷を撤去するNGOの組織ができた。

地雷原に入るときには、防弾チョッキを着ける。アフガンで地雷撤去している人にどんな気持ちでやっているかと尋ねたところ、地雷を撤去することに誇りを持っているとのことだった。1個の地雷を掘れば、1人の命を救えるのだから、と言っていた。しかし、その人は同僚も爆破で死んでいるとのことだった。

ミャンマーには少数民族がいて、その民族の男性が人間地雷探知機よろしく、一齐に地雷原を歩かされているそうだ。

この写真の男性はアキラさんというが、ものごころついたときにはすでに少年兵士だった。カンボジアでは、強制的に結婚させられ、そこで生まれた子を奪って兵士として育てるとのことである。このアキラさんは、兵士としてこれまで地雷を埋める作業をしてきたが、今ではボランティアとして地雷撤去作業に携わり、すでに1万個も撤去したと言っていた。

この写真は、病院のベッドに横たわる人で、足がない。この子は、意識がない男の子だ。母親が入院すると、その母親の幼児も世話をする人がいないから、病院と一緒にいる。手のない人。こんな人たちが、無差別殺傷の被害者になっている。

撤去している組織は政府組織も民間組織もあるが、腐敗している組織もあって、募金を集めれば集めるほど、幹部の人の家が立派になっていく、という話もあるようだ。

私は自費出版で本を出し、その収益の170万円を寄附した。その金額だと、小さな村3つ分の面積の地雷が撤去されたことになり、150人以上の命が救えたことになるという。

1か月の給料がおよそ2~3千円であるのに、義足は1つ1万円するそうだ。この義足もNGOが募金を集めて、無料で提供している。

この女の子はリハビリをしているところ。左手と左足が義手、義足で、バランスをとって歩けるように訓練している。

この人は車椅子を利用して生活しているが、その人が車椅子づくりに携わっている。

これはカンボジアの学校。日本人で末期がんに罹った人が150万円寄附して学校の建設の支援をしたものだ。小学生たちが、サッカーボールで思いっきり遊んでいた。日本の小学生たちが寄附してできた学校もある。

アンコールワットのすぐ近くの村だが、3分の1が障害を持った子たちで、国はイメージが悪いのでもっと山奥へ移住させようとしたらしいが、学校ができたことによって、移住を免れたと話していた。

世界には1億1千万個の地雷が埋められている。アフガンやアンゴラなど、紛争地帯には必ずある。そしてそれはアメリカ、中国、ロシア、ヨーロッパな

どがつくっている。

しかし、世界には人のために働いている人も多い。各地を歩いていたら、ロンドン大学を卒業した日本人の男性に出会った。どうしてこんなことしているの？と尋ねたら、これをやるのが幸せだから、という返事だった。この人も輝いていた。

それと、ゴミの山をあさって生活している少年もいる。そこで働かないと生きていけない人たちだ。そんな少年が笑顔でいると、幸せっていったいなんだろうと考えさせられる。この子たちは、文字どおり大地を踏みしめて生きている。

それに比べ、日本の少年たちは環境が整いすぎて生活力が劣っているようにみえる。

今後とも、人のために何ができるかを考えていきたいと思う。皆さんも、そんな何かを見つけて、それぞれが輝いた人生を送っていただきたい。(拍手)

4回目 演題：ゴミ問題から考える優しい地球の未来

講師：今井光代氏

〔OHPを使用して講演〕

堀川さんの今の地雷のお話をもう少し味わっていただくため、愛・地球博で好評だった赤十字・赤新月社館の展示を真似て、少しスライドと音楽をお楽しみいただきたい。音楽は、ケツノポリスの曲を流させていただきます。

〔音楽が流れるなかで、世界各地の映像スライドを映写〕

さて、日本は食べ物の6割を輸入している。原料も輸入しているし、エネルギー自給率に至っては6パーセントしかない。石油などがないから、なんとも仕方ないのだろうか。

デンマークでは、1972年にエネルギー自給率が2パーセントであったが、1979年にはオイルショックを経験し、その後、風力発電やバイオマスに取り組んで、2001年にはなんとエネルギー自給率137パーセントとなった。自給率を高めようとする政策が実を結んだものだ。

世界の穀物自給率をみると、オーストラリアは272%、インド106%、中国95%、北朝鮮68%、日本24%である。映画の火垂るの墓で描かれた敗戦直後の食糧難のときの自給率は70%といわれている。

日本は、自給率が24%でも、海外から輸入することによって飽食をしている。

さて、これから環境にやさしい掃除の実演をさせていただく。合成洗剤と石けんの違いを一言でいうと、合成石けんというのは石油からつくるもので、粒子が細かく、皮膚の穴より小さいため、人体に吸収されて環境ホルモンとして

作用する。

環境ホルモンとは、人間の内分泌を攪乱する作用を起こすものである。

また、石けんというのは、粒子が皮膚の穴より大きいため体内に吸収されることがない。

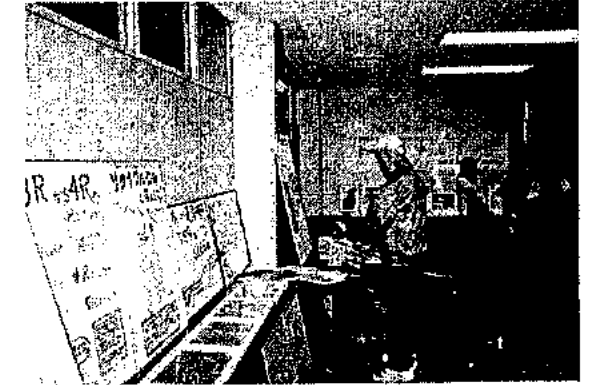
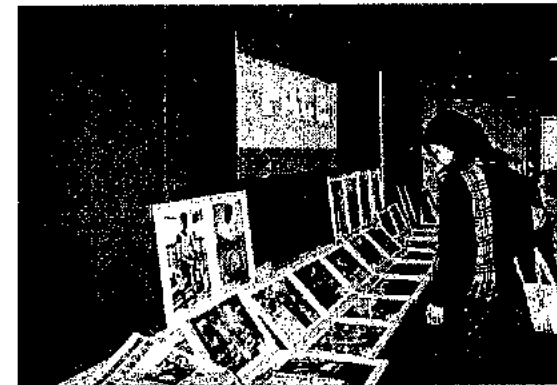
また、こちらの資料を見ていただくと、家庭で使用されている洗剤や石けんを1000倍に薄めた水溶液にメダカを20分間入れ、何分生きられたかというグラフである。製品により、メダカが死ぬまでの時間に長短はあるが、石けんというものの水溶液に入れた場合は、20分経過しても死ぬことがなかった。

これから実演させていただくように、石けんや重曹でも十分きれいになるところをご覧ください。

〔石けんや重曹を使って、汚れた食器などをきれいにする実演〕

皆さんも、今後はぜひ合成洗剤をやめ、純正石けんに変えるようにしていただきたい。そして、環境にやさしく、子どもたちにやさしい暮らしをしていただければと思う。(拍手)

6. 写真



大垣に園芸福祉活動を広げよう！！

大垣に園芸福祉活動を広げよう！！

1. 企画運営

2005園芸の会 代表 古田富美子

2. 開催日時

- | | | |
|-----------------------|----------------|-------------|
| (1) 講演 | 平成17年11月20日(日) | 13:30~14:30 |
| (2) ペットボトルを利用した寄せ植え体験 | 平成17年11月19日(土) | 10:45~12:45 |
| | | 13:30~15:30 |
| | 20日(日) | 10:30~12:30 |
| | | 14:30~15:30 |

3. 事業趣旨

- (1) 園芸を通して（高齢者・障害者・子ども・大人全員）が楽しく交流する。
- (2) 講師を招聘し、実践活動を通じた外国や、他地域の市民活動の様子を知ってもらい、園芸がいかにかに市民のうらおいと活力を生み出すかを知ってもらう。

4. 講演

- (1) 演題：「みんなが生き生きと活動している園芸活動」
- (2) 講師：渡邊 利子氏
大阪府「癒しの園芸の会」コーディネーター

<講師プロフィール>

ボランティア団体「癒しの園芸の会」主催の講座を受講後、2001年からコーディネーターとして会の運営に携わる。
心理カウンセラー

- (3) 参加人数：50人

5. 講演内容

癒しの園芸の会は、大阪府営大泉緑地を拠点に活動するボランティアグループです。

はじめは、大阪府の助成もあって公園づくりから始めました。全国で初めてのユニバーサルデザインの公園をつくりました。それは、子どもの広場でもあり、高齢者や障害者の交流の場でもあり、み



んなが憩える公園です。ここは、車椅子で入れる公園で、休憩所も車椅子で利用しやすい形にし、レイズドベッドという花壇（高さが70~80センチある）をつくりました。車椅子での園芸作業ができますし、近くで鑑賞もできます。

公園が完成してからは、月1回、50人ほど集まり、実習と講演を通してリーダーボランティア養成講座を行っています。実習では、花壇や農場で種まきから収穫、食べるまでの実技を行い、講演では、人と植物に関する話を中心に、施設で使える園芸やグループ活動のノウハウを学んでいます。午前中に、種まきや苗を育て、午後は、公園の花でドライフラワーを作ったり、木の実などでリースを作ったりします。また、公園で育ったハーブでお茶を入れ、手作りのお菓子でティータイムを楽しんだり、農園の野菜でサラダを作って食べたり、採れたてのさつまいもを料理して食べたりします。一日をたっぷり使い、季節にあった楽しみ方で過ごします。そこには、栄養士、農園に詳しい人もいて、参加者それぞれの得意分野を生かし、お互いに学びあって過ごします。

他に、年1回の総会(100人程)、年1回の公園緑地の相談所を開設しています。対外的には、年2回、障害者や高齢者施設から訪問されて花を見られます。また、子どもたちが、さつまいもほりや花摘みを体験します。年間で10グループほど訪問されます。また、会報「はないずみ」を発行しています。

これらの活動を通して、私は園芸のすばらしさに気づかされました。花が育ち、咲く様子を見て、ひきこもりから立ち直った人もいます。また、余命を宣告された人が、チューリップの球根を育て、自分の名前をつけてほしい、春に花を見たいと家族に伝え、家族が世話をし見守っていたら、春には芽が出て、宣告された以上に長生きされた方もいます。

花や植物を世話している人は、みんなニコニコしています。野菜など、畑からとってきて、新鮮なうちに料理できるというのはうれしいことです。それは、花や植物から、元気をもらっているからです。

園芸は、五感に作用します。視覚(見てきれい)、嗅覚(香り、アロマセラピー)、聴覚(風にそよぐ音)、味覚(食べる、お茶にして飲む)、触覚(つるつるしている、ざらざらしている)などです。これらが、脳に刺激を与え、触ってみよう、植えてみよう、食べてみよう、絵を描いてみよう、何か作ってみようなど、「何かやってみよう」とすることが、「元気」のもと、「生きる」もとになります。それが、「生きがい」につながります。だれでもできる園芸作業は、交流する場が広がります。ひとりの園芸も元気になれるが、仲間ができれば、みんなが、さらに生き生きとできると思います。

6. ペットボトルを利用した寄せ植え体験

(1) 使用苗：パンジー、デージー、アイビー

(2) 内容

各回、約30人の参加者を対象として、ペットボトルを利用した寄せ植えの体験活動を行った。寄せ植え体験を通して、園芸福祉活動に触れ、その効果や楽しさを実感していただくことを目的に開催した。

(3) 参加人数：120人

7. 参加者の声

○ ペットボトルの再利用でこれほど素敵な寄せ植えができてとても嬉しい。室内・室外でも置いて楽しめる。寒さにも強く、バラエティに富んだ作品ができました。スタッフの方に感謝します。

○ とてもよかった。

○ ポット再利用のアイデアも素敵！係の人のご苦労に感謝。土の入れ方、苗の植え方を親切にご指導くださって、楽しんで作品を仕上げました。毎日眺めながら花が咲き、枝の仕上げを心待ちにしております。ありがとうございました。

○ たった300円で作らせていただいた寄せ植え。とても楽しく実践させていただきました。今でもパンジー、デージー、アイビーが生き生きと育っていて毎日が楽しみです。心が癒されています。

○ 容器の工夫がおもしろくて、そして楽しかった。作業にかかる前の話「花は心を癒す」、すばらしい話で幸せでした。

8. スタッフ(2005園芸の会メンバー)の声

○ 参加された方々が、できた作品を見て、とても満足そうにされていたのが嬉しかったです。子どもを連れて参加された方も何人かいらっしゃいましたが、子どもさんも楽しんでいらっしゃったので良かったと思います。

○ 協力できることの楽しさを感じました。

○ 参加された人がとてもよかったと言われるのを聞いて嬉しくなりました。大垣城ホールまで来たけれど、やっている位置が分からず帰られた人もあったようで、2階という場所が分かりにくかったかと思います。全体的には良かったと思います。

○ 初めて参加しましたが、とても大勢の方がいらして下さってよかったと思います。このような催しは、いつもは家庭にいと、知っていてもなかなか参加しないのですが、本当に参加できて嬉しく思います。時間はいくらでもありますので、また頑張りたいと思います。参加して下さった方にも好評で、来年もぜひとのことでした。

○ 当日は都合が悪く出席できませんでしたが、準備の段階でお手伝いできて嬉しかったです。いろいろお話ししてなごやかな時間が過ごせ幸せでした。

○ 参加して下さった方が喜んで帰られました。あくる日、また指導しに行きました。

○ 初めてのことで何かと迷いながらも終わることができました。良い会に参加させていただき思い出がいっぱいで、本当に良かった。

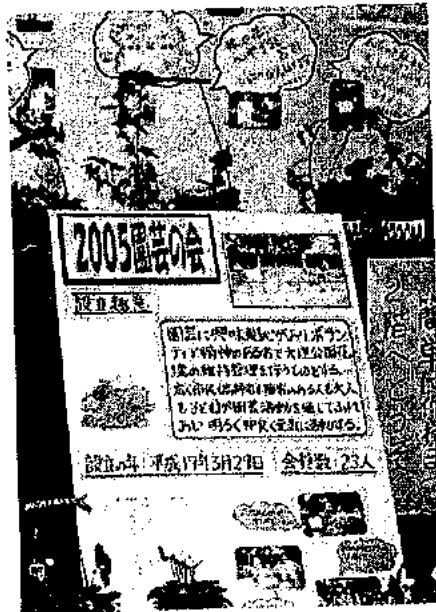
○ 「講演を聞きたい」という声をいくつも聞き、皆さんの市民活動への関心の強さを感じました。皆さんに喜んで帰っていただき、また、後日、「生き生き育っているよ」という声を聞き、良かった。

○ 予約の状況が7割を超えたところでなかなか増えず不安でしたが、その後9割まで集まり、残りは当日受付をしたところ、100人限定を120人まで受け付けることができ、予備の材料も使いきり、大盛況に終わることができた。思わぬ

人たちの強力な協力に、ただただ感謝するばかりであった。大きな仕事を一緒にすることで、仲間同士の間がより近く感じることができ、相手をより深く理解でき、仲間意識が強くなった。これを機会に、園芸を通じた福祉活動ができればと思う。

○ 参加された方と話をしながら一緒に作ることができ、良かった。

9. 写真



おおがき未来創造会議

おおがき未来創造会議

1. 企画運営

岐阜経済大学マイスター倶楽部 代表 鈴木誠

2. 事業趣旨

大垣市の将来を担う若者の視点から、今後の大垣のまちづくりについて提言を行う学生会議を開催する。

3. 事業内容

日時：平成17年11月20日(日) 14:00~15:30

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：大垣市長、上石津町長、墨俣町長と3市長の高校生・大学生(20人)による座談会

また、大垣市、上石津町、墨俣町の小中学生(約800人)を対象に、今後の大垣のまちづくりについてのアンケート調査を実施

4. おおがき未来創造会議

参加者数：200人

出演者：・コーディネーター

早稲田大学WABOT-HOUSE研究所客員講師 小笠原 伸氏

・大垣市長 小川 敏

・上石津町長

・墨俣町長 栗田 金一

・大学生

大垣女子短期大学 近藤 恵子(2年)、杉浦 宣子(2年)

岐阜経済大学 田上 龍祐(2年)、堀 あゆ美(1年)

・高校生

大垣北高校 坪内 勇人(2年)、久瀬紗也加(1年)

大垣南高校 栗田美里奈(2年)、岡野 文香(2年)

大垣東高校 田中圭一郎(2年)、荒田 陽平(2年)

大垣西高校 松波 里帆(2年)、田中 志明(2年)

大垣商業高校 松本 康史(3年)、門口 恵子(3年)

大垣工業高校 傍島 佑太(2年)、藤井 琢大(2年)

大垣日本大学高校 山田 郁馬(1年)、安永 景子(1年)

大垣桜高校 今村 朋未(3年)、酒井 美奈(2年)

若者の意見を取り入れたまちづくりについて（提言）

岐阜経済大学マイスター倶楽部

大垣市には、水や緑などの豊かな自然やこれまで受け継がれてきた歴史や文化など、数多くの地域資源があります。また、本年3月27日には、大垣市は上石津町及び墨俣町と合併し、「新生・大垣市」として輝かしい未来に向かって歩み出します。上石津町には緑豊かな自然や里山地域があり、墨俣町には全国的に有名な一夜城や犀川の桜堤があり、大垣市にはない新たな個性や魅力が加わることとなります。私たちは、こうした地域資源を生かしながら、自らの個性や能力を発揮し、自らの手で日本一住み良いまちづくりを進めていく必要があります。

このため、私たちは、昨年11月19日～20日に開催された「かがやきライフタウン・大垣2005」で、早稲田大学WABOT-HOUSE 研究所客員講師の小笠原伸氏をコーディネーターとしてお招きし、1市2町の高校生と大学生が集い、大垣市長さん、上石津町長さん、墨俣町長さんとの討論の場として「おおがき未来創造会議」を企画運営し、これからの大垣市のまちづくりについて意見交換を行いました。

「おおがき未来創造会議」では、1市2町の若者による快活な発言がなされる中、市長さんや町長さんには、真摯な態度で若者の意見に耳を傾けていただくとともに、今後のまちづくりに向けた前向きなご意見を頂戴でき、厚くお礼申し上げます。会議を企画運営した私たちとしても、短い時間ではありましたが、大変有意義な時間であったと自負いたしております。

今回、私たちは、この会議で出された意見を踏まえ、提言として取りまとめました。今後の市政運営にご活用いただければ幸いです。そして、今後も、こうした若者と市長さんとの対話の機会を設けていただくとともに、若者の意見を取り入れたまちづくりをされますことをご提言申し上げます。

最後に、私たちは、まちの悪いところを見るだけでなく、良いところを見つけることが大切であると考えています。また、さまざまな課題解決を自治会や行政にお願いするだけでなく、豊かな地域資源を生かしながら、自主的にアクションを起こし、新たなまちづくりへと展開していきたいと思ひます。

こうした活動を通して、私たちも、自らの手で、市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれる「かがやきライフタウン・大垣」の創造に向けて取り組んでまいりたいと思ひますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年1月 日

大垣市長 小川 敏 様

岐阜経済大学マイスター倶楽部

佐藤 有美
河並健太郎
馬久地 浩

提言事項

私たちは、「かがやきライフタウン大垣2005」において実施した「おのがき未来創造会議」において、大垣市の抱える様々な課題などについて意見交換を行い、大垣市・上石津町・墨俣町の1市2町による合併後の「新・大垣市」のまちづくりを進めるに当たり、「新・大垣市」の個性や魅力を引き出すことの大切さを再認識するとともに、今後も市民・企業・行政が協働して次の3つのまちづくりを進める必要があると考えております。

1. 自然・歴史・文化と産業が両立して発展するまちづくり

大垣市、上石津町、墨俣町には水や緑といった豊かな自然や、古くから受け継がれてきた歴史や文化がある。また、豊富な水を生かした産業やものづくり技術、近代的なIT産業も盛んである。これら自然・歴史・文化の豊かさと産業が共に発展していくまちづくりを進める。

2. 子どもから高齢者まですべて人が住みよいまちづくり

バスや電車等の交通手段の減少や治安悪化など、まちに住んでいる人が不安・不便を感じるようになってきている。男女が協力しあい、子どもから高齢者まですべての人が安全で安心して暮らせるとともに、高齢者や障害のある人を対象とするバリアフリーを一步進め、すべての人に配慮するユニバーサルデザインの考えを取り入れたまちづくりを進める。

3. 人と人との交流・地域のふれあいがあるまちづくり

大垣市には多くの市民活動団体やボランティア団体があり、さまざまな形でまちづくりに取り組んでいる。また、他地域との交流や、人とのつながりを深める催しが多く開催されている。今後も、若者（保育園児・幼稚園児・小中学生・高校生・大学生）がまちの発展のために活動する場、まちの将来について意見を交し合う場などを創出し、人と人との交流・地域のふれあいが深まるまちづくりを進める。

これら3つのまちづくりを進めるためには、若者が持つ知識・経験・ノウハウを生かせる機会の創出が必要である。

1. 若者がまちづくりについて考える場の創出

- おおがき未来創造会議の継続実施
- 若者を対象とした「夢のまちづくり（作文・絵画・事業提案）」の募集

2. 若者がまちの発展のために活動する場の創出

- 若者を中心とした市民活動団体への支援の充実（事業委託の推進）
- 若者によるまちづくり活動コンテストの実施

3. 若者の能力や可能性をひきだす場の創出

- 男女共同参画社会づくりの推進
- ユニバーサルデザインによる社会づくりの推進
- 若者の職業体験・インターンシップ事業の実施

<会議録>

司会

皆さん、こんにちは。私は、この「おおがき未来創造会議」の企画運営をしております、岐阜経済大学マイスター倶楽部の河並と言います。よろしくお願いいたします。本日はこの「おおがき未来創造会議」にお集まり下さいまして、ありがとうございます。

それでは早速ではございますけれども、会議のほうを始めるにあたり、出演者のほうの紹介をさせていただきます。では、始めに大垣桜高校、大垣日本大学高校、大垣工業高校、大垣商業高校、大垣西高校、大垣東高校、大垣南高校、大垣北高校、大垣女子短期大学、岐阜経済大学の皆さんです。本日は、この高校生と大学生合わせて20名の皆さんと一緒に会議の方を進めさせていただきます。

そして続きまして、小川敏大垣市長さん、そして来年3月に大垣市と合併いたします、上石津町の小川一善町長さん、そして同じく墨俣町の栗田金一町長さんの皆さんです。

そして最後に、本日のコーディネーターを務めていただきます、早稲田大学WABOT-HOUSE研究所客員講師の小笠原伸さんです。

それでは以上の皆さんで、これからの大垣市のまちづくりについての会議を開催させていただきます。

それでは、ここからの進行は、小笠原さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

コーディネーター

じゃあ皆さん、ご着席願います。ただ今ご紹介を与りました、早稲田大学WABOT-HOUSE研究所の講師の小笠原でございます。本日の会議の進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、まず壇上の左手に座っていらっしゃる地元の高校生・大学生の皆さんに、様々な意見を発表してもらい、地元の市長さん・町長さんに直接質問をぶつけてみようという、非常におもしろい試みでございます。

学生さん、少し緊張の面持ちではあるんですが、先ほど控え室では、かなりいろんな意見が出ていましたので、少し市長さん・町長さんを困らせる発言が出るかもしれませんが、そのあたりはですね、大垣・西濃の未来を考えていくという、非常に大切な場になりますので、今日は楽しく・面白く。皆さん、まだ顔が堅いですよ。いろんな意見が出るようにしたいと思います。

ではまず、各学校、高校・短大・大学10校の皆さんが代表で来て頂きました。その皆さんから1校1分ずつ、アピールをして頂きたいと思っております。例えば、大垣の自分の町の自慢はなんだろう、もしくは、自分たちが町のためにできることは何だろうか、そういう自分の身の丈からわかること、むしろ、自分自身がどんなことができるか、どんなことをしたいかという話を考えてきてもらっています。タイムキーパーをマイ

大垣桜高校 今村さん	<p>スター倶楽部の方に1分をお願いしてありますので、1人1分、ちょっと短い時間ではあるんですが、一気呵成にお話していただきたいなと思います。ではまず大垣桜高校からお願いします。</p> <p>大垣桜高校の今村朋未です。よろしくお願いします。私が住んでいる墨俣町には、一夜城だったり、桜だったり、そういったことで、自慢するところがたくさんあると思うんですが、一つ足りないとしたら、若い人たちが参加する場というものが少ないところだと思います。私自身、今年の夏休みにトンネルの塗り替えを企画させて頂いて、町の方の力を借りて活動させて頂いたんですが、そういう私のやったことが、直接まちの発展につながっているかはわかりませんが、そうやって少しでもやってみようと考えている若い人たちは、きっと墨俣町の中にも、私だけではないと思っています。だから、そういったやりたいという気持ちをもっとくんで、何かまちの発展につなげていく、そういった、催し物であったり、今日のようにこうやって意見を交流する場であったりということを、一つ一つのまちの中でも設けていけたらいいなと思います。</p>
大垣日本大学高校 山田さん	<p>大垣日本大学高校の山田郁馬です。僕が考える大垣市の自慢、まず一つは水の都ということで水が盛んであるということ。もう一つは、昔の文化が多く残っていることだと思います。そして、一番自分が自慢にしたいということは祭なんですけど、自分は祭っ子なので大垣まつりとか十万石とか、そういう大きな祭になると、多くの人が集まって一緒に遊んだりする機会がもてることを、非常にうれしく思っています。自分は今、MSリーダーというボランティアをやっています。日大高校でも月1回清掃活動などをしていて、これから大垣市をより発展させていくためにまちづくりをしていくんですけど、自分もいろいろやっていきたいと思っています。</p>
大垣工業高校 傍島さん	<p>大垣工業高校の傍島佑太です。よろしくお願いします。大垣市で自慢できることは、まず水です。大垣市には水饅頭もったり、そちらのほうで飲み水が手に入るところもったりします。そこで第一に、大垣の自慢は水だと考えています。もう一つ、大垣工業だから言えることだと思いますが、この辺は、工業がすごく盛んで、就職先がたくさん見つかることです。この大工でもかなりの人数の人が地元に残って就職活動を行っています。だから、それも大垣市の自慢の一つだと思います。以上です。</p>
大垣商業高校 松本さん	<p>こんにちは！私は大垣商業高校の松本康史です。私が思うこのまちの自慢は、先ほど述べられた通り、水のことなんですけれど、天然記念物のハリヨが住めるところがあるくらい水がきれいなところが、私が一番自慢したいなと思っているところです。私が行っている活動の1つとし</p>

大垣西高校 松波さん	<p>て、私の学校では、美化委員と生徒会で、自分たちの利用しているところは自分たちできれいにしようという考えの下、学校の近くの清掃活動を毎回行っています。過去には高架下の落書きを消したこともあります。以上です。</p> <p>大垣西高校の松波里帆です。よろしくお願いします。私が考える大垣の自慢は、自然が多いということですが、水がおいしくて空気もきれいだと思います。しかし、この大垣は、私たちが行くような店は少なく、私の周りの友達にも遊びに行くといったら岐阜市に行ったり、名古屋に行ったりなどという人がとても多いです。それで、私は大垣のためには何もしてないんですけど、これから清掃などをどんどんして行って、この環境を保ちたいです。私たちの行けるような店もどんどん増やして、きれいでなおかつ、人が多くて店が多いような、そんなまちができればいいなと思います。</p>
大垣東高校 田中さん	<p>大垣東高校の田中圭一郎です。このまちは水の都と呼ばれていたり、また縁が多くてとても住みやすいです。また歴史のあるまちで史跡も多いし、それでいて、ロックシティなどの商業施設ができたりして、また、人口も多すぎず少なすぎずで、僕はこの大垣市がとても好きです。将来このまちを出ることになるかもしれませんが、僕はこのまちをずっと誇りに思って生きていきたいと思っています。えーと、自然を守りましょう！</p>
大垣南高校 栗田さん	<p>大垣南高校の栗田美里奈です。私が思うこの大垣の自慢は、まちづくりに積極的であることです。今日もこのような私たち高校生が話す機会を設けてもらったり、来週アピオも新しくオープンしたり、ロックシティができたりと、いろいろな所でどんどんまちが活性化していくところが私が自慢に思うことです。ただその反面、郭町商店街がだんだん元気がなくなっているのも、もっともっと今まであるお店を大垣市がサポートして行って、古いお店もどんどん活性化して、みんなが元気のいい大垣になったらいいなと思います。以上です。</p>
大垣北高校 坪内さん	<p>大垣北高校の坪内です。僕が思う大垣市の自慢として、2つあります。1つ目は、工業・産業が盛んであるということです。大垣市は県下の工業都市として活発に産業が展開しています。大垣にしかない産業もたくさんあります。そんな中で、僕たち学生はあまりそのこと気づいていません。これからそういうことに興味を持っていきたいと思っています。もうひとつは市内に多くのボランティア団体・NPO団体があるということです。この会議の主催であるマイスター倶楽部のような団体がたくさんあり、大垣市がよいまちになるようたくさん活動しています。そのことはとても誇りに思えることだと思います。また北高校でも、北高家庭クラブが福祉活動として近くの福祉施設に訪問に行ったり、校外の清</p>

大垣女子短期大学
近藤さん

掃、野外清掃などを行ったりしています。このような活動をこれからも展開していきたいと思います。

大垣女子短期大学の近藤恵子です。私は中学、高校と続けて大垣ジュニアリーダーズクラブという団体に所属し、活動しておりました。現在では、大学のサークルで保育所などを訪問し、主にアンパンショーなどを行っております。中学校、高校時代では市の行事とは、割と関わってきたと思うんですが、大学に入ると、ほんとに一部の人の参加という傾向が目立つと思います。そういう中で市内にある学校や、その他の地域で活動している団体もしくはグループ、組織などをもっともっと活用して、イベントや他のそういうイベントにもっともっと参加していきたいと思います。

岐阜経済大学
田上さん

岐阜経済大学の田上龍祐です。僕の自慢は、大垣市で住んできて、子育て日本一ということに気がつきました。僕も住んできて、北保育園、幼稚園ですけど、そこで育ってきたわけですけど、保育園と幼稚園が一緒になっているというのは珍しいらしくて、大垣市の掲げる「子育て日本一」中核市として育ってきたことを誇りに思います。まちは好きです。まちのための活動は、防犯活動など、関わらせてもらって、清掃活動など、行っています。自慢は水とか本当に皆さんの言う通りです。

コーディネーター

はい、ありがとうございました。10分間、ちょっと短い時間でしたが、1校ずつお話をしてもらいました。とりあえずここで、今回おいていただいています上石津、墨俣の町長さん、そして、大垣の市長さんからですね、一言ずつ今の話を踏まえたお話をいただきたいと思うのですが、まず、上石津の小川町長さんいかがでしょうか。

上石津町長

上石津の町長の小川でございます。今若い人たちの意見を聞きました。大変頼もしく思い、いろいろ考えとってくれるんだなという風に思いました。ま、大垣市という風なこと一応視点といいますが、感じたことを述べておきたいと思えます。大垣市と私、上石津ですけども、ここから20km近く向こうの町ですが、今度大垣市の仲間にしていただくにしても、大変遠いところに上石津はあるということなんです。ですから、この大垣市15万都市と上石津町6千ちょっとの町っていうのは、だいぶ大きさが違うんですが、その中でも、いろいろと自慢してやってくれる、そのひとつには、水あるいは、もうひとつ工業・産業のまちであるということ。そして、福祉とかそういう部分も携わりたい。そのような話で、本当にこれが全部そろえば、すばらしいまちになっていくわけです。これから、この大垣の目標というのは、そこにあるんじゃないかと、このように思います。その一つの一端として、上石津町は自然、山が85%ですから、そういう自然環境という役割をしていける

コーディネーター

んではないかという風に思います。ま、そういうことで、遠いところもありますけれども、いろいろとまた、皆さんが上石津に来ていただいて違った趣のまた、自然というものについてうまく考えていただけるようになるんじゃないかと、このように思います。上石津は、里山をキーワードにしてまちづくりをしておりますし、人との関わり、そして、いかに将来において、環境が大事なことかということ、体験学習の場として実感していただけるのではないかなと、このように思っております。イベントに参加したんだけど、そういう機会がないと。このようなお話もあったかと思いますが、私の方の最高学府が中学校でございまして、中学校が、中学生が、いろいろとイベントを夏・秋とやっておりますけれども、そこへ入ってやっておるわけです。重要なスタッフであるわけですし、ま、そういうことで学校においてもそういう風に進めているわけですが、その担い手になって、やはり、自分たちがそのイベントに参加しようという気持ちが大事だと思いますし、必ずそこには、大きな喜びを感じておってくれている、それが1つの上石津町の光だという風に思っております。そういう意味で、皆さんが熱い思いを今語ってくれました。それを、しっかりと受け止めて、そして地域づくりに一生懸命になっていきたいと、こんな感じを受けたわけです。以上で話を終わります。

墨俣町長

ありがとうございました。続きましてですね、墨俣の栗田町長さんお願いします。

墨俣町でございますが、先ほど、トップバッターでですね、桜高校の方が言われたですね、通学路になっているトンネルの地下道に絵を描いてくれ、ありがとうございました。それから同じようなもっと大きなトンネルに、数年前にですね、青少年育成町民会議のメンバーでもっと大きな絵を描いてもらって、これが非常に通常通る町民の胸を和やかにしている。こういうことは非常にありがたいなと思っております。それに同じようなことって言えば、ちょっと違うんですが、防火水槽、大きな地下槽じゃなくして、上に立ち上がっている槽ですね。これが緊急時に飲料水にも供給できる、約4,000人の2日分の水が供給できる、こういうタワーを2基作りまして、で、2基作ったそこをですね、外回りをですね、地上に6mぐらい立っている、その地上に立っている周りを絵を描くのは、ということで、小学校の方で絵を、どういう絵を描いたらいいだろうかと。で、公募してその中から優秀作品を採用して、そのセーフティタワーと呼んでおりますけど、防火水槽の方に作らせてもらった。そういったところで若い力を借りて、町民にアピールしていくということがあります。それからですね、もうひとつございますが、一夜城ご存知の方も多いかと思いますが、一夜城とその周辺桜並木が2.5キロぐらいトンネル状にできております。これは、ずっと長年にかけて、

墨俣町が取り組んできたのが今、桜が大きくなってトンネル状になってかなりの人がですね、3月中旬から4月上旬にかけて、夜桜が特に多いんですが、愛知県の一宮市とか尾西市からも多く来ていただいている。もちろん、大垣市さんもその桜祭にはですね、来ていただける方も多いんですけども、さらにですね、来年の3月27日の合併後においては、もっと多くの方が大垣市さん、あるいは上石津町さんの方からも来ていただいて、墨俣町も桜、一夜城というようなところを、また、再認識、再確認の形で来ていただいて、ふれあいを多くしていただけるのもありがたいじゃないかと。そういうことですね。新しい、新大垣市の長良川に面したところですけども、東の玄関口としての墨俣を、ひとつ、大垣市さんの力も借りながら、大きく活力あるようなまちづくりに使っていけたらな。という、風に思っておりますので、ま、これは市長さんもお見えになっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

コーディネーター

ありがとうございました。続きましてですね、大垣市の小川市長さんお願いいたします。

大垣市長

はい、今、高校生あるいは大学生の皆さんからお話をお聞きして、まず、誇れるところは自然は水、水の都だという話を聞きました。確かにあの、おいしい地下水、豊富な水であると思ひます。皆さんはずっとここに住まれるかもしれないし、外へ行かれるかもしれない。あるいは就職し、あるいは進学されて、他の地域に住まれるかもしれませんが、東京や大阪や名古屋へ行ったりして、暮らしてまず感じることは、水を飲んで「あ、水がおいしくない」と必ず思はずです。その時に気がつきますので、この水は大いに誇りにしたいと思ひますし、今後も進めたいと思ひます。その自然ですね、上石津さんの緑、墨俣町さんの方にも桜、犀川の桜堤があります。こういう、自然を活かしたまちづくりは、是非やっていきたいと思ひますし、また、歴史・文化を誇りにしておられるということですので、また大垣も大垣城・そして墨俣町さんも一夜城がありますし、そしてまた、中山道・赤坂宿・昼飯大塚古墳ですとか、美濃国分寺ですとか、そういう歴史的な文化資産もたくさんあるわけですので、こういう自然、歴史、文化、大垣の特徴のあるところを活かしたい、そういうまちづくりをやっていきたいと思ひます。そして、誇りと思ふことで、産業のことを言われました。確かにこの地域は、産業地域でございますが、ただ、産業の中身というのはだんだん変わってきてるところがあります。昔は繊維なんかが大変多かったんですけど、これからは自動車部品とか、電子部品ですとか、ものづくりも変わってきました。こないだも「ダイナミックシティ大垣」の絵画を募集したら、ポスターにもITとかロボットとか航空宇宙とかいろいろ描いてございましたけど、そういう産業を是非育てていきたいと思ひます。工

業高校の生徒さんですかね、就職が困らないとか、大変ありがたいことをおっしゃってましたけど、それは特に工業高校が特にそうでございます。工業高校こそ求人倍率の高い学校で、各企業から引っ張りだこでございますけれども、是非、大垣の会社に就職していただきますよう、よろしくお願ひしたいと思います。それから最後に、ボランティア団体が活動が盛んだと。今日もかがやきライフタウンで各団体の皆さんがボランティアでいろんな事業を紹介して頂いたり、自主的に事業をやって頂いております。本当にこれだけ活動の盛んな団体もちょっと珍しいんじゃないかなと、私も思っております。これも皆さんのおかげであると思ひます。先般も市長会がありまして、その時に合併の話が出てきて、「大垣は合併記念式典いつやるんや」と言われて、「いや、来年の3月におそらくやると思ひますよ。その前に、プレ合併イベントとして、墨俣町さんと秀吉出世祭り、上石津さんで健康ふれあいフェスティバル、さして来週市民会館で、プレ合併イベントをやると。合併記念式典3月にやって、その後、来年また合併まちづくり事業をやるかなと思ひます」と。「そんな合併1つやるだけでイベントこれだけやるまちは、日本全国探しても珍しい」と。「皆さんまちづくりイベントが盛んなまちだな」ということ言われましたんですけども、そのぐらい皆さんが熱心にまちづくりに参加して頂けるまちと言うことで、大変ありがたいと思っております。

コーディネーター

はい。ありがとうございました。ここでですね、岐阜経済大学マイスター倶楽部の方がですね、1つ発表させて頂きたいと思ひます。今回の催しに際してですね、上石津・墨俣・大垣の小中学生約800人なんですけど、その生徒さんを対象にしたアンケートをとっております。その内容につきまして河並さんですよね？河並さんのほうから、発表してもらいます。

マイスター倶楽部
河並

それでは、私たちが行ったアンケートの結果を簡単に紹介させていただきたいと思ひます。今回、3月に合併します大垣市、上石津町・墨俣町の全小中学校のうちの808人の方々にアンケートを行いました。今回のアンケートの目的といたしましては、この合併後の大垣市を担う子どもたちが、自分たちのまちに関して、どんな考えを持っているのかについてちょっと知りたいなと思ひ、今回実施させていただきました。

全部で9問あるんですけども、この会場の皆さまもちょっと考えていただきたいと思ひます。

まず最初に、「あなたは自分が住んでいるまちが好きですか」という質問に対して全部で808人のうち、655人の子ども達が自分のまちが好きだと言う風に答えてくれました。反対に、このまちが好きでないという方は150名。好きだと言ってくれた子どもの理由としては、自然がたくさんあるとか、水がきれいだとか、そういった、理由が挙げら

れました。逆に、このまちが好きでないということに関しては、田舎だし、不便だからといった意見がたくさんありました。

続いて、2つ目ですけれども「あなたの住むまちの自慢は何ですか」というのを聞いてみました。その中で、好きだったと言うのとよく似ているんですけれども、自然がたくさんあるところが自慢だとか、水がおいしいとか、あと、地域の人たちがやさしいと言うことを、子どもたちは書いてくれました。

3つ目の質問として、「あなたが住んでいるまちは住みやすいですか」という質問に関して、605人の子ども達がこのまちは住みやすいと答えてくれました。その理由としては、空気がきれいだから、静か、暮らしやすいといった意見が出てきました。逆に住みにくいという意見の中には、先ほど言ったように、不便とか、お店が少ない、といった意見が出てきました。

4つ目に、「あなたは今住んでいるまちに今後ずっと住みつづけたいですか」という質問に関して、443人の子ども達が、住みつづけたいと言ってくれました。その理由といたしましては、やはり、この大垣市で生まれ育った、大垣市や上石津・墨俣、自分の生れ育ったところなので、このままずっと住みつづけたいという意見がたくさん出てきました。逆の意見としては、やはり、この自分の住んでいるまち以外にも一度行ってみたい、都会に住んでみたいというような他の地域にも住んでみたいという意見も数多く出てきました。

ちょっと意見、質問が変わるんですけれども、「あなたはまちのために何か活動をしていますか」という質問に関しては、322人の子ども達が何か活動をしていると答えてくれました。その中の多くは、町内会の行事に参加したり、あと、清掃活動をしたり、火の用心にまわっていますとか、そういった意見がたくさん出てきました。そして、その次に「これからあなたがまちのためにできることは何ですか」と聞いてみたところ、今活動していることをこのまま続けていくということで、ゴミ拾いや、まちのイベントなどにも積極的に参加することが、まちのためにできる、自分たちの出来ることではないかというような意見が出てきました。

そしてその次に、「もしあなたが市長になったら何がしてみたいですか、どんなことをやってみたいですか」という風な質問をしたところ、一番多かった意見が、自然や環境を守っていききたい。そして、次に、お年寄りや、障害のある方みんなが住みやすいまちにしていきたい。3つ目が犯罪や事故を少なくすること。安全・安心なまちにしたいといった意見が出てきました。

そして最後ですけれども、「今後合併する大垣市どんなまちになったらいいですか」という風な質問をしたところ、安全・安心で暮らせるまちにしたい。そして、みんなが仲良く、活気ある、そして、明るいまちにしたい、自然を守っていききたい、そういった意見が出てきました。

コーディネーター

このようなアンケートを行うことで、普段自分たちが住んでいるまちってあんまり考えることが少ないと思うんですけども、このアンケートをきっかけに、自分のまちについて少しでも考えてくれるきっかけになればいいなと、なったかなと思っています。それでは、このような意見も踏まえて、次の意見交換の方にいかせて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

はい、ありがとうございました。ここからはですね、少し趣きを変えてましてですね、今まで学生さんたちのお話をいただいて首長さんにもお話をいただいたわけですけれども、これらの話を踏まえて、これからの話をしていきたいという風に考えています。大垣市が来年の春にですけれども、上石津・墨俣と合併して新しい大垣市に変わっていく、その時に、新しい大垣市のまちづくりをどうしていくべきかということ、フリーディスカッションで話をしていきたいという風に考えています。その中でですね、壇上に登っている学生さんには2つの事前の問いかけをしてあります。まず、1つ目がですね、アンケートの方にもあったんですが、「もしあなたが市長になったら、どんなことをしたいですか。」ま、非常に難しい内容だと思います。大垣市長をはじめ、壇上にいらっしゃる首長さんそれぞれが抱えている悩みのですね、10代の学生さんにするのは非常に恐い部分もするんですが、ただこういう問題、地域が直面している部分ですので、是非、若い生徒さん、学生さんの意見を投げ出してもらいたい。で、それを、皆さんと一緒に考えていく場にしたいと思っています。そのうえで、2つ目になるんですが、「新しい大垣市がどういうまちになったらいいか」その2つについて今日はお話をしていきたいと思っています。その質問につきましてですね、随時、墨俣・上石津・大垣の首長さんそれぞれにですね、アドリブでその場でご意見を頂戴したいという風に考えておりますので。かなり、スリルある内容となるかもしれませんが、是非ともご期待いただければと思います。ではですね、まず学生さんのほうからですね、ぜひちょっとこれは聞いてみたいという発言があったらですね、挙手をしていただきたいなと思います。いかかでしょうか。こういう時は出ないもんなんですよね。だいたい最初はね。では、こちらからですね。ちょっと指名をしていきたいなと思っています。大垣工業の藤井君。ちょっと発言、何かあれば。

大垣工業高校
藤井さん

僕はだ垣じゃなくて住んでいるのが垂井なんですけれども、垂井が最近、パチンコとかスロットとかが多くなってきて、まちの治安が悪くなってますけど、まちのイメージが悪くなるかなと。そういう店とか建てるのは、誰が決めているのか知りたいなと思います。

コーディネーター

やっぱりパチンコ屋さんとかできると、ちょっとどうかなって感じに

大垣工業高校
藤井さん

なっちゃうのかな。

パチンコとか増えると、いざこざが起きてきたり、そういうので警察が増えて、警察が増えると10時以降に僕たちが出歩いていると捕まっちゃうんで、なるべく警察が少ない方がいいと思います。

コーディネーター

それ以前に10時以降出歩かないって言うておいた方がいいんじゃないかな。確かに、まちが変わっていくってときには、いろんな問題が起こると、良い部分だけじゃなくて、悪い部分も出てくる。でも、そういう部分、自治体というのはいろんな活動をしていると思うんですが、どうでしょうか。地域の安全という観点で墨俣の町長さん。そういう、地域の安全という観点での自治体のお考えというのは何かありますか。安全なまちに、この西濃をしていくという位置付けなどがあればちょっとお話をいただきたいんですが。

墨俣町長

あの今ですね、具体的なパチンコとか例を挙げて、環境がよくなってないということであったんですね。そういうのは、先般もまた1週間ほど前ですけれども、やっぱり青少年の育成の町民会議というのを開きまして、それぞれの小学校・中学生からの意見をだしてきてですね、そこで壇上で、それぞれの4名・4名、8名くらいが意見発表をして、そういうような会議をもったのですが、具体的に町、私の町、墨俣町にそういう具体的な問題もないし、特にですね、隣に桜高校があるわけですが、そういう問題もない、ということで、あんまりその、問題意識としては、ちょっと持ってないんですね。自治会長の会議の折とかいろいろなところでは、警察官の駐在所、派出所長を呼んでいろいろな話を聞く、ということをやっています。ということでですね、ま、その程度で今のところは問題なくやっています。

コーディネーター

ありがとうございました。なにかございますか。あれば。

大垣市長

あのね、さっきもロックシティだとかアピオだとか買い物行くときに、岐阜や名古屋へ行くとか、いろんな話がありまして、郊外にもショッピングセンターがね、いろいろできたりするようになって。パチンコ屋さんもあちこちでできるようになってきたり、福祉施設もあちこちでできるようになってきて。今、規制というのが緩くなってきましたし、車社会ですので、郊外へどんどん行けるようになったんですね。昔は商品を買うのも、お酒を飲みに行くのも、パチンコやりに行くのも、映画館見に行くのも、みんなまちのまん中だったんですね。だから、一箇所にみんな集まってたもんで、防犯、犯罪も起こるところはだいたい中心でいつも起こってたんですね。今は逆にね、郊外にどんどんいろんなものが建つようになってきて、いろんなところで犯罪が起こりやすくなっ

てきたと、そういう面があるんですね。行政の方も、警察の方も、はっきり言って取締りがしにくくなりました。昔はだいたい岐阜県と言えば、柳ヶ瀬と大垣の駅前を取り締まると、だいたい良かったんです。そう犯罪も起こらなかった。でも今は、おっしゃるように垂井町の方にちょうどパチンコ屋さんができたりですとかね、あちらこちらにそういう飲食店ができたりとか。これはこれで、自由競争であり、車社会ということなんで、やむをえないところもあるのかもしれないけれども、でもやはり、もう少し計画的なまちづくりを私らとしてはやるべきじゃないかと。ある程度、娛樂ゾーンは娛樂ゾーン。というような形にして、そういうところは、犯罪が起こりやすいところは、しっかり警察も取り締まる。そうでないところは、暮らしやすいところ、住みやすいところ、農業、自然を残すとかですね。もう少し計画的なまちづくりを今後はやるべきじゃないかなと、私は思っております。

コーディネーター

ありがとうございました。いいでしょうかね、はい。

大垣工業高校
藤井さん

はい。期待しています。

コーディネーター

今ちょっと街中の話が出ましたけれども、例えば街中の活性化とか商店街の話なんかでも、もし質問があるという方、この場でちょっとお聞きしましょうか。どうでしょうか。はい、どうぞ。

大垣北高校
久瀬さん

大垣北高校の久瀬紗也加です。私は駅の南に住んでいて、学校が駅の北側にあるので、北側に自転車で通っているんですけど、その駅を挟んで南がすごく、すごくってことはないと思うんですけど、発展してるけど、北はどっちかという少し元気がないと思うんです。それは駅の南北の行き来があまり自由にできないからじゃないかと思うんですけど。そこは何か、駅の南北を挟んで差があるのは良くないと思うので、自由に行き来できたらいいなと思います。

コーディネーター

ありがとうございます。何か街中の問題でその他に今、意見あるという方。この場でまとめて話をしてもらおうかなと思ったんですけど。ちょっとさっきの話と関連するんですけどね。さっき、大垣西校の方で店が少ないって話があったんですけど、ちょっとその話。マイク持ってもらえるかな。具体的にどういうお店が少ないと今思っていますか。

大垣西高校
松波さん

私は駅の近くに住んでるんですけど、遊びに行くといったら駅前なんですけど。そうすると駅前の店はたくさんあるんですけど、やっぱり私たちが入れるような店は少なく、中にはシャッターが閉まっていたりして、それは私が小学校くらいからずっと変わらないんですけど、それ

<p>コーディネーター</p>	<p>が活性化とかできないのかなとか思っています。</p> <p>どんな店がほしいですか、ちなみに。お店の種類でいくと。</p>
<p>大垣西高校 松浪さん</p>	<p>種類は、例えば服が売っている店とか、雑貨だったりとか、そういう店が欲しいんです。団子とかそばとか、なかなか入りにくいので、そういう店じゃなくて、私たちが入れるような店をもっと増やして欲しいと思います。</p>
<p>コーディネーター</p>	<p>団子屋もそば屋さんも入ってみたら、気持ちいいんだけどね。是非、1回入ってみて欲しいと思うんだけど。この件はどうでしょうか。上石津町長さん、いかがでしょうか。そういう、地域を活性化するという時に、お店ですとか、地域商店の活性化みたいなこと、今までのご経験があればお話しいただきたいんですが。</p>
<p>上石津町長</p>	<p>私の方の町、そういうお店がないもんですから。やはり大垣は私たちが小さい時、大垣の駅前というのは大変にぎわっておって、私たち上石津、当時は多良と言っていましたけど、当時は大変あこがれの地でもあったんです。大垣へ行けるぞと祭りがあると大垣に行けるぞと、楽しみにして、そして高校に入って。その時分もいろいろと大変庶民的なまちもあったもんですから、そういうことを思い出しますと、昔は良かったなと。そんな風に、今考えています。そういう庶民的なところ、これが入りやすい店だと思います。地域に属した、あまりきれいすぎると、きれいすぎてどこか入りにくい面もありますけれども、やはり大垣には大垣らしく、そういう店が必要ではないかなと、そういう風に思います。もう少し駅前が昔のように元気があるといえますか、賑わえば、いろいろなものが買えて交流もでき、そんなことを懐かしく思っております。これは、年をとったせいだと思いますけれども、皆さんには皆さん方の、そういう若い人であった、ショッピング的であった、そういうもののいろいろな問題点もありますけれど、先ほどもパチンコの話もありました。上石津町にはパチンコ屋といっても入りませんから、これはそういう立地的に不可能だということです。ある意味では、私たちは羨ましい点もある。しかし、いろいろと問題のあるそういう施設といえますか、そういうものについては、地域がやはりしっかりと話し合ったり、そして、そういう受け入れにしても、今後そういうことにするにしても、それに対していくのは、私たち自身にあると思いますから。そういうまち、大垣とか、大垣駅前ではなく、名古屋に行ってしまうということは、やはりそれだけ、現実にあったそういう風な、やはりそれには上石津町もはっきりして、そして、大垣を中心に賑わいのある地域にしていく、そんな風に思っています。あの、ピントが外れてしまったかもしれませんけど。</p>

<p>コーディネーター</p>	<p>ありがとうございました。学生さんのほうからの指摘で、中心市街地の活性化であるとか、南北の交流が問題とか、けっこうビビットな問題が出てきましたので、小川市長にも伺いたいんですが、やはり中心市街地の活性化っていうのは、これからの地方都市の場合、大きな課題になってくると思うんです。その辺りから、生徒さんに対してちょっとお話をさせていただければと思います。お願いいたします。</p>
<p>大垣市長</p>	<p>はい。さっきもロックシティがきたとか、あるいは、アピオが改装するから嬉しいとかっていう話を聞きますと、やっぱり新しい店舗、新しい商業施設がくるというのは、若い人たちにとって楽しみなんだなということを改めて感じました。また一方、商店街のシャッターが閉まって寂しい、市の方もしっかりサポートしてくれという話もございませぬ。確かに駅通りなんか、私の若い頃、小さい頃は本当になかなかもう歩道を歩くのが大変で、駅まで歩いていくのがなかなか行けないから、回り道をして駅通りを避けて歩いていったという覚えがあるくらい大変な人通りでございました。そして、郭町のバス停からは、今の上石津町さんの多良・時へとバスが何本も出ておりました、郭町のバス停から多良・時行きのバスっていうのは、本当に私もあそこでうろうろ遊んでおりましたけれども、15分に1本くらいあったんじゃないかなと思うくらい、本当によくバスが出ておりました。それだけ車社会じゃなくて、公共の交通機関、鉄道やバスを使う、そういう時代だったんだなという感じがします。しかし、今車社会ということになって、郊外の方にいろんなショッピングセンターができてきたりということになってきました。じゃあ、このままかと言いますと、必ずしもそうではない。ショッピングセンターも、本当に5年10年だったら、またどうなるかっていうのは分かりませんので、ものすごく今テンポが速くなってきております。そういう意味から、まちづくりというものを長い目でしっかりとつくっていく必要を私は思っております。そういう意味で、今、大垣城郭の整備もやろうということを考えてますけれども、そういう古い町並みとか専門店とか、特色のある店舗と、そして近代的な商業施設、そういったものがバランスよく共存できるような、そういうまちづくりを進めていくことができればいいかなと思っております。ただ、現在、法律上の問題ですけどね、大店立地法の関係からいくと、なかなか自由競争・規制緩和でまちがどんどん拡散しちゃって、これはもう、日本全国的な傾向ですけども、今それをちょっとこれは見直そうということで、国土交通省もまちづくり三法というものをつくって、逆に今、見直しをかけてきました。やはり、自由競争・規制緩和でアメリカ流のまちづくりじゃ日本はちょっと合わないという、そういう反省点も出てきているところでございますので、そういう意味で、新しい店舗もあり、また古いあるいは専門的なまちがあると、そういうバランスのとれたまちを、是非つ</p>

くりたいなと思います。南北の交流ということについては、本当はJRを高架にすると良いんでしょうけど、なかなかそう簡単にできる話ではございません。私は、長期的には、JRは東海道線を高架にしてですね、南北交通が円滑にできようといけばいいかなという風に思いますけど、なかなかそこまではいかない。もしできないのなら、当面は南北の自由道路の幅を広くするとかね、今ちょっと幅が狭いので、その辺の幅を広くするとかいうようなことを考えて、長期的にはJRを高架にしたいと思いますし、また、おそらく北のほうにも商業施設とかいうようなものもできるのではないかなという風に思っておりますので、いずれにしましても、大垣駅中心に南北がさらに一体感を深められるような、そういうまちづくりを進めていきたいと思っております。

コーディネーター

ありがとうございました。いろんなお店がほしいという話もけっこう出てきているんですけども、実は皆さんがあと5年くらい経ったら20歳を超えていく年なんですね。そうすると、自分たちでお店を始めていくなつていうのもあるんです。大垣の中には、けっこう小さなお店からお店を大きくして行って、美濃地方のすごく有名なお店になっているところもある。無いものは外から呼ぶだけじゃなくて自分たちでやるっていう手もあるんです。そういうものがやっぱり地域を変えていくひとつの手助けになっていくと思う。ですので、名古屋や東京みたいに大垣をするっていう考え方もあるんですけど、大垣らしい大垣をつくるために、自分たちで動くっていう手もたぶんあると思う。3年、5年、10年くらいかかるかもしれないけど、そういう風に考えていくまちの活性化の方法もあるんじゃないかなと思いつながら聞いていました。その他、何かいかがでしょう。何か、これをちょっと話してみたいという方。どうぞ。

岐阜経済大学
堀さん

岐阜経済大学の堀あゆ美です。私は、高校の時から福祉について勉強しているんですけども、それで、人とのつながりというところに質問させていただきたいなと思います。私は岐阜市に住んでいるんですけども、大垣に来てすごいと思ったことは、毎月のように人との交流を深めるためにイベントというか、お祭りが行なわれているということにすごくびっくりしたんですけども。最近ニュースとか新聞などで、独居老人とか、そういう1人暮らしの方の孤独死というのが問題になっていると私は思っています。そういう時に、こういうイベントがあるというのはすごい、地域との交流、人と人とのつながりというので、すごい強められると思っているので、これからも続けて行って欲しいなと思うんですけど、他にもそういう人と人とのつながりを強めるということで、何かお考えというか、そういう思いがあれば聞いてみたいという風に思います。お願いします。

コーディネーター

今の地域的な特性だと思うんですが、首長さんどなたかいかがでしょうか。上石津の小川町長さん、いかがでしょうか。そういう地域的な福祉の問題であるとか、そういうのが盛んだという話がございます。私、実は今、西濃の方にこの1年ばかり非常にご縁がありまして来ているんですが、やはり他の地域、他の県に比べてもですね、地域的な催しに対する参加の度合いであるとか、もしくは、福祉に対する地元の関心の度合いってというのが非常に高い地域であると、この辺を見て思っているんですね。確か、総務省かどこかの発表ですと、全国の中でも岐阜県全体が、ボランティアですとか、地域活動に非常に関心が高い地域であると。そういうデータが出てくるんですけども、その辺で西濃の活動という部分でちょっとお話をいただければと思っております。

上石津町長

イベントについては、うちはやはり、私自身としては、地域のイベントとして、それを担う、そして、交流のできる場をつくっていくことを言ってきました。今まで、行政主体といいますか、役場でお膳立てをして、そして、役割を決めてやっておったんですが、この頃はやはり、町民による地域づくり、そして、そういうイベントということで、だんだん定着してきたようであります。私、多良へ行ったときに、地域ごとに祭りをやったり、イベントをやったり、いろんな祭りを催したりしておりますと、なるほどこの地域は活性化しているな、みんながこうやっていいまちだなと、そんな風なことをたえず考えています。ですから、上石津においても、そういう地域でないといけないのではないかなということから、夏に「もんでこかみいしづ」、秋に「ふれあいかみいしづ」、この2つをやっております。それには、先ほど中学生のことを言っておりましたが、中学生も当日出るだけじゃなしに、企画から携わっていく。大垣市においてもそのようにされていると思いますけれども、上石津においては、行政の手を離れて、縁の下の力持ちといいますか、そういうようなことはやっておりますけど、表というのは皆民間の人たちということで、ある程度定着してきたと、そんな風に思っております。福祉につきましても、私の方そういう福祉サービスの機関が少ないものですから、大垣市の方をお願いして、またいろいろつくったりしていきたい。しかし、やはり上石津においても、福祉として何かシンボリックなものがないといかんし、そして住民がそういう施設、そういう状況を見て、福祉を考えないといかんということから、三重県の方のそういう団体、福祉法人ですけれども、そこからきてもらって、身体障害者といいますか、そういう方の施設をつくりました。やはりそういうものが地域にあった方が、私はいろいろと皆さん福祉のことを考え、ひとつひとつの手立てになっていくのではないかなと思いますし、大垣市さんと合併するについては、特別養護老人ホームをつくって欲しいというような話をして、やはりそういう地域の役割もあると思いますし、そして、その役割を住民も担うのがまちづくりであるということだと。またそういう人と人との

	つながりの機会を持つということ。それはやはり、十分考えていかなければならないということで、若い人たちがそういうことを考えていただいているということなので、大変感動をしたところです。大変大事なことでということでもあります。
コーディネーター	ありがとうございました。ちなみにちょっと学生さんに聞いてみたいと思います。挙手をお願いします。この中で、日頃からそういうボランティアとか地域活動に積極的に参加しているよ、っていう人いたらちょっと手上げてもらえますか。週に1回くらいでもいいから。月4日ね。やっている人どれくらいいますか。はい、まっすぐあげて下さい。あれ、さっきもうちょっといた気がするんだけどな。4分の1くらいはいるのかな。わかりました。ありがとうございました。そういうボランティアとか地域活性化の話で何かお話ししてみたいという方いますか。もし何かあったら遠慮せずに。はい、どうぞ。
大垣南高校 栗田さん	大垣南高校の栗田美里奈です。私は「よさこい踊り」という「金八先生」で「ソーラン節」とか、そういうの踊ってる団体に入って、祭りの活性化に盛り上げ役って感じで出てるんですけど、そういうお祭りが10月にもこの大垣城のところであったんですけど、そこで感じたのが、みんながお祭自体を知らないというのが、すごく感じたことなんですけれど。今日ここで、駅前の商店街のところでバザーやってるのも、今日ここにきて初めて「あ、なんかやってる」という感じで。それで初めて知ったっていうのが大きくて。そういうイベントとかはやってるんですけど、そういう宣伝っていうか、人が集まってくるようなそういう活動っていうか、呼びかけがちょっと少ない感じがして。人がもっともって集まってくれるような、そういう呼びかけをしてほしいなと思います。
コーディネーター	ちなみにあなたが市長さんだったら、どういう試みでそれを宣伝します。
大垣南高校 栗田さん	駅のところに大きなポスターとかかけっこう貼ってあるんですけど、よく通学の時とかに見るんですよ。そのポスターもあんまり貼ってなかったりすると。やっぱり人の目につくところにそういう宣伝するものがあったらいいと思います。
コーディネーター	わかりました。あなたはそういう情報が欲しいんですよね。
大垣南高校 栗田さん	はい、そうです。
コーディネーター	なかなか大垣も捨てたもんじゃない。高校生がちゃんとまちの活動に

大垣市長	関心を持って見てくれている。ちょっと嬉しかったんですけども。市長さん、そういう地域的なPRの問題というのは何かご意見ありますか？そういう広報の部分とか。
	はい。おっしゃるとおりで、広報とかPRとか、これ非常に大切なんですね。逆に言うと、これがすごい影響を持っているということがあります。大垣市も行事をやるときには、新聞で発表させていただいて、皆さんこういう行事ありますよということをPRしたり、あるいは毎月1日と15日に「広報おおがき」という広報誌がありますので、そういうところに行事予定を載せさせていただいたり。各報道機関の方にお知らせしたり。今日の「かがやきライフタウン」ですと、いろんな団体の方々が一生懸命やっておられますので、団体の皆さんが関係の人々に、皆さん口コミで声をかけていただいて、そして、「来て下さいよ」と、皆さんPRしてやっているというのが実状です。やっぱり初めての行事っていうのは、まだ浸透していないというところがあるんですね。それに対してお祭りのように毎年やっている行事は「今度10月の10日、あ、9日、第2日曜、十万石祭りだな」とか、「5月の第2日曜、大垣まつりだな」とか、毎年やっている行事は皆さんわかってもらえるんですけど、新たにやる行事というのは、確かにわかりにくいところがあります。こういうPRとか非常に大切です。これは皆さんも、これから大人になってからもそうですけれど、どういう風に伝えるかということで、全然受け止め方が変わってしまいます。マスコミとかPRということは極めて大切なことです。良いことを教えていただきました。ありがとうございました。
コーディネーター	ありがとうございます。おそらく、これからは大垣の若い人のそういう意見を集約する場っていうのが出てくると、新しい情報が出てくるんじゃないかと思って今伺っていました。時間がそろそろ追ってきているもんですから、1人か2人にしたいと思うんですが、何かある人いますか。はいどうぞ。
大垣商業高校 松本さん	大垣商業高校の松本ですが、私が将来このまちに住み続けることになったとして、困っている問題があるんですけど、その1つがまず、私はちょっと離れたところに住んでいるんですけど、交通手段があまり整っていないことが問題で、バスの路線などが少なく、もし年を取った時にどこかに出かけようと思った時に、車に乗れなかったりして、バスがあったり電車があたりするともっと出かけられたりするので、充実してもらいたいなと。あと、私が夜遅く自転車で帰る時にだんだん郊外の方へ行くと、電気がなくてすごい暗いんですね。ですので、もし、年を取ったときに歩いていたらすごい危険だなと思いますし、あと道路の舗装なんですけども、整備されているところはすごく整備されているの

コーディネーター

に、整備されていないところは本当にずっとそのままの状態、すごい段差があったりして危険なので、そこら辺の改善を私は求めます。

何か市議員さんの発言みたいですね。おそらく将来的な、大きな大垣市ができてくる時の課題になってくる部分かもしれませんが、ちょっとこの点は墨俣の町長さんにも伺ってみたいと思うんですね。そういう交通という観点でですね、新しい大垣市、特に墨俣が飛び地になって1つできてくるわけですけども、そういう部分で、大垣というまちとの、例えば求心力みたいなものと、結線点としてどう生きるかと、そういう交通的な観点で、墨俣がこれから大垣市になった時にどういう問題が出てくるか、もしくはこういういいところがありますよというところで、もしあればちょっとお話いただきたいんですが。

墨俣町長

現在はですね、旧国道21号、今で言うと県道になってますけど、これがメインになってます。墨俣町の役場から大垣市の市役所まで15分以内、順調に來れば12~3分でも着けると、車でですね。そういうような状況です。ただ、朝晩のラッシュの時はやっぱりね、橋を渡る、揖斐川を渡るところにちょっと時間がかかるということです。ですからそれは、前からですけど、大垣市から一宮へつなぐ県道をつくろうということで、これはずっと大垣市さんから、安八、墨俣、羽島市というような推進運動を続けていると、で、一部分は用地買収に入っていると。しかし、県の予算、国の予算も厳しいですから、なかなか進まない。こういうことになります。町内の道路を整備ということにつきましては、私ずっと、それぞれ自治会長から「ここはやってほしい」とか、「そこをこうしてほしい」とか言うような話が毎年毎年挙がっておりますから、その中から緊急性のあるもの、必要度の高いものというものを、現場を見ながら役場が出ていって、点検して、緊急性のあるものからやっていると。もちろん、全部はできません。予算のことがありますから。そういうことでさせてもらっていると。それから街灯もですね、夜の話が出ましたが、これも同じようにですね、街灯の整備ということで、ずっとやってきております。今のところはそんなにですね、私の町においては出てないというような状況でございます。

コーディネーター

ありがとうございました。上石津についても簡単にちょっと大垣との求心力という話で、ちょっとお話いただければ。大垣との、中心部との交通というか、そういう観点で簡単にお話いただければと思うんですが。

上石津町長

先ほども、市長さんが言われましたように、多良・時線。これで乗ったというくらいの時があったと言いましたが、今はもうあまり乗らなくなりまして、これも町が委託をしたり、そして、補助金を出したり

というような形で、大垣への足として運行してもらっています。上石津町におきましては、公共交通機関をどうするかということで、いろいろ意見交換をして検討をしてきました。そして、秋からコミュニティバス2台でまず町内を運行します。そして、今の近鉄の定期バスに連絡しやすいようにしたいということです。これで重きをおいたのは、病院にいける時間を便利にする、このようなことをしました。上石津町は大変住みよいところだということが、十分そうなんですけど、これは中学校に通っている時まででして、高校に行くようになるとこんなに不便で暮らしにくいところはないと、このように一転するわけです。これはやはり、交通という問題で、今は父兄が、またおじいさんおばあさんが駅まで送っておるといったことなんです。これを少しでも解消できないかというわけで、今、コミュニティバスをやっているのですが、なかなか子どもは家の玄関から学校の校門まで行く、車で行く人は少ないですが、それが一番楽なわけですから、今のところは、今の方がいいというようなことで、なかなかそこは改善されておられません。やはり、新しい大垣市と合併しても公共交通機関、この住民の足をどのようにしていくかということが、一番大きな課題であると思っておりますし、今一番必要だという風に思っております。いずれにしても、住民が乗らないと成り立ちませんので、これを利用するようにも、同時にしていただきたい。いろいろ今、高校生の方が自転車で通った帰りに、危険だと言われましたが、私の方もそういう状態ですから、高校へ通う道路、これも十分整備しなければならぬというようなことから、堤防沿いの遊歩道、自転車歩道という部分で整備をしたり。車社会といわれておりますけれども、やはり自転車で生活できる、そんな地域をつくっていくこと、これこそが実は大事でないかと、そんな風に思います。いわゆる、これが進めなければならぬ1つの大きな課題だという風に思っております。

コーディネーター

ありがとうございました。これで新しい大垣も合併してもそれぞれの地域が、交流が万全であるという風に受け取りましたので、1つ最後に学生さんから少し出ればと思うんですが。先ほどから出ていた、水や自然の問題ですね。こういう部分で最後にお話ししたいという方。もし、いらっしゃいましたら、最後に挙手お願いしたいと思うんですが。

はい、どうぞ。時間が少し迫っていますので、手短にお話ください。

大垣女子短期大学
近藤さん

先ほどの交通の便の話とかぶるんですけど、アンケートにもありましたが、自然が多い規模のまちが好きという意見と、交通の便をもっと良くしてほしいという意見が両方ありますが、その両立がどのようにしたら良いのかが、大変大きな課題だと思うんですが、その辺をお聞かせください。

コーディネーター

大垣のおそらく産業も盛んで、商業も中心地で自然がたくさんある

大垣市長

と。そういういろんなものが集まっているまちは全国でも少ないと思うんですね。でも、そういう地域資源をどうやってこれからマネジメントしていくのか。それも1つこれからの大垣の大きな課題になってくると思います。おそらくこれで最後の質問になるもんですから、小川市長に、最後にそういう将来的な大垣の地域をどうマネジメントしていくのか、特に自然の問題あるいは、地域の産業の活性化の問題などについても含めて、最後になりましたが、一言お願いいただけたらと思うんですが。

はい。よく言われていることですが、大垣はバランスのとれたまちであると。今日のアンケート結果を見ましても住みやすい、居心地がいいまちだと出ておりました。最後のアンケート結果の時に、大垣に住み続けるかどうかという問いに「いいえ」がだいぶ肉薄してきて、ひやっとして、逆転してなくて良かったなと。いくら住みやすいまちだと言っても、ここに住み続けたくないという時には、本音として他の方がいいということになるわけですから、皆さん過半数の方がここに住み続けたいという意見をいただいているのかなと思って安心しました。実際大垣は、住んでいる人にとっては、買いかぶりかもしれないけども、比較的いい住みやすいまちじゃないのかなと思います。ただ外から見ると焦点がはっきりしないと、PRが、セールスポイントがはっきりしないというか、トータルいたしまして、よくわからないということでごさいます。それで、水の都であるとか、結びの地であるとか、あるいは、IT、ソフトピアの産業のまちだとか。という風にしてPRはしているわけでごさいます。しかしながら、依然として東京へ行って、大垣のまちはどういうまちかと聞くと、「東海道線、夜行の鈍行列車の終点駅だな」というのが、皆さんがもし東京に行かれるとわかるかもしれません。それで、そういうバランスのとれたまちであるわけですが、その自然、水と緑、歴史、文化、産業、それをしっかりと押さえながら、まちづくりをしていこうということを考えておるのですが。その中で、交通体系。先ほども皆さんバス、電車のお話が出ました。バス、電車、公共交通機関、これは確かに、お年寄りの方々ですとか、あるいは特に高校生の皆さんの通学の足としても、非常に大切な交通機関であるわけですが、しかし残念ながら、交通利用度があまりよくないというようにもありまして、車の方にどんどんシフトしているというのが実情です。やっぱり、車というのは、目的地へ直接行けるといふところの便利さがありますけど、もう一方はやっぱり自分が行きたい時にすぐ行けるといふそういう部分もあるわけで。だから、バス停や電車のホームであんまり待ち時間が長いとイライラするというのが現代の人間の特性で、昔だったらじっと待っててくれたんですけど、この頃の人にはあまり待たられない。バス停でじっと待っていることができない、もう車で行くという感じになっちゃって、それで車の方が便利だということになるんですけど。

コーディネーター

ども。しかし、そのままかといいますと、やっぱりこれから高齢社会でして、郊外に住んでいて本当にいざどこかに出かけようとするとき、バスが無いと、車にも乗れないということになると非常に不便なことになってくるわけですね。そういう意味でしっかりとバスあるいはまた電車というのを残していきたいと思います。今、樽見鉄道もありますし、近鉄線もありますので、皆さんも樽見鉄道、近鉄線しっかり乗っていただきたいと思います。車の便利さと同時に電車、バスの良さというものもあるわけですので、この辺もしっかりバランス良くやっていくことができたらと思っています。東京なんか行ったりしますと、みんな電車やバスがそのまま残っているからいいやないかと言われるんですが、あれはもう反対なんですね。車がもう動けないんですね。車で動いたらいつ着るか分かりませんので。皆さんも住み続けたいかどうか聞かれたときに、都会に行きたいというアンケートの結果も出ておりましたけれど、若いうちは1度出られるのもいいかもしれませんが、東京に住むところではございませぬ。あそこに住み続けると、もう嫌になってしまいます。通勤だけでも嫌になりますので、是非それを自覚して、是非大垣へ帰ってきて、また活躍していただきたいと思います。ありがとうございました。

ありがとうございました。今、最後に市長からの名言で、「東京は住むところではない」という話が、私も東京に十何年もおりましたんでよく分かります。是非ともですね、最後まとめになるんですが、大垣のいいところを見つけていただきたい。どうしても住んでいる人間というのは悪いところを見がちなんです。ただし、地域活性化、まちづくりは基本的に加点法なんです。減点法じゃないんです。「これがだめだから1点引く」とか、「これはだめだからもうやめる」とかではなくて、「こんな良いところがある」「これをやっつけていかなければならない」そうすると何が起こるのか。皆さん自身がですね、誰かにしてもらうのではなくて、この問題が出てきた、商業の問題、自然の問題、産業やボランティア、地域活動の問題、「これどうしようかな」「役所に言ってみようか」「自治会に持ち込んでみようか」じゃなくてですね、間もなく自分たちが変えていかないといけない時代がやってくると。そうすると実は、大垣の未来を考えて動かしていくのは、ここに座っていらっしゃる皆さんなんです。是非ですね、当事者意識というものを強くもって、こういうこと困ったなということがあったら、自分たちで動いていく。その点で今日、最後にお話したいのがですね、自ら皆さんがアクションを起こしていくまちをつくっていく必要があるだろうと。誰かに頼るとか、外から持ってくるのではなくて、今、地域にある皆さんの、地域にあるいいもの、いいものすばらしいもの、そういうものを使って皆さん自身がアクションを起こして、この大垣を新しく展開させていくべきじゃないかと、そういう風に1時間今日お話を伺ってきて、思ったわけでごさいます。時間の方が多少過ぎておりますので、この辺りで会議の方を終了さ

輝いた人生を送るための活動体験（子どもが輝く活動）

郭町に忍者が走る！！～忍たま大集合

1. 企画運営

特定非営利活動法人大垣おやこ劇場 理事長 田中洋子

2. 事業趣旨

子どもと大人が一緒になって、大垣のまちの良さについて再認識するとともに、大垣のまちを活用した事業を企画し実践する。

3. 事業内容

子どもたちが忍者に変装し、旧大垣城体育館を拠点として、大垣城や郭町で、数々の忍の修行を受ける。

開催日時 平成17年11月20日（日） 10:00～12:00
（ダンボール巨大迷路：13:00～14:00）

開催場所 大垣公園 旧大垣城体育館

参加者数 225人

<活動内容>

総勢225人の参加で「郭町を忍者が走る！！～忍たま大集合」を開催した。スタッフ忍者のパフォーマンスの後、お頭から指令書が参加者に手渡され、幼児チームの2チームは、旧大垣城体育館及び大垣城で修行あそびを行った。

小学生以上は20チームに分かれて、大垣城ホールや郭町商店街で修行を行った。指令書に隠された仲間忍者を捜し、次の指令を受け取り、「かがやきライフトウン・大垣2005」や「西濃・まるごとバザール・インおおがき」に参加している市民の方々や商店街の方々にご協力いただきながら、人と関わりワクワクする修行を重ねた。最後に、大垣公園城西広場で大人忍者対子ども忍者の合戦（旗取り合戦）も行い、お頭から修了書を手渡された。

終了後、13時から14時まで、旧大垣城体育館で「ダンボール巨大迷路」を実施した。

<修行>

○指令書①：場所・店を探す。

指令書に書かれた特徴をもとに、指定の場所・店を探す。
指定の場所・店にいる人・店員に合言葉を言う。正解であれば、合言葉が返ってきて、指令書②が渡される。

・合言葉

（子ども忍者）「今、何時ですか？」

（人・店員）「忍者が走る、大垣のまち」

○指令書②：4つの修行を行う。

- ・赤い糸修行：街にいるカップルを見つけ、2人の指に赤い糸をつけさせてもらう。
- ・年齢当て修行：街にいる人の年齢を当てる。
- ・わらしべ修行：昔話の「わらしべ長者」のように、ティッシュから始めて交換していく。
- ・聞き耳修行：1分間ほど目を閉じ、口も閉じ、静かにする。聞こえてきた音が何かをみんなで話す。

4. 開催までの経緯

○平成17年9月15日（木）

スイトピアセンターにおいて、「NPO法人 あそび環境ミュージアム アフタフ・バーバン」の方を迎え、忍者スタッフ養成のための「子どもと向き合うワークショップ」を開催した。（参加者数：20人（大人））

アフタフ・バーバンの方から、忍者に扮したまち遊びの方法を伝授していただき、子どもの横に立ち、同じ目線で遊びに没頭すること。大人から子どもへの強制的な提案は避け、子ども自身が持つ遊びの本能に任せきること等を学んだ。

○平成17年9月25日（日）

旧大垣城体育館において、おやこスタッフ養成のための「まちあそびワークショップ」を開催した。（参加者数：約45人（大人・子ども））

まちあそびの特別忍者修行として、2つの指令をもとに修行を行った。

- 指令① 大垣の街の不思議なものを探し出せ！
- 指令② 一般人を尾行し、その様子を報告せよ！

○平成17年11月6日（日）

おやこ劇場主催「おやこ市」にて、忍者パフォーマンス（アリゴリズム体操）を実施した。

5. 写真



プラチナ オン ステージ (元気な熟年のつどい)

輝いた人生を送るための活動体験（プラチナ世代が輝く活動）

プラチナ オン ステージ（元気な熟年のつどい）

1. 企画運営

終の住まい研究会 代表 辻本周作

2. 事業趣旨

プラチナ世代が、これまで培ってきた知識・経験・ノウハウを生かしたまちづくり活動を実践するとともに、これからの生きがいづくりに向けての新たな決意を発表する。

3. 事業内容

(1) プラチナプラザ屋台

日時：平成17年11月19日（土） 10:15～17:00

20日（日） 10:00～16:00

場所：大垣城ホール 1階 大ホール

内容：屋台形式による木目込人形、絵手紙、書、健康体操等の講座

(2) プラチナ オン ステージ（元気な熟年のつどい）

日時：平成17年11月19日（土） 15:30～17:00

20日（日） 10:00～16:00

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：大垣市、上石津町、墨俣町のプラチナ世代による特技（手品、日舞、カラオケ、三味線など）の披露や、プラチナ世代がこれからの輝く人生を語るステージ

(3) プラチナ寄席

日時：平成17年11月20日（日） 14:30～15:30

場所：大垣城ホール 2階 会議室

内容：プラチナ世代による寄席

出演者：足立 進、早崎 静香、川出 高史（敬称略）

4. プラチナプラザ屋台

○出展者（敬称略）

河合 真弓 : 絵手紙

谷口 侑里、新原 久子 : 折り紙

堀江ふみ子、平沢 光子 : お手玉、毛糸編み

棚瀬 妙子 : 木目込み

辻本 周作 : 書、運動

清水 美和 : メイク

5. プラチナ オン ステージ (元気な熟年のつどい)

○内容

(19日)

- ・ 矢道五十鈴長寿会 (踊り)
- ・ あすなる会 (民謡)
- ・ レインボー・エコー (合唱)
- ・ プラチナの主張
- ・ のど自慢大会

- 玉木要吉 「なにわ人情」
- 奥田ひろ子 「お浜三味線」
- 戸沢佐知子 「きずな川」
- 水野静江 「母恋だより」
- 中村園子 「もみじ川」

・ 表彰

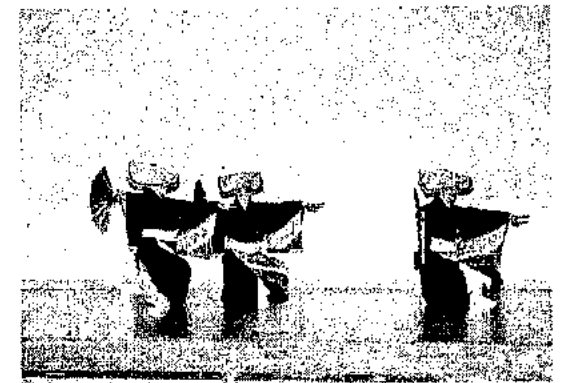
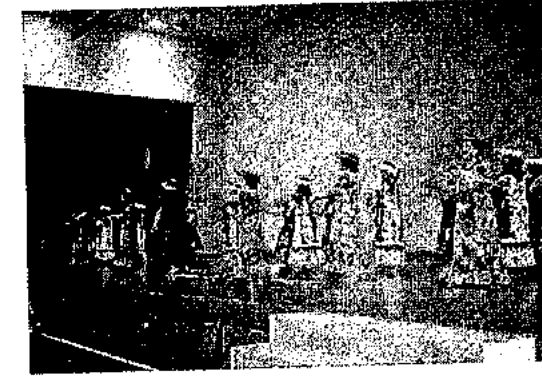
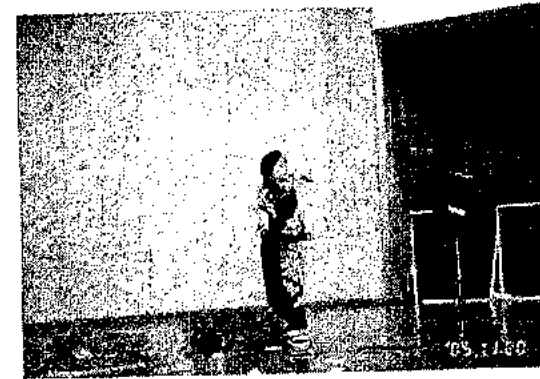
(20日)

- ・ 墨俣民謡クラブ (墨俣町合唱・太鼓)
- ・ ナ メレ フラ オハナ (フラダンス)
- ・ みやび会 (墨俣町民謡)
- ・ 墨俣さくら吟詠会 (墨俣町詩吟)
- ・ のど自慢大会

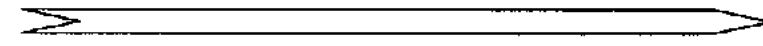
- 沢藤和子 「妙の川」
- 種田千枝子 「花町一代」
- 伊藤幸子 「赤いはとば」
- 中島英美子 「思い出の雨」
- 立花まり子 「自慢じゃない女だよ」

・ 表彰

6. 写真



クロージングステージ



クロージングステージ

1. 概要

日時：平成17年11月20日（日） 15:30~16:00

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：○大垣日本大学高校吹奏学部（演奏：1曲）

○主催者あいさつ

・小川 敏 市長

○市民によるかがやきライフタウン・大垣を築くためのまちづくり宣言

・山田祥子氏 「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会副委員長
（ステージ登壇者）

・「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会

・かがやきライフ委員会

・宣言文を市長へ提出（大垣日本大学高校吹奏学部（演奏・ファンファーレ））

・市長コメント

○大垣日本大学高校吹奏学部（演奏：1曲）

・銀テープ射出

2. 市長あいさつ

昨日から2日間にわたって開催してまいりました「かがやきライフタウン・大垣2005」は、市民の皆さんのご協力のもと、様々な事業が繰り広げられました。

フェスティバルは、何か活動をしたけれど、何をしたら良いのか分からなかった方、あるいは、どのように活動したら良いのか分からなかった方には、様々な団体の活動紹介を通して、自分にできそうなことを発見され、市民活動への参加のきっかけになったのではないかと思います。

また、既に活動されておられた方にとっても、他の団体との交流を通して、新たな活動への意欲が生まれたのではないかと思います。

このフェスティバルを契機として、市民の皆さんが様々な分野で活躍され、「自己実現や生きがいを実感できるまち・大垣」づくりにつながればと思います。

最後になりましたが、本フェスティバルの開催に当たり、「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会の皆さん、かがやきライフ委員会の皆さんをはじめ、多くの市民の皆さんにご協力をいただき、誠にありがとうございました。心からお礼を申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



3. 市民によるかがやきライフタウン・大垣を築くためのまちづくり宣言

市民による「かがやきライフタウン・大垣」を築くためのまちづくり宣言

大垣市には、水や緑といった豊かな自然や、受け継がれてきた歴史や文化など数多くの地域資源があり、わたしたちは、こうした地域資源を生かしながら、自らの個性や能力を発揮し、自らの手で日本一住み良いまちづくりを進めていく必要があります。

わたしたちは、平成17年11月19日から20日の2日間に開催された「かがやきライフタウン・大垣2005」の成果を踏まえ、文化、スポーツ、環境、緑化など様々な分野での社会参加や地域貢献を通して自己実現や生きがいを実感できるまち・大垣を創り出すとともに、市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれる「かがやきライフタウン・大垣」を築くため、次の3つのまちづくりに取り組んでいくことを宣言します。

- 一、わたしたちは、子どもから高齢者まで、誰もが健康で遊び心を持ち、それぞれの個性や経験を生かせる「市民一人ひとりを大切にするまち」づくりを進めます。
- 一、わたしたちは、大垣の個性を大切にし、大垣にしかないものを生み出し、誰もがまちに愛着と誇りを持てる「いつまでも住みつづけたいまち」づくりを進めます。
- 一、わたしたちは、子ども、親、高齢者の3世代の交流を大切に、誰もが楽しみながら手づくり感覚で様々な活動ができる「交流・ふれあいのあるまち」づくりを進めます。

平成17年11月20日

「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会



4. 市長コメント

只今、山田祥子さんをはじめとする「かがやきライフタウン・大垣2005」の参加者の皆さまから、力強いまちづくり宣言をいただきました。

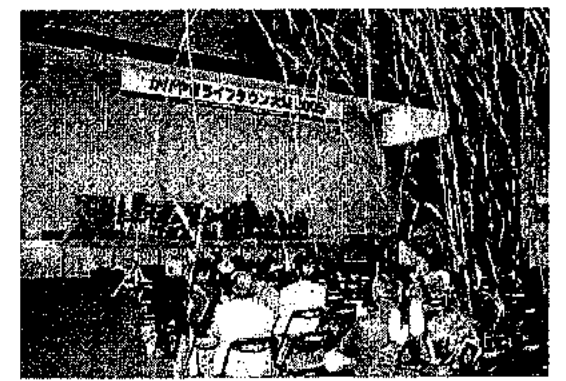
これからのまちづくりには、市民の皆さんの力が不可欠でございます。これからも、大垣市のまちづくりに向け、ご提言やご意見がございましたら、お寄せいただければと思います。

また、宣言にもございましたように、「かがやきライフタウン・大垣」の実現に向け、「市民一人ひとりを大切にするまち」、「いつまでも住みつづけたいまち」、「交流・ふれあいのあるまち」の3つのまちづくりに、市民の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思います。

これからも、皆さん一人ひとりの個性や魅力で、大垣のまちを輝かせていただきたいと思っております。

ありがとうございました。

5. 写真



スタンプラリー

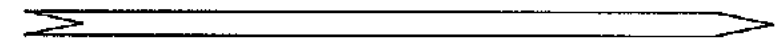


7. 写真



同時開催事業

かがやけ！男女共同参画トーク



かがやけ！ 男女共同参画トーク

1. 内容

日時：平成17年11月19日（土） 14：30～15：30

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：高校生、大学生、主婦などが男女共同参画社会のあり方を考える討論会

2. 写真



男女共同参画の本音を語る

かがやきライフタウン・大垣

かがやけ! 男女共同参画トーク

あなたの意見をお待ちしております

市民一人ひとりが性別にかかわらず個性と能力を発揮できる男女共同参画によるまちづくりをめざし、大垣市は今年、男女共同参画都市を宣言しました。これを記念してより多くの市民に男女共同参画についてご理解をいただくために、トークを開催します。男女共同参画は女性の問題としてとらえられがちですが、次のようなテーマに焦点を当て、男女双方の問題であることを知っていただく機会としますので、是非ご参加ください。



コーディネーター:高橋 和江(フリーアナウンサー) 司会:西 規之(ラジオで活躍のパーソナリティ)

開催日時 平成17年11月19日 14時30分~15時30分
かがやきライフタウン・大垣2005開催時

開催場所 大垣城ホール1階ステージ

〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29大垣市役所
秘書広報課男女共同参画推進室
TEL(0584)81-4111 内線231 ファックス(0584)81-7800
電子メール danjo@city.ogaki.gifu.jp

ダイナミックシティ大垣構想
まちの「夢・未来」絵画展

ダイナミックシティ大垣構想 まちの「夢・未来」絵画展

1. 概要

日時：平成17年11月19日（土） 10:15～17:00
20日（日） 10:00～16:00

場所：大垣城ホール 2階 通路

作品：459点（小学生：318点、中学生：141点）

表彰：ダイナミックシティ大垣構想 まちの「夢・未来」作文・絵画
作文表彰：88人、絵画表彰：60人

2. 表彰式

日時：平成17年11月19日（土） 10:45～11:15

場所：大垣城ホール 1階 ステージ

内容：○大垣少年少女合唱団（合唱：2曲）

○表彰 ・作文（代表9人）

日比野洋也	大垣市立南小学校5年
坪井 美樹	大垣市立青墓小学校6年
鈴木 怜奈	大垣市立西小学校6年
清水 寛之	大垣市立西部中学校3年
杉本 希実	大垣市立江並中学校2年
杉山 紗生	大垣市立西部中学校3年
稲葉 智美	
水谷 重雄	
須田山智成	

・絵画（代表6人）

早田 智陽	大垣市立西小学校5年
延命くるみ	大垣市立小野小学校5年
臼井 唯菜	大垣市立北小学校4年
坪内 俊二	大垣市立東中学校1年
北澤 恭介	大垣市立東中学校1年
近藤 梨紗	上石津町立上石津中学校3年

○市長あいさつ

3. 市長あいさつ

受賞者の皆さん、おめでとうございます。

私は、市長2期目に当たりまして、歴史・自然が織りなす近代都市「ダイナミックシティ大垣」の創造を掲げさせていただいております。

これは、本市の魅力や潜在力を引き出し、市民の皆さんが未来に夢を描くとともに、来年3月の上石津町、墨俣町との合併後の「新生・大垣」のさらなる飛躍を目指す長期的なまちづくりビジョンです。

今回、この「ダイナミックシティ大垣」の3つのキーワードである「飛躍」「輝き」「安心」をテーマとして、大垣市、上石津町、墨俣町の皆さんから、多くの「夢・未来」作文と絵画を応募いただきました。今後の市政の参考にさせていただきます。

そして、今後も市民の皆さんとともに、夢のあるまちづくりを進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今回の作文・絵画の表彰作品の審査に当たり、岐阜県退職校長会大垣支部長の加藤茂様をはじめ、12人の先生方にご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

4. 表彰作品

(1) まちの「夢・未来」作文

「飛躍」「輝き」「安心」のいずれかひとつをテーマにして、実現したい将来のまちや住みたいまちなどを作文(400字以内)で募集した。

【対象】 市内に在住または在勤・在学者
上石津町及び墨俣町の町民

【表彰数】 小学生・中学生・一般(高校生以上)の3部に区分し、「飛躍」「輝き」「安心」のキーワードごとに表彰。※ 表彰数: 88点

区分	飛躍	輝き	安心
小学生の部 (表彰作品30) (応募数310)	特選 1 入選 2 佳作 4 (応募数44)	特選 1 入選 2 佳作 4 (応募数60)	特選 1 入選 5 佳作 10 (応募数206)
中学生の部 (表彰作品43) (応募数452)	特選 1 入選 5 佳作 9 (応募数154)	特選 1 入選 3 佳作 3 (応募数73)	特選 1 入選 5 佳作 15 (応募数225)
一般の部 (表彰作品15) (応募数77)	特選 1 入選 2 佳作 2 (応募数25)	特選 1 入選 2 佳作 2 (応募数21)	特選 1 入選 2 佳作 2 (応募数31)

(2) まちの「夢・未来」絵画

「飛躍」「輝き」「安心」のいずれかひとつをテーマにして、実現したい将来のまちや住みたいまちなどを絵画で募集した。

【対象】 大垣市、上石津町及び墨俣町の小中学生

【表彰数】 小学生・中学生の2部に区分し、「飛躍」「輝き」「安心」のキーワードごとに表彰。※ 表彰数: 60点

区分	飛躍	輝き	安心
小学生の部 (表彰作品30) (応募数318)	特選 1 入選 3 佳作 6 (応募数58)	特選 1 入選 3 佳作 6 (応募数101)	特選 1 入選 3 佳作 6 (応募数159)
中学生の部 (表彰作品30) (応募数141)	特選 1 入選 3 佳作 6 (応募数35)	特選 1 入選 3 佳作 6 (応募数49)	特選 1 入選 3 佳作 6 (応募数57)

5. ダイナミックシティ大垣構想 まちの「夢・未来」作文・絵画受賞者

【作文】

○小学生の部

<飛躍>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	日比野洋也	ロボットのまち大垣から世界にITで発信	大垣市立南小学校	5
入選	梶岡 彩華	未来の大垣市	大垣市立赤坂小学校	5
入選	宗宮 大輝	自然の力を利用して発電する都市大垣	大垣市立西小学校	6
佳作	桐山 結衣	初めまして、新しいまち	上石津町立牧田小学校	5
佳作	寺嶋 大知	みんなの将来、自然豊かな市	墨俣町立墨俣小学校	6
佳作	時田 彩香	学校ほうもんできたらいいな	大垣市立赤坂小学校	4
佳作	早野友紀子	大垣駅の活性化のために	大垣市立小野小学校	6

<輝き>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	坪井 美樹	1人1人の努力から	大垣市立青墓小学校	6
入選	竹内 里歩	大きな愛の輝き	大垣市立中川小学校	5
入選	和田 友宏	大垣市を一等星に	大垣市立北小学校	6
佳作	後藤 夏樹	自然いっぱいのおまち	上石津町立一之瀬小学校	6
佳作	佐宗 伶子	歌声あふれる大垣市	大垣市立興文小学校	4
佳作	牧田 若奈	緑あふれる大垣	大垣市立小野小学校	6
佳作	安田 隼人	緑あふれ水輝く大垣ハリヨが泳ぐ水門川をめざして	大垣市立東小学校	6

<安心>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	鈴木 伶奈	世代を考えた安心なまちへ	大垣市立西小学校	6
入選	桐山 葵	ダイナミック大垣構想「夢・未来」	上石津町立牧田小学校	5
入選	桑原 伸弥	水の都大垣 いつまでも「安心」して飲める水	大垣市立綾里小学校	6
入選	小松田 莉菜	大垣の宝物	大垣市立小野小学校	4
入選	杉山 歩実	安心なまち「大垣」	墨俣町立墨俣小学校	6
入選	田中 恵理	わたしの住みたい大垣	大垣市立西小学校	4

表彰	氏名	題名	学校名	学年
佳作	笠原ゆかり	合併しても安心してらせるまちに!	上石津町立多良小学校	6
佳作	空 英一郎	地域のために	大垣市立北小学校	4
佳作	田口 裕貴	自然を生かしたまちづくり	大垣市立北小学校	4
佳作	中川 莉紗	防犯ブザーがいない暮らしへ	大垣市立北小学校	6
佳作	早藤 真弥	「安心」して暮らせる大垣市	大垣市立江東小学校	6
佳作	原 奈津希	安心な環境	大垣市立北小学校	6
佳作	八木 彩晴	温かいまちへ	大垣市立興文小学校	6
佳作	米山 京香	住みよい新大垣市	墨俣町立墨俣小学校	6
佳作	渡辺 毅	これから・・・	大垣市立赤坂小学校	5
佳作	渡辺真由子	将来のまち・住みたいまち	大垣市立赤坂小学校	6

○中学生の部

<飛躍>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	清水 寛之	ロボットシティ	大垣市立西部中学校	3
入選	河合 由真	水と歴史の有効活用	大垣市立南中学校	3
入選	小寺 弘樹	スポーツのまち 大垣	大垣市立西部中学校	3
入選	栗原 竜太	未来へ	上石津町立上石津中学校	3
入選	森永雄一朗	中心商店街の活性化をバネにして	大垣市立西部中学校	1
入選	吉安 俊徳	駅がまちを語る	大垣市立南中学校	3
佳作	春日井里奈	期待される大垣	大垣市立江並中学校	3
佳作	後藤 築	ダイナミックシティ大垣	大垣市立西部中学校	3
佳作	佐古亜珠彩	自然との調和	上石津町立上石津中学校	3
佳作	田口 稚菜	大垣の歴史	大垣市立南中学校	3
佳作	林 清弘	市民中心のまちづくり	大垣市立江並中学校	3
佳作	林 亮佑	日本一の水都へ	大垣市立星和中学校	3
佳作	林 麻衣美	アート	大垣市立南中学校	3
佳作	増田 達郎	ダイナミックシティ大垣構想「夢・未来」	大垣市立星和中学校	2
佳作	水谷真理奈	歴史を生かして	大垣市立南中学校	3

<輝き>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	杉本 希実	水と緑を活かしたまちづくり	大垣市立江並中学校	2
入選	佐竹 美穂	「水」で輝く大垣	大垣市立西中学校	1
入選	谷口 萌	住みたいまちにするために	大垣市立東中学校	2
入選	水野由紀子	生涯学習ができるまち	大垣市立星和中学校	3
佳作	秋月 美保	世界一輝けるまち	大垣市立赤坂中学校	1
佳作	伊藤 珠里	水の輝きがあるまち	大垣市立西部中学校	2
佳作	三和佳寿美	笑顔のまち	上石津町立上石津中学校	2

<安心>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	杉山 紗生	優しいまち	大垣市立西部中学校	3
入選	安藤 万恵	「ありがとう」はまちづくりへの第一歩	大垣市立星和中学校	3
入選	伊藤 麻衣	心落ち着く大垣	大垣市立東中学校	1
入選	神田 真希	実現したらいいと思う大垣市	大垣市立東中学校	1
入選	中村 菜由	未来の大垣	大垣市立赤坂中学校	1
入選	松岡祐紀恵	医療設備&ケアの整ったまちづくり	大垣市立江並中学校	2
佳作	青木 美月	安心できる、愛されるまち 大垣	大垣市立西中学校	3
佳作	井口絵里加	リゾートTOWN	大垣市立西中学校	3
佳作	臼井 沙季	会話を交わす場	大垣市立西中学校	2
佳作	亀井 唯衣	みんなで暮らすまち	大垣市立北中学校	1
佳作	後藤洋太郎	大垣をメジャーに	大垣市立西部中学校	3
佳作	杉原 志穂	安心してすごせる日まで・・・	大垣市立赤坂中学校	2
佳作	杉原 唯	未来のまち	大垣市立西部中学校	3
佳作	高木 美沙	安心テレビ電話	大垣市立南中学校	1
佳作	高木 連花	バリアフリーのあるまち大垣市	大垣市立西部中学校	2
佳作	谷 沙吏	私の理想のまち	上石津町立上石津中学校	1
佳作	長峰 圭祐	よみがえれ自然	大垣市立西部中学校	3
佳作	長谷川華子	私の考える将来の大垣	大垣市立西部中学校	2
佳作	古田 翔平	人々に安心を!	大垣市立西部中学校	3
佳作	安田裕香梨	子供から老人まで安心できるまちづくり	大垣市立星和中学校	3
佳作	山口真由美	ドリームシティ	大垣市立西部中学校	3

○一般の部

<飛躍>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	稲葉 智美	きれいな大垣	岐阜県立大垣北高等学校	
入選	貝増 初美	風景		
入選	渡辺 一光	水と緑の文化都市		
佳作	久富 昭五	飛躍		
佳作	和田 雄磨	発展	岐阜県立大垣北高等学校	

<輝き>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	水谷 重雄	「おくのほそみちどおり」があれば		
入選	不破 明子	スローライフで人の絆を深めたい!		
入選	前田 清	電柱は美しいか?		
佳作	金山 弘樹	大垣の輝きってなんだろう	岐阜県立大垣北高等学校	
佳作	森田 勇	ウォーキング回廊で世界に輝く		

<安心>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	須田山智成	「自然と共生するまち」=「生命力のあるまち」づくり		
入選	角田 真由	大垣市に望むこと	岐阜県立大垣北高等学校	
佳作	今村紗由美	未来の夢ある大垣市のために	岐阜県立大垣北高等学校	
佳作	川田 寛之	ダイナミックシティ大垣「安心」		
佳作	近澤 宏明	高齢者が安心して住めるまち「大垣」	岐阜県立大垣北高等学校	

【絵画】

○小学生の部

<飛躍>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	早田 智陽	大垣タワー	大垣市立西小学校	5
入選	池田 英都	自然と友達になろう	上石津町立牧田小学校	5
入選	安藤 美羽	朝の景色	大垣市立興文小学校	6
入選	高橋 明陽	伸びゆく大垣市	墨俣町立墨俣小学校	5
佳作	内田 湧	宇宙の大垣市	大垣市立中川小学校	5
佳作	久瀬 勇樹	緑いっぱいソーラーパワーマチ	大垣市立綾里小学校	5
佳作	佐藤 史菜	大垣から世界に向けたまちづくり	大垣市立北小学校	5
佳作	辻 拓也	大垣の近未来?	大垣市立東小学校	5
佳作	寺嶋 大知	世界にはばだけ、大垣!	墨俣町立墨俣小学校	6
佳作	三輪光一郎	ダイナミックシティ大垣「夢・未来」	上石津町立多良小学校	4

<輝き>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	延命くるみ	大垣市に水族館と動物園がやって来た!	大垣市立小野小学校	5
入選	鏡味 里歩	未来の夢	大垣市立興文小学校	4
入選	小林 大知	自然の多いまち	大垣市立西小学校	6
入選	谷口 絵	ネオシティ~夢のまち~	大垣市立西小学校	6
佳作	大橋亜由子	ウォーターシティ大垣	大垣市立西小学校	5
佳作	桐山 大優	空にうかぶまち	大垣市立小野小学校	6
佳作	桐山みなみ	パラダイス大垣	上石津町立一之瀬小学校	5
佳作	高田 苑香	豊かなまち大垣	墨俣町立墨俣小学校	5
佳作	高田 結加	きれいな水のまち	大垣市立西小学校	5
佳作	竹中史央里	「古き物」と「新しき物」の共存	大垣市立綾里小学校	5

<安心>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	臼井 唯菜	安心してあるけるまち	大垣市立北小学校	4
入選	大橋 翔麻	やさしいまち	大垣市立小野小学校	4
入選	寺山 拓人	安心して住めるまち	大垣市立小野小学校	5
入選	西尾 千香	自然を愛するまち	大垣市立日新小学校	6
佳作	伊藤 沙笑	通学路が大変身	大垣市立赤坂小学校	4
佳作	清水 泉希	しぜんにかこまれ・・・	大垣市立青墓小学校	4
佳作	田口 りえ	え顔いっぱい	大垣市立東小学校	5
佳作	野畑 剛史	花と緑と心のまち	大垣市立北小学校	6
佳作	畑脇 海斗	環境にやさしい大垣	上石津町立牧田小学校	4
佳作	平澤 里紗	安心してみんななかよくできる暮らし	大垣市立小野小学校	4

○中学生の部

<飛躍>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	坪内 俊二	未来は空の上	大垣市立東中学校	1
入選	奥田 美咲	大垣の飛躍	大垣市立江並中学校	3
入選	張田 雄輝	水力と光をエネルギーにしたまち	大垣市立南中学校	1
入選	宮下裕有妃	自然から生まれたまち	大垣市立星和中学校	1
佳作	駒井 亮佑	未来の大垣市	大垣市立西部中学校	1
佳作	多賀 弘貴	プログレスシティ大垣	大垣市立西中学校	1
佳作	高橋 亜弥	復活!!水都おおがき	大垣市立星和中学校	3
佳作	三輪 藍香	自然に優しい未来都市	上石津町立上石津中学校	3
佳作	山田 愛理	人と自然と化学	大垣市立西部中学校	3
佳作	吉田 智恵	未来のまちと過去のサクラ	大垣市立西中学校	1

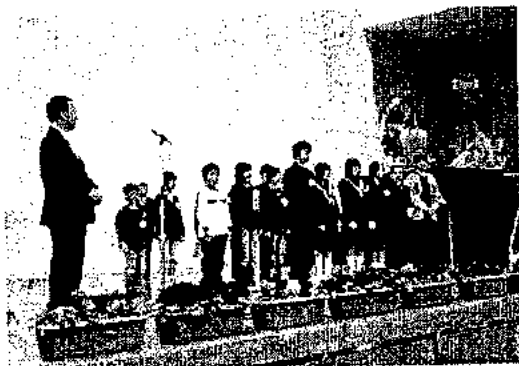
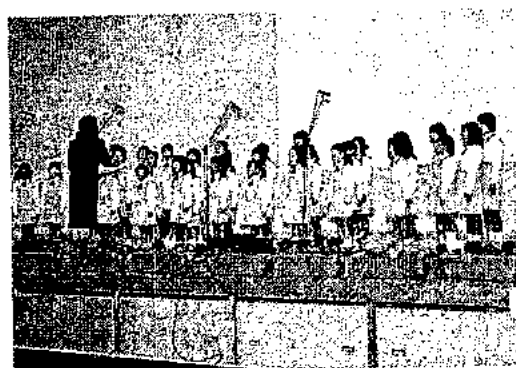
<輝き>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	北澤 恭介	OGAKI CITY	大垣市立東中学校	1
入選	岡本 萌	笑顔が輝くマチ	大垣市立東中学校	2
入選	瀬戸山紗綾	7色に輝く大垣市	大垣市立江並中学校	3
入選	古市 愛純	一市二町の調和と未来へ	上石津町立上石津中学校	3
佳作	臼井 佐希	窓辺に降る星	大垣市立江並中学校	2
佳作	塚田有佳子	緑のある未来	大垣市立北中学校	2
佳作	間瀬 絢美	大垣の輝き	大垣市立東中学校	1
佳作	松岡 泉	なくしたくない物	大垣市立西部中学校	1
佳作	丸井なつき	この道の向こうの未来	大垣市立星和中学校	2
佳作	渡辺 実里	ようこそ大垣へ!!	大垣市立東中学校	2

<安心>

表彰	氏名	題名	学校名	学年
特選	近藤 梨紗	New town of my dream	上石津町立上石津中学校	3
入選	今村 仁美	安心して暮らせるまち	大垣市立東中学校	3
入選	桑原 優季	みんなが安心できるまち	上石津町立上石津中学校	1
入選	土井田早紀	未来の大垣市	大垣市立北中学校	2
佳作	一ツ松大貴	近未来都市・大垣	大垣市立西部中学校	3
佳作	澤村 侑希	高齢化社会に向けて	大垣市立南中学校	1
佳作	鹿野真衣子	アクア大垣	大垣市立西中学校	1
佳作	中山 翔子	まちも広々、心も広々	大垣市立東中学校	2
佳作	林 万里奈	緑と安心あふれるまち 大垣	大垣市立江並中学校	3
佳作	若山 愛	優しいまち	大垣市立東中学校	3

6. 写真



大垣市・上石津町・墨俣町
ふるさとミニギャラリー

「大垣市・上石津町・墨俣町 ふるさとミニギャラリー」

1. 内容

日時：平成17年11月19日（土） 10：15～17：00
20日（日） 10：00～16：00

場所：大垣城ホール 1階 エントランスホール

内容：平成18年3月に合併する大垣市・上石津町・墨俣町の観光名所や郷土芸能などの写真展示

2. 写真



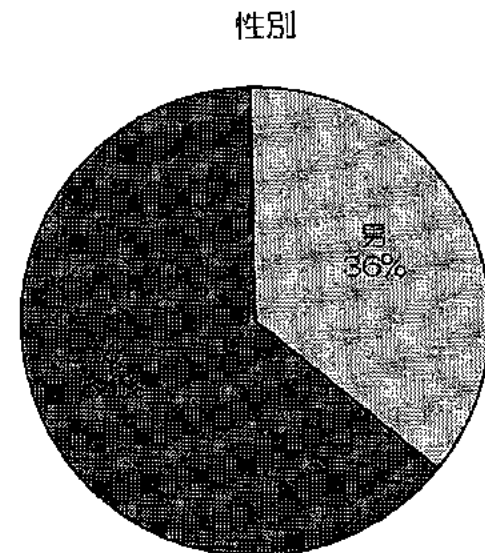
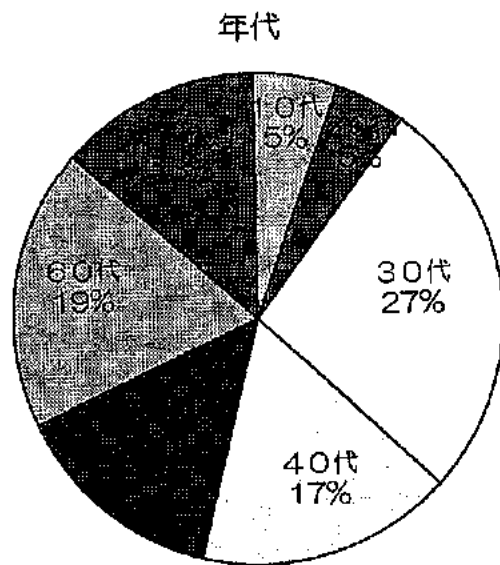
アンケート結果

①

「かがやきライフタウン・大垣2005」
アンケート結果（来場者用）

回答者数：493

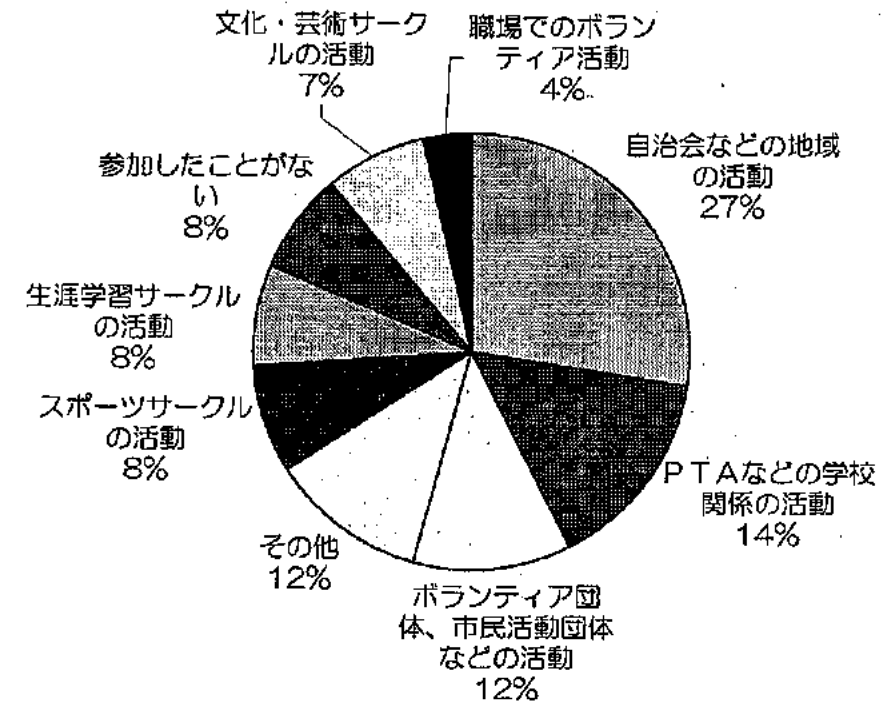
②



問1. 本日は、どのイベントに参加しましたか。(複数回答可)

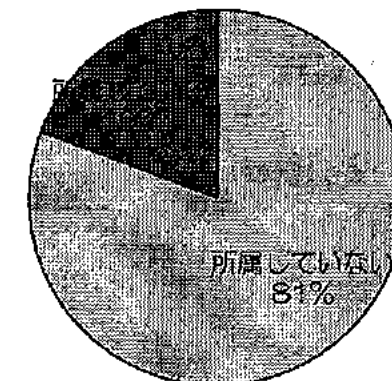
1 玉屋庄兵衛(からくり人形師)のからくりの世界	112
2 かがやきプラザ(ブース展示・フリーマーケット・ステージイベント)	664
3 イキイキメイク体験	61
4 高野優さんのトーク&おしゃべり会	240
5 わくわく異世代熱気球搭乗体験	120
6 アート・イン・大垣城ホール(アートのマーケット)	433
7 かがやきセミナー	36
8 大垣に園芸福祉活動を広めよう!!	41
9 おおがき未来創造会議	40
10 郭町を忍者が走る!!~忍たま大集合	37
11 プラチナ オン ステージ(元気な熟年のつどい)	183
12 プラチナプラザ屋台	224
13 プラチナ寄席	14

問2. これまでにあなたが最も多く参加したことがある市民活動は何ですか。



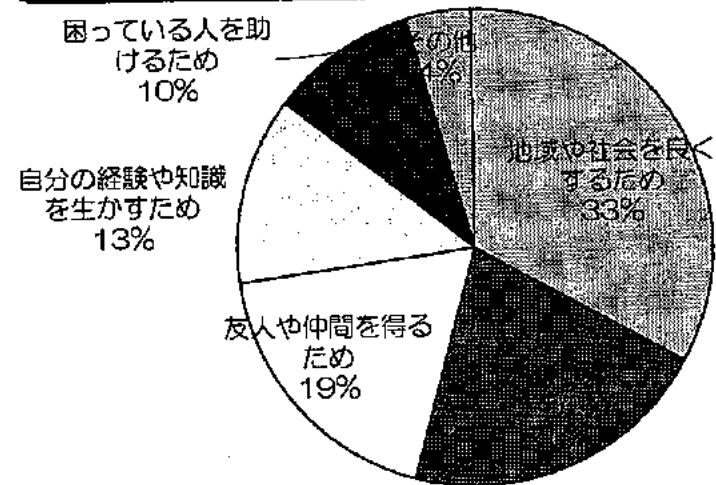
市民が携わったことがある活動としては、「自治会などの地域の活動」や「PTAなどの学校関係の活動」が多く、地域に根ざした活動が活発である。
また、ボランティア等の市民活動、スポーツサークル、生涯学習サークル、文化・芸術サークルなど、様々な活動が行われている。

問3. 現在、まちづくり活動、ボランティア活動、生涯学習活動、スポーツ・文化活動などの市民活動団体に所属していますか。



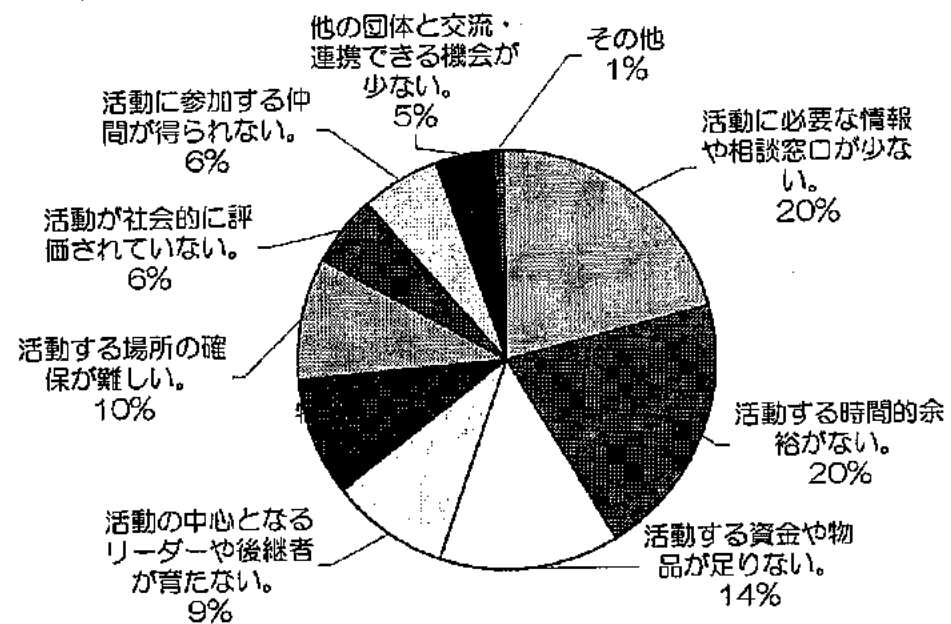
問2にもあるように、市民活動に携わったことがある市民は多いが、団体に所属し、継続的に活動している人数は約2割という結果であった。

問4. 市民活動に参加する理由はどのようなものですか。(複数回答可)



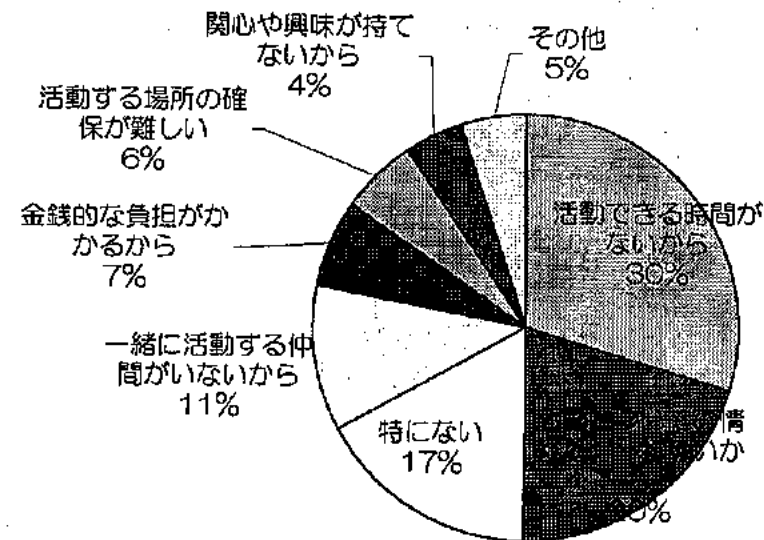
市民活動に参加する理由としては、「地域や社会を良くするため」といったものが多い。また、「余暇を有意義に過ごすため」、「友人や仲間を得るため」、「自分の経験や知識を生かすため」といったような、生活の中での生きがいや自己実現、充実感を得るためという理由も多くみられた。

問5. 市民活動への参加に関しての課題はありますか。(複数回答可)

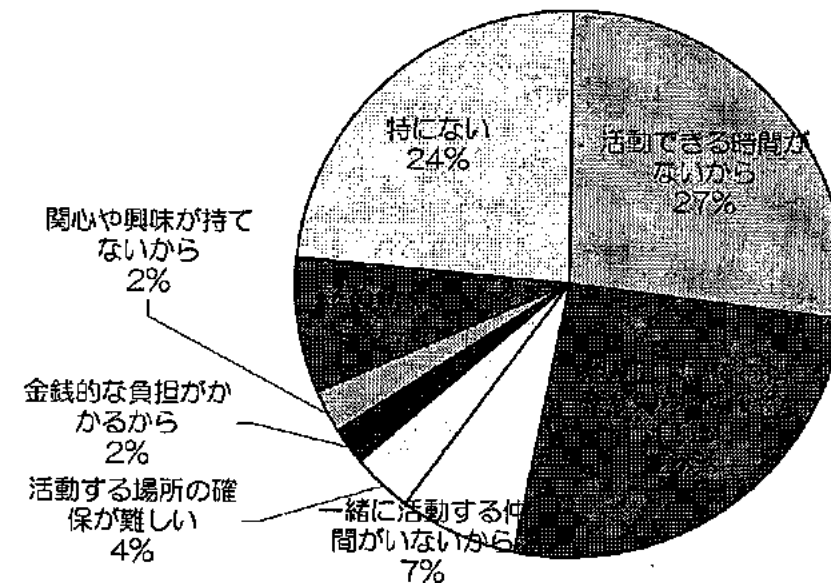


市民活動の課題としては、「活動に必要な情報や相談窓口が少ない」、「活動する時間的余裕がない」といった意見が多く、活動の情報提供を積極的に行っていく必要がある。

問6. 市民活動に参加しない理由はどのようなものですか。

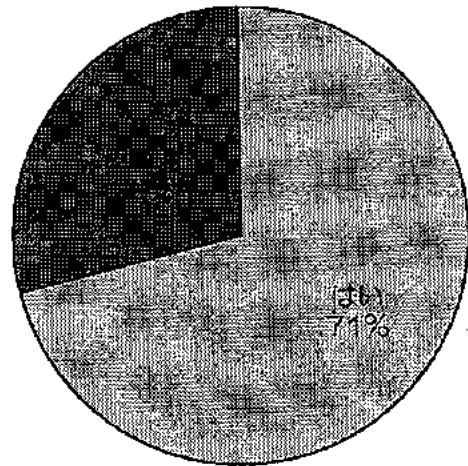


うち、問2で(9. 参加したことがない)と回答した人

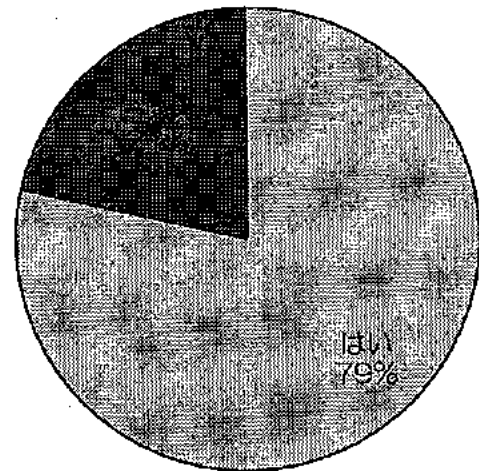


市民活動に参加しない理由としては、問5の市民活動への参加に関しての課題と同様に、「活動できる時間がないから」、「活動についての情報が得られないから」といったものが多い。市民活動に参加したことがない市民が市民活動に参加しない理由としても同様の意見が多い。情報提供の機会を増やすとともに、その手段についても新たに検討を要する。

問7. 今回のイベントを通して、興味を持ったり、参加してみたいと思った活動はありましたか。

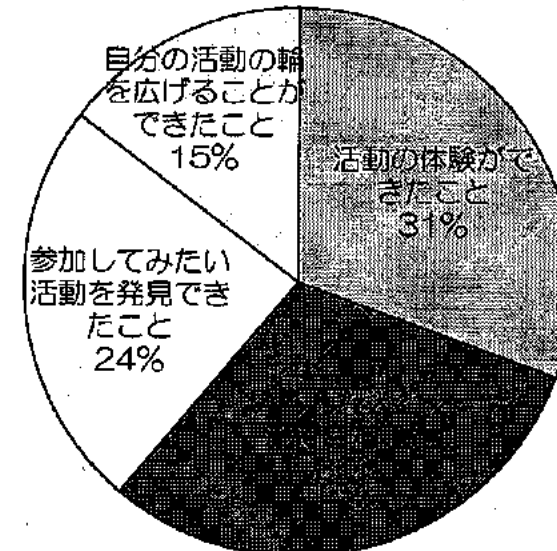


うち、問2で(9. 参加したことがない)と回答した人



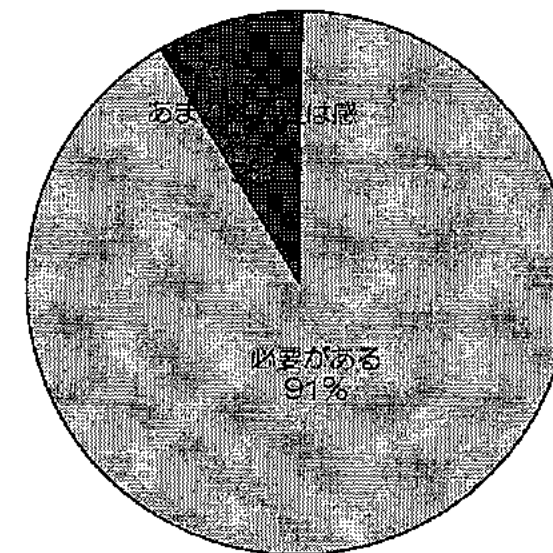
「かがやきライフタウン・大垣2005」の目的の1つは、様々な分野の活動の紹介や体験を通して、これまで活動を行ったことがない方が何か活動を始めようと思うきっかけを創ることであった。
アンケートの結果をみると、今回のフェスティバルに参加された方の約7割が、興味を持ったり、参加してみたいと思う活動を発見することができた。
また、これまで市民活動等に参加したことがない方の回答では、約8割の方が活動のきっかけをつかむことができた結果となっている。

問8. 今回「かがやきライフタウン・大垣2005」に参加して良かったと思う点は何ですか。



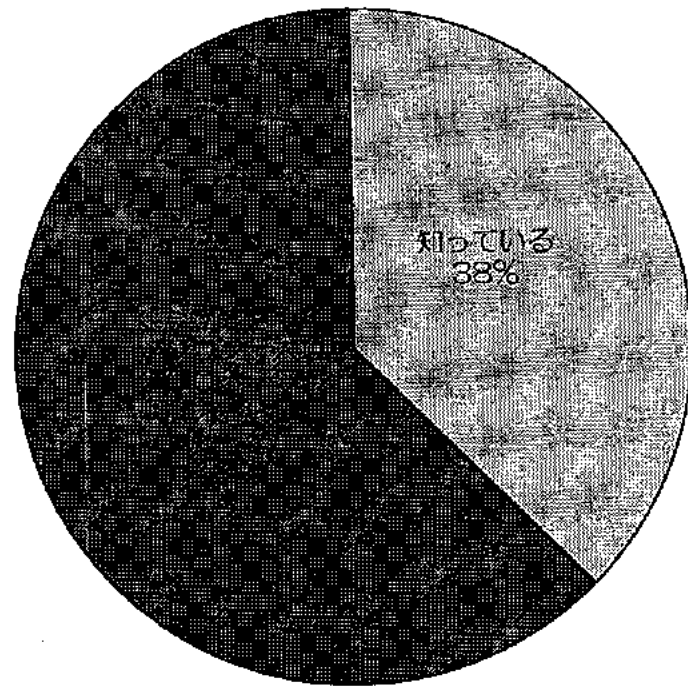
「かがやきライフタウン・大垣2005」は、「発見・交流・活動」の3つをテーマとして開催した。
アンケートの回答についても、「参加してみたい活動を発見できた」「いろいろな人と交流できた」「活動の体験ができた」ことが良かった点としてバランスよく回答されており、目的を達成しているといえる。

問9. 今回の「かがやきライフタウン・大垣2005」のような事業が今後も必要だと思いますか。



「かがやきライフタウン・大垣」のような事業の必要性については、参加者の大半がこのような事業が必要であると考えている。

問10. 現在、大垣市では、市民の皆さんが持っている知識や経験、ノウハウを活用する場として、まちづくり活動を推進し、市民の皆さんが生きがいを持ち、市民の魅力で輝いたまちを創っていかうとする「かがやきライフタウン構想」を推進しています。この構想のことはご存知ですか。

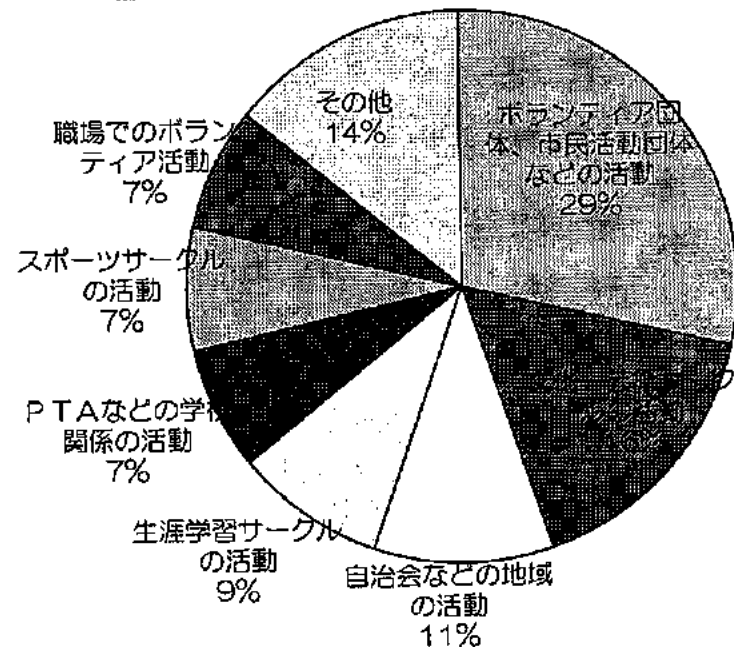


かがやきライフタウン構想については、構想紹介用パンフレットの配布、広報おがきへの掲載、シンポジウムの開催、パートナーシップ事業の募集等を通して、啓発に努めてきた。「かがやきライフタウン・大垣」に参加された方の約4割は、かがやきライフタウン構想を知っており、徐々に構想が市民に浸透してきていることが分かる。
また、今回のフェスティバルを通してより多くの方に構想について考える機会を持てただけだ。

「かがやきライフタウン・大垣2005」
アンケート結果（出展者・出演者用）

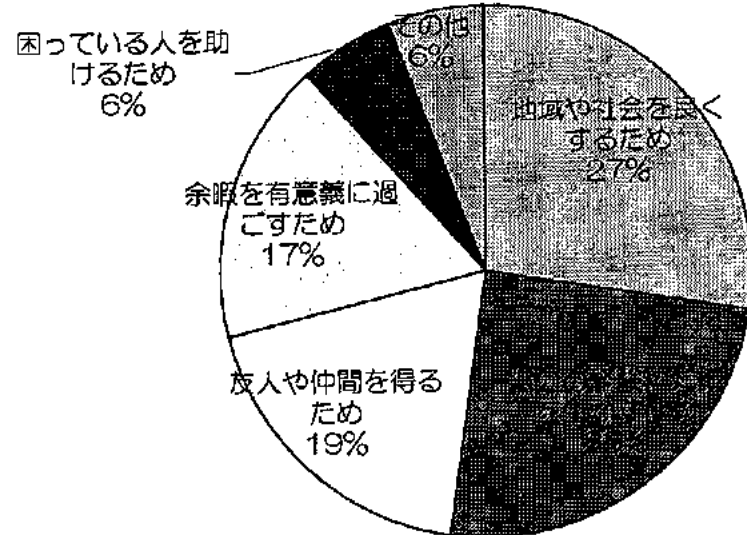
回答者数：41

問1. どのような市民活動を行っていますか。



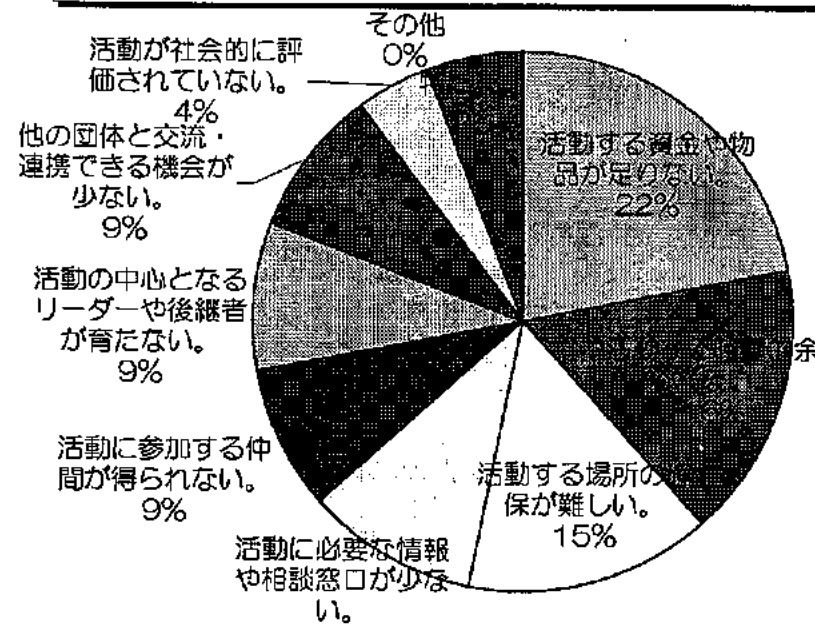
今回のフェスティバルに出演・出展した団体は、ボランティア団体、市民活動団体、文化・芸術サークルなどの割合が比較的多かった。生涯学習サークルやスポーツサークルなどの分野で活動している団体へ、よりいっそう参加の呼びかけを行い、まちづくり活動の一体的な活性化を行うことが必要である。

問2. 市民活動に参加する理由はどのようなものですか。(複数回答可)



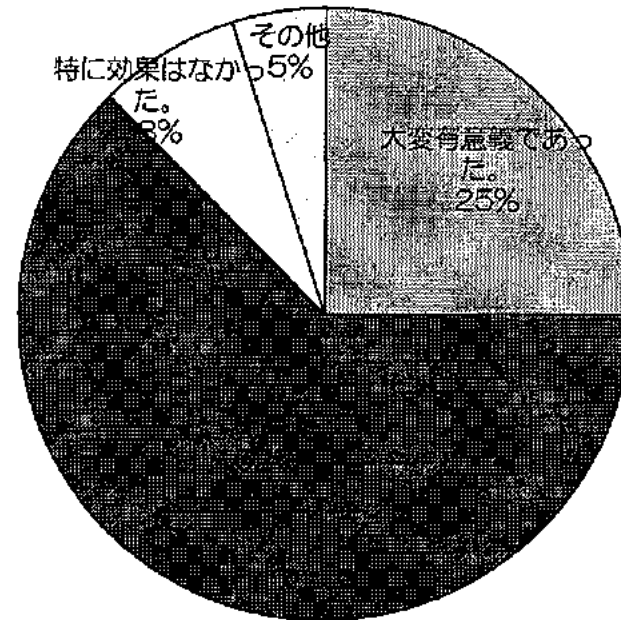
市民活動に参加する理由としては、地域や社会を良くするため、自分の経験や知識を生かすため、といった理由が多く、知識・経験・ノウハウを生かしたまちづくり活動を促進する「かがやきライフタウン構想」のよりいっそうの推進を図る必要がある。

問3. 市民活動への参加に関しての課題はありますか。(複数回答可)



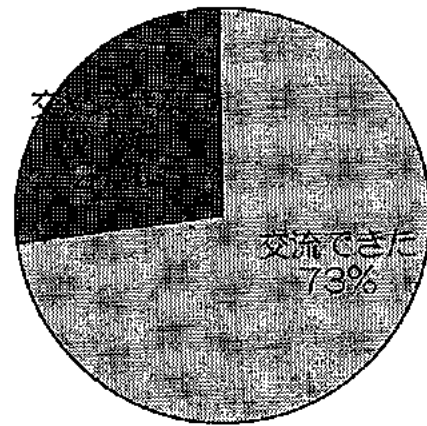
市民活動への参加に関しての課題としては、活動する資金や物品が足りない、活動する時間的余裕がない、といった意見が多い。個人(来場者)を対象とした同様の質問では、活動に必要な情報や相談窓口が少ないという意見が多かったが、実際に活動を行うと、資金や時間的余裕の不足が課題として表れるようである。

問4. 今回の事業に参加した感想はどうですか。

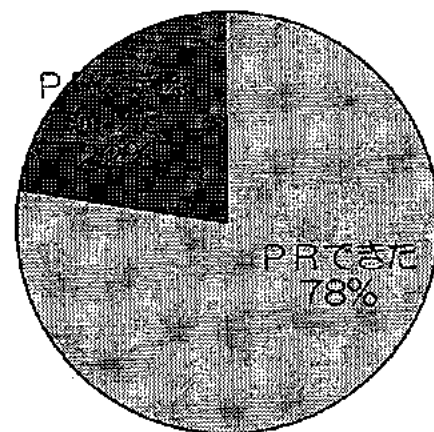


今回の事業に参加した出展者・出演者のほぼ全ての人々が、大変有意義であった、良かった、という感想を持っており、有意義な事業であったといえる。

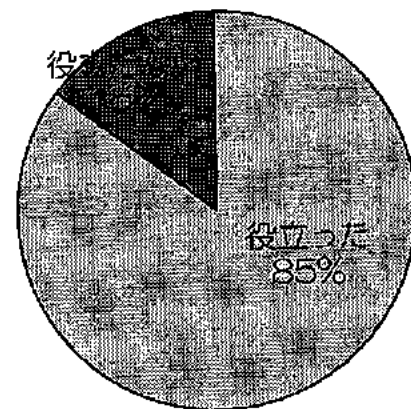
問5. 今回の事業に参加して他の活動との交流を図ることができましたか。



問6. 今回の事業に参加して自分たちの活動のPRを行うことができましたか。

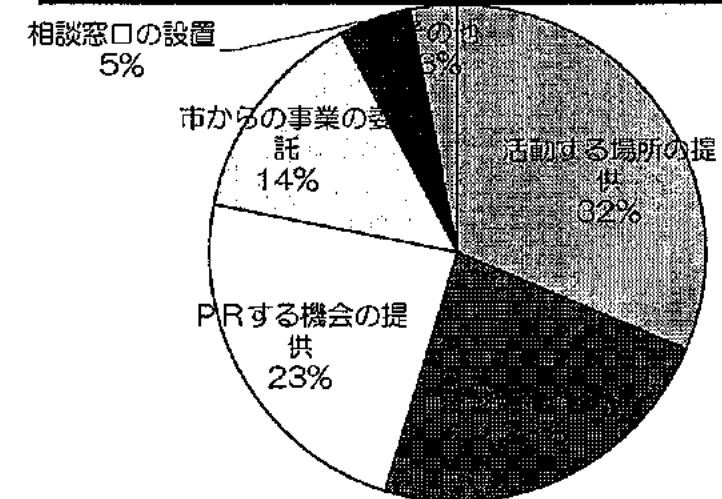


問7. 今回の事業は、自分たちの活動の活性化に役立ちましたか。



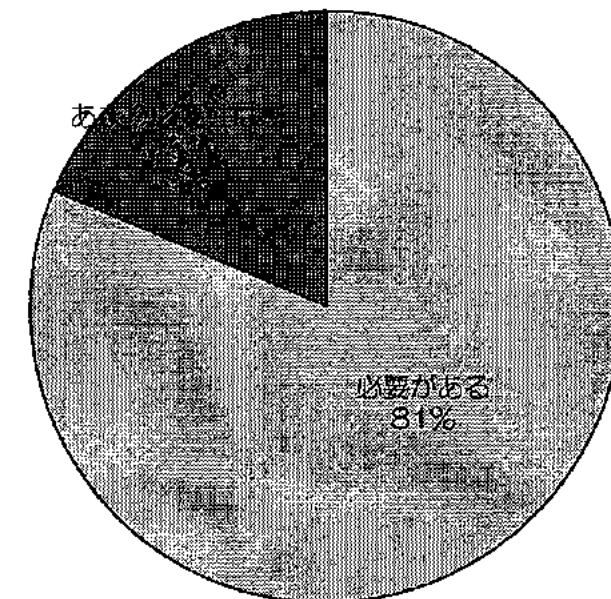
今回の事業に参加した出展者・出演者のほぼ全ての方が、大変有意義であった、良かった、という感想を持っており、有意義な事業であったといえる。

問8. 市民活動を活性化するためには、何が必要だと思いますか。



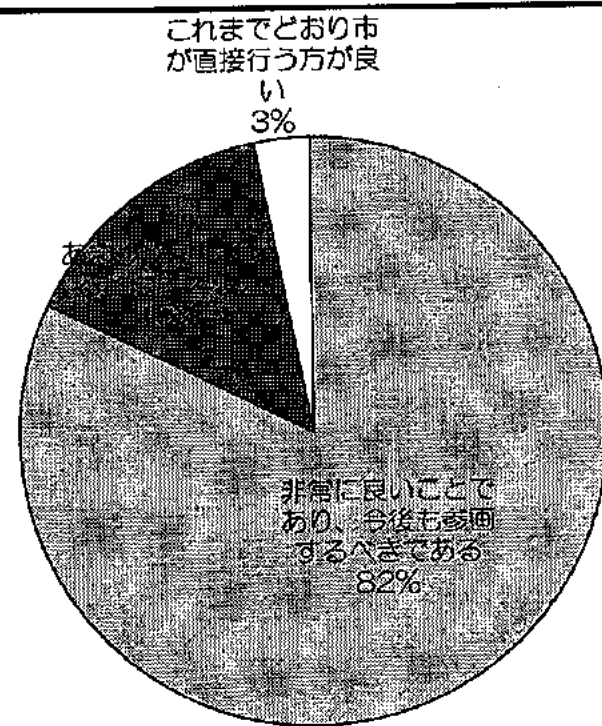
市民活動の活性化のためには、「活動する場所の提供」、「PRする機会の提供」といった意見が多く、今回の「かがやきライフタウン・大垣2005」の目的に合致するものであった。また、「活動資金の補助」といった意見も多く、今回のような市民活動団体への事業委託も市民活動を活性化に寄与するものである。

問9. 今回の「かがやきライフタウン・大垣2005」のような事業が今後も必要だと思いますか。



問8にもあるように、活動する場の提供、PRする機会の提供を求める声が多く、「かがやきライフタウン・大垣2005」はこれらの目的を達成したものと見える。

問10. 今回のイベントは、市民活動団体が企画・運営していますが、事業の企画・運営から市民や市民活動団体が参画していくことについてどう思いますか。



市民活動団体が事業の企画・運営から参画していくことについては、非常に良いことであり、今後も参画するべきであるという声が大半であった。

「かがやきライフタウン・大垣2005」
アンケート結果（実施団体用）

回答者数：5

問1. 今回の事業の実施結果はどうですか。

- | | |
|----------|---|
| 1 成功であった | 5 |
| 2 失敗であった | 0 |

問2. 団体の持つ知識や経験、ノウハウを活用して事業を実施できたか。

- | | |
|------------------|---|
| 1 大いに活用できた | 4 |
| 2 活用できたかどうか分からない | 0 |
| 3 あまり活用できなかった | 0 |
| 4 その他 | 1 |

問3. 今回の事業を通して、団体の活動が活発になりましたか。

- | | |
|----------|---|
| 1 活発になった | 4 |
| 2 変わらない | 1 |

問4. 今回の事業に参加して他の団体との交流を図ることができましたか。

- | | |
|------------|---|
| 1 交流できた | 3 |
| 2 交流できなかった | 2 |

問5. 事業に参加して自分たちの活動のPRを行うことができましたか。

- | | |
|------------|---|
| 1 PRできた | 5 |
| 5 PRできなかった | 0 |

問6. 市民活動を活性化するためには、何が必要だと思いますか。

- | | |
|-------------|---|
| 1 市からの事業の委託 | 2 |
| 2 活動資金の補助 | 3 |
| 3 相談窓口の設置 | 2 |
| 4 PRする機会の提供 | 4 |
| 5 活動する場所の提供 | 3 |
| 6 その他 | 0 |

問7. 今回の「かがやきライフタウン・大垣2005」のような事業が今後必要だと思いますか。

- | | |
|---------------|---|
| 1 必要がある | 4 |
| 2 あまり必要性は感じない | 1 |

問8. 今回のイベントは、市民活動団体が企画・運営していますが、事業の企画・運営から市民や市民活動団体が参画していくことについてどう思いますか。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 非常に良いことであり、今後も参画するべきである | 4 |
| 2 良いことである | 1 |
| 3 あまり成功しているとは思えない | 0 |
| 4 これまでどおり市が直接行う方が良い | 0 |

問9. 市民活動は地域の活性化に寄与していると思いますか。

- | | |
|-----------|---|
| 1 役立っている | 3 |
| 2 役立っていない | 1 |
| 3 分からない | 1 |

問10. その他市民活動の推進に向けての意見を記入してください。

市民団体が企画運営する際の委託事業に人件費、企画料を認めていかないと次へつながらないと思います。

まだまだ情報が市民に浸透していない。近くのコンビニやスーパーなど、日常市民がよく出入りする所などの活用はどうかと思います。まだ市民が受身（私も含めて）の立場にあるので市民の洗脳も必要だと思います。県内、県外で養成講座が開かれているところに市民も市の職員も共に参加し、共通理解をしてそれを活かした活動も考えたいものです。今や市と市民の協働の上をいくという時代、市民が（私も含めて）底辺が立ち上がらないことには活性化はあり得ないと思います。このたびの事業実施に当たり、私たちの団体を選考していただき、そのおかげで仲間意識がより深まったと思います。ありがとうございました。十分ご期待にはそえなかったと思いますが会員は満足して終えることができました。

今後のプラチナの活動を見守ってみたいと。
やはり各町内、会社等へのPR活動と対話が必要で委員会の組織の報告を受けて今後より効果的な方向へと進むべきです。

「かがやきライフタウン・大垣2005」アンケート用紙

来場日	19日(土) ・ 20日(日)
性別	男性 ・ 女性
年齢	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上

該当する項目に○をつけてください。

問1. 本日は、どのイベントに参加しましたか。(複数回答可)

- ① 玉屋庄兵衛(からくり人形師)のからくりの世界
- ② かがやきプラザ(ブース展示・フリーマーケット・ステージイベント)
- ③ イキイキメイク体験
- ④ 高野優さんのトーク&おしゃべり会
- ⑤ わくわく異世代熱気球搭乗体験
- ⑥ アート・イン・大垣城ホール(アートのマーケット)
- ⑦ かがやきセミナー
- ⑧ 大垣に園芸福祉活動を広めよう!!
- ⑨ おおがき未来創造会議
- ⑩ 郭町を忍者が走る!!~忍たま大集合
- ⑪ プラチナ オン ステージ(元気な熟年のつどい)
- ⑫ プラチナプラザ屋台
- ⑬ プラチナ寄席

問2. これまでにあなたが最も多く参加したことがある市民活動は何ですか。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 自治会などの地域の活動 | 6. スポーツサークルの活動 |
| 2. PTAなどの学校関係の活動 | 7. 職場でのボランティア活動 |
| 3. ボランティア団体、市民活動団体などの活動 | 8. その他 |
| 4. 生涯学習サークルの活動 | () |
| 5. 文化・芸術サークルの活動 | 9. 参加したことがない → 問6へ |

問3. 現在、まちづくり活動、ボランティア活動、生涯学習活動、スポーツ・文化活動などの市民活動団体に所属していますか。

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 所属していない。 |) |
| 2. 所属している。
(活動内容:) | |

問4. 市民活動に参加する理由はどのようなものですか。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 地域や社会を良くするため | 4. 友人や仲間を得るため |
| 2. 困っている人を助けるため | 5. 余暇を有意義に過ごすため |
| 3. 自分の経験や知識を生かすため | 6. その他 |
| | () |

「かがやきライフタウン・大垣2005」アンケート用紙

参加日	19日(土) ・ 20日(日)
参加事業	かがやきプラザ ・ アートイン大垣城ホール ・ プラチナオンステージ
性別	男性 ・ 女性
年齢	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上

該当する項目に○をつけてください。

問1. どのような市民活動を行っていますか。

- 1. 自治会などの地域の活動
- 2. PTAなどの学校関係の活動
- 3. ボランティア団体、市民活動団体などの活動
- 4. 生涯学習サークルの活動
- 5. 文化・芸術サークルの活動
- 6. スポーツサークルの活動
- 7. 職場でのボランティア活動
- 8. その他

問2. 市民活動に参加する理由はどのようなものですか。(複数回答可)

- 1. 地域や社会を良くするため
- 2. 困っている人を助けるため
- 3. 自分の経験や知識を生かすため
- 4. 友人や仲間を得るため
- 5. 余暇を有意義に過ごすため
- 6. その他

問3. 市民活動への参加に関する課題はありますか。(複数回答可)

- 1. 活動に必要な情報や相談窓口が少ない。
- 2. 活動する場所の確保が難しい。
- 3. 活動に参加する仲間が得られない。
- 4. 活動の中心となるリーダーや後継者が育たない。
- 5. 他の団体と交流・連携できる機会が少ない。
- 6. 活動する資金や物品が足りない。
- 7. 活動する時間的余裕がない。
- 8. 活動が社会的に評価されていない。
- 9. その他
- 10. 特にない

問4. 今回の事業に参加した感想はどうですか。

- 1. 大変有意義であった。
- 2. 良かった。
- 3. 特に効果はなかった。
- 4. その他

問5. 今回の事業に参加して他の活動との交流を図ることができましたか。

- 1. 交流できた。
- 2. 交流できなかった。

問6. 今回の事業に参加して自分たちの活動のPRを行うことができましたか。

- 1. PRできた。
- 2. PRできなかった。

問5. 市民活動への参加に関する課題はありますか。(複数回答可)

- 1. 活動に必要な情報や相談窓口が少ない。
- 2. 活動する場所の確保が難しい。
- 3. 活動に参加する仲間が得られない。
- 4. 活動の中心となるリーダーや後継者が育たない。
- 5. 他の団体と交流・連携できる機会が少ない。
- 6. 活動する資金や物品が足りない。
- 7. 活動する時間的余裕がない。
- 8. 活動が社会的に評価されていない。
- 9. その他
- 10. 特にない

(問2で9と答えた方のみお尋ねします。)

問6. 市民活動に参加しない理由はどのようなものですか。

- 1. 活動についての情報が得られないから
- 2. 活動する場所の確保が難しい。
- 3. 一緒に活動する仲間がいないから
- 4. 金銭的な負担がかかるから
- 5. 活動できる時間がないから
- 6. 関心や興味が持てないから
- 7. その他
- 8. 特にない

問7. 今回のイベントを通して、興味を持ったり、参加してみたいと思った活動はありましたか。

- 1. はい
 - 2. いいえ
- (その内容:)

問8. 今回「かがやきライフタウン・大垣2005」に参加して良かったと思う点は何ですか。

- 1. 参加してみたい活動を発見できたこと
- 2. いろんな人と交流できたこと
- 3. 自分の活動の輪を広げることができたこと
- 4. 活動の体験ができたこと

問9. 今回の「かがやきライフタウン・大垣2005」のような事業が今後も必要だと思いますか。

- 1. 必要がある。
- 2. あまり必要性は感じない。

問10. 現在、大垣市では、市民の皆さんが持っている知識や経験、ノウハウを活用する場として、まちづくり活動を推進し、市民の皆さんが生きがいを持ち、市民の魅力で輝いたまちを創っていかうとする「かがやきライフタウン構想」を推進しています。この構想のことはご存知ですか。

- 1. 知っている。
- 2. 「かがやきライフタウン・大垣2005」に参加して初めて知った。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「かがやきライフタウン・大垣2005」アンケート用紙

事業名	
団体名	
記入者	

問7. 今回の事業は、自分たちの活動の活性化に役立ちましたか。

- 1. 役立った。
- 2. 役立たない。

問8. 市民活動を活性化するためには、何が必要だと思いますか。

- 1. 市からの事業の委託
- 2. 活動資金の補助
- 3. 相談窓口の設置
- 4. PRする機会の提供
- 5. 活動する場所の提供
- 6. その他

問9. 今回の「かがやきライフタウン・大垣2005」のような事業が今後も必要だと思いますか。

- 1. 必要がある。
- 2. あまり必要性は感じない。

問10. 今回のイベントは、市民活動団体が企画・運営していますが、事業の企画・運営から市民や市民活動団体が参画していくことについてどう思いますか。

- 1. 非常に良いことであり、今後も参画するべきである。
- 2. あまり成功しているとは思えない。
- 3. これまでどおり市が直接行う方が良い。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問1. 今回の事業の実施結果はどうですか。

- 1. 成功であった。
- 2. 失敗であった。

問2. 団体の持つ知識や経験、ノウハウを活用して事業を実施できたか。

- 1. 大いに活用できた。
- 2. 活用できたかどうか分からない。
- 3. あまり活用できなかった。
- 4. その他

問3. 今回の事業を通して、団体の活動が活発になりましたか。

- 1. 活発になった。
- 2. 変わらない。

問4. 今回の事業に参加して他の団体との交流を図ることができましたか。

- 1. 交流できた。
- 2. 交流できなかった。

問5. 事業に参加して自分たちの活動のPRを行うことができましたか。

- 1. PRできた。
- 2. PRできなかった。

問6. 市民活動を活性化するためには、何が必要だと思いますか。

- 1. 市からの事業の委託
- 2. 活動資金の補助
- 3. 相談窓口の設置
- 4. PRする機会の提供
- 5. 活動する場所の提供
- 6. その他

問7. 今回の「かがやきライフタウン・大垣2005」のような事業が今後も必要だと思いますか。

- 1. 必要がある。
- 2. あまり必要性は感じない。

問8. 今回のイベントは、市民活動団体が企画・運営していますが、事業の企画・運営から市民や市民活動団体が参画していくことについてどう思いますか。

- 1. 非常に良いことであり、今後も参画するべきである。
- 2. 良いことである。
- 3. あまり成功しているとは思えない。
- 4. これまでどおり市が直接行う方が良い。

問9. 市民活動は地域の活性化に寄与していると思いますか。

- 1. 役立っている
- 2. 役立っていない
- 3. 分からない

問10. その他市民活動の推進に向けての意見を記入してください。

[]

資 料

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

「かがやきライフタウン・大垣2005」開催経緯

年 月 日	事 項
平成15年 9月26日	(仮称)かがやきライフタウン構想の検討実施を決定
10月 8日	大垣市若手職員まちづくり研究会を設置
10月31日	第1回大垣市若手職員まちづくり研究会を開催
11月10日	第2回大垣市若手職員まちづくり研究会を開催
11月10日	電子会議室「まちづくり研究会」を開設
11月20日	第3回大垣市若手職員まちづくり研究会を開催
11月25日	第4回大垣市若手職員まちづくり研究会を開催
平成16年 1月 5日	(仮称)かがやきライフタウン構想(たたき台)を作成
1月21日	(仮称)かがやきライフタウン構想(たたき台)について、有識者から意見を聴取
2月18日	(仮称)かがやきライフタウン構想(素案)を作成
3月18日	平成16年第1回定例会市議会(総務委員会)において、「(仮称)かがやきライフタウン構想(素案)」を報告
3月18日	かがやきライフタウン構想(素案)を決定
4月15日	広報おおがき(4月15日号)の「市長のかがやきメール」に、かがやきライフタウン構想の推進に関する記事を掲載
5月19日	大垣市21世紀ビジョン懇談会を開催
5月28日	第5回大垣市若手職員まちづくり研究会を開催
6月 1日	かがやきライフタウン構想市民懇談会を設置
6月 1日	第1回かがやきライフタウン構想市民懇談会を開催
6月22日	第2回かがやきライフタウン構想市民懇談会を開催
7月1日～ 7月31日	パブリック・コメント制度(市民意見の提出手続き制度)に基づき、構想(素案)に対する意見を募集
7月 8日	第3回かがやきライフタウン構想市民懇談会を開催
8月 5日	第4回かがやきライフタウン構想市民懇談会を開催
8月18日	第5回かがやきライフタウン構想市民懇談会を開催
8月22日	かがやきシンポジウムを開催 かがやきライフタウン構想市民懇談会から市長へ提言書を提出
8月23日	かがやきライフタウン構想(案)を作成
9月17日	平成16年第3回定例会市議会(総務委員会)において、「かがやきライフタウン構想(案)」を報告
9月17日	かがやきライフタウン構想を決定

年月日	事項
平成16年11月30日	かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議を設置
11月30日	第1回かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議幹事会及びワーキンググループ合同会議を開催
平成17年 1月12日	第1回かがやきライフ委員会設立発起人会を開催
1月24日	第2回かがやきライフ委員会設立発起人会を開催
2月 9日	第1回かがやきライフ委員会を開催
2月10日	第2回かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議幹事会及びワーキンググループ合同会議を開催
2月14日	かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議を開催 平成17年度かがやきライフタウン構想関連事業を決定
2月21日	第7回大垣市若手職員まちづくり研究会を開催
2月23日	大垣市若手職員まちづくり研究会の第2期担当員を募集
2月24日	第2回かがやきライフ委員会を開催
3月14日	大垣市若手職員まちづくり研究会
3月15日	第3回かがやきライフ委員会を開催
3月25日	第4回かがやきライフ委員会を開催
4月 1日	かがやきライフ委員会から、「(仮称) かがやきライフタウン・フェスティバル」のあり方についての提案書を提出
4月 4日	大垣市若手職員まちづくり研究会(第2期)担当員を任命
5月10日	第5回かがやきライフ委員会を開催
5月15日～ 6月30日	「かがやきライフタウン・大垣2005」事業実施団体を募集
6月 4日	「かがやきライフタウン・大垣2005」事業実施団体募集説明会を開催
6月13日	第6回かがやきライフ委員会を開催
6月14日	「かがやきライフタウン・大垣2005」実施団体募集に関する質問と回答を公開
6月27日	第7回かがやきライフ委員会を開催
7月10日	「かがやきライフタウン・大垣2005」事業選考会を開催
7月13日	「かがやきライフタウン・大垣」パートナーシップ事業を募集
7月15日	7月定例部長会議でパートナーシップ事業の募集について説明、とりまとめを依頼
8月 8日	第1回「かがやきライフタウン・大垣2005」連絡調整会議を開催
8月22日	第2回「かがやきライフタウン・大垣2005」連絡調整会議を開催

年月日	事項
9月13日	第1回「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会を開催
10月 6日	第2回「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会を開催
10月26日	大垣市若手職員まちづくり研究会(有志) 第1回ボランティアスタッフ説明会を開催
10月27日	第8回かがやきライフ委員会を開催
10月31日	第3回「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会を開催
11月 8日	第4回「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会を開催
11月 9日	大垣市若手職員まちづくり研究会(有志) 第2回ボランティアスタッフ説明会を開催
11月16日	第5回「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会を開催
11月17日	大垣市若手職員まちづくり研究会(有志) 第3回ボランティアスタッフ説明会を開催
11月19日～ 11月20日	「かがやきライフタウン・大垣2005」を開催
1月18日	第6回「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会を開催

かがやきライフタウン構想

～あなたにとってかがやいた人生とは～

平成16年9月

大垣市

「かがやきライフタウン・大垣」を目指して



本市では、物質的な豊かさから精神的な豊かさが求められ、経済大国から生活大国へと社会が転換しているなか、市の長期的なまちづくりCI（シティ・アイデンティティ）として、「かがやきライフタウン構想～あなたにとってかがやいた人生とは～」を策定いたしました。

人は、学校や職場、家庭、地域で多くのことを学び、さまざまな知識、経験、ノウハウをもっています。また、本市には、豊かな水や緑といった自然、受け継がれてきた歴史や文化など、数多くの地域資源があります。

この構想は、こうした本市の地域資源を生かしながら、市民の皆様ご自身の能力や個性を発揮できる場を創出し、「日本一住み良いまちづくり」を進めていこうというものです。

これまで、市内21地区で開催させていただきました「地域ふれあいトーク」、各種団体やグループとの「いきいきトーク」や「かがやきトーク」といった対話集会で、多くの市民の皆様からご意見をお聞きしてきました。

そのなかで感じたのは、市民の皆様が、各地で展開されているスローライフ運動からもう一歩踏み込んだ考え方を持っておられ、それぞれが持つ能力や個性を発揮できる機会や場所を探しておられるということでした。

このため、市民の皆様が、文化、スポーツ、環境、緑化など、さまざまな分野での社会参加や地域貢献を通して、自己実現や生きがいを実現できるまち・大垣を創りだすとともに、市民・企業・行政などによる協働型まちづくりに取り組んでまいりたいと存じます。

最後に、本構想の策定に当たりまして、熱心にご議論を賜りました「かがやきライフタウン構想市民懇談会」の委員の皆様をはじめ、構想策定段階で実施いたしました「大垣市21世紀ビジョン懇談会」、「かがやきシンポジウム」、「パブリック・コメント」などでご意見やご提言をお寄せいただきました関係各位に心からお礼申し上げます。

平成16年9月

大垣市長 小川 敏

1. 構想策定の背景と目的

20世紀後半の日本は、大量生産・大量消費、スピードと効率を追求した結果、世界有数の経済大国として繁栄しましたが、人間性の喪失や環境汚染などをもたらし、バブル経済崩壊以降は日本全体が一種の閉塞状態に陥っています。

また、工業社会から情報社会への移行、経済大国から生活大国づくりへの転換といったパラダイムシフトが起きており、こうした状況に対応するための新たなビジョンが求められています。

こうした中、岐阜県では、人間の尊厳を根底においた「ふるさと再発見」を進める「温故知新」運動を推進しており、また、全国各地の自治体でも、人々の価値観が多様であることを前提として、スピードを重視するのではなく、暮らしのスローな部分にも価値を見出しながら、地域の個性回復や生活文化の見直しを進める「スローライフ」運動が進められています。

大垣市では、これまで様々な生涯学習活動や市民活動が行われてきました。これらの活動をさらに広げるため、「人間重視」の観点で、「かがやきライフタウン構想」を策定しました。

2. かがやきライフタウンとは

かがやきライフタウンとは、市民が社会参加や地域貢献などを通して自己実現や生きがいを実感でき、市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまちであり、以下のような姿がイメージできます。市民がいろいろな活動に参加することが市民の魅力を引き出し、市民一人ひとりがかがやくことがまちをかがやかせることにつながるのです。

かがやきライフタウンのイメージ

○市民一人ひとりを大切にすまち

- ・ 子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが健康で、個性や経験を生かした活動を通じて自己実現や生きがいを実感できる。
- ・ 市民一人ひとりが遊び心を大切に、面白いまちづくり活動につなげる。

○いつまでも住み続けたいまち

- ・ 市民一人ひとりがまちに愛着をもち、まちを誇らしく思う。
- ・ まちの個性を大切に、このまちにしかないものを生み出す。

○交流・ふれあいのあるまち

- ・ 家族そろって様々な活動に参加するとともに、子ども、親、高齢者の3世代の交流を大切にす。
- ・ 地域の交流の輪を広げ、活力を生み出す。
- ・ みんなで楽しみながら手づくり感覚で様々な活動をすすめる。

3. 構想実現に向けての基本方針

市民の自主的な社会参加への意欲の喚起や、自発的な地域貢献への関心を醸成します。また、生涯学習活動、芸術文化活動、スポーツ活動、学校・地域・職場での体験などから得た知識やノウハウを生かした様々なまちづくり活動を促進します。

こうして、市民が地域への愛着や多様な価値観を持ちながら、**かがやいた人生を実感できるステージづくり**をすすめます。

その際には、大垣市の個性ある貴重な地域資源をステージ創出に活用し、新たなまちの個性を創造するというような「循環」を生み出していきます。

かがやいた人生を実感できるステージ

○生きがいを感じる活動

市民のもつ能力を引き出しまちづくりに活用するとともに、子育て支援をはじめとするボランティア活動や芸術文化活動やスポーツなどの活動を通して人々の交流を深めることで、市民の生きがいや自信を創出します。

○誇りと愛着をもてる活動

まちを歩きながら、まちの魅力を再発見し、市民の地域愛を高めるとともに、まちへの自信を創出します。
大垣市の個性である「水」を活用するとともに、「緑」を増やすことで、まちに潤いを創出します。
地域の歴史や文化に親しむことで、まちへの愛着を高めます。

○まちに活力を生み出す活動

まちの賑わいの創出、新たな産業の振興や職業能力の育成、全国への情報発信によって、まちの活力を高めます。

○生きがいを感じる活動の例



知識や経験を生かした活動

絵画、習字、大正琴、陶芸などを得意とする人が講師になって市民に教える活動が行われています。生涯学習を通じた交流・親睦が図られています。



子育て支援

乳幼児のいる親が子どもとともに交流できる場所が設けられ、子育て相談、親の学習会、子育て中の母親の活動支援などが行われています。人々が安心して子どもを産み育てられる家庭・地域社会の実現をめざしています。



ボランティア活動を通じた生きがい創出

高齢者や障害者の自立を支援するボランティア活動が行われています。活動を通じて、人と人とのふれあいが生まれ、活動する人の自己実現につながっています。



多様な人々の交流

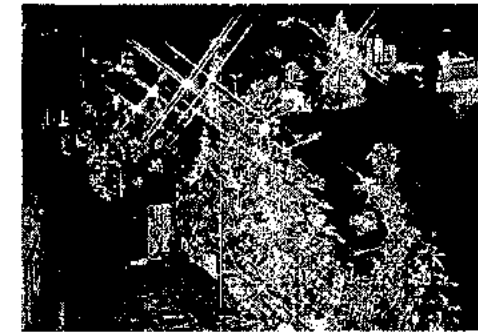
さまざまな活動をしている人々が集まり情報交換をする中で交流が図られています。新たな出会いが新たな活動に結びつき、活動を活発化させています。

○誇りと愛着をもてる活動の例



子ども達の写生大会

小中学生に大垣のまちの絵を描いてもらうことで、まちの良さに気づいてもらう活動が行われています。小さい頃からまちを愛する気持ちを持ってもらうことをねらっています。



水を生かしたイベントの開催

大垣市の個性である水門川を市民の手づくりによる明かりアートなどで華やかに飾るイベントが行われています。水と光の演出によって新たなまちの魅力が生み出されています。



公園の花壇づくり

市民の手づくりにより、公園の花壇を整備し、まちを花いっぱいにする活動が行われています。花壇の手入れを通じた人と人とのふれあいも生まれています。



観光ボランティアによるまち案内

観光ボランティアによるまちの案内が行われており、まちの歴史を知ることがまちへの愛着を生み出しています。歴史を切り口に、城下町大垣を再発見することをねらいとしたスタンプラリーも行われています。

○まちに活力を生み出す活動の例



学生の参加による商店街の活性化

駅前商店街に「まちなか研究室」が設置され、中心市街地の活性化にむけた様々な活動が展開されています。学生がまちづくりに関わることにより、まちが元気づいています。



コミュニティビジネス

リサイクルショップなど、空き店舗を活用したコミュニティビジネスが行われています。地域に密着した事業を起こすことによって、起業者の自己実現とともに、地域の活性化にもつながっています。

【参考】活動にあたって活用したい大垣市の個性（例）

（1）自然

- 水（地下水、自噴水、河川）
- ハリヨ（加賀野、西之川）、蜚（杭瀬川）
- 花（からしな、桜、さつき、ぼたん、藤、しょうぶ、カミツレ、ひまわり、椿）
- 化石 ほか

（2）特産

- 木枡、石灰石、大理石加工品
- 柿、梨、銘菓（水まんじゅう、みそ入りせんべい、柿ようかん、金蝶まんじゅう）、芭蕉水豆腐、地酒 ほか

（3）観光

- 大垣城、奥の細道むすびの地、美濃国分寺史跡公園、中山道赤坂宿、無何有荘大醒樹
- 水門川遊歩道「四季の路」、お茶屋敷跡（ぼたん園）、加賀野八幡神社自噴井
- 守屋多々志美術館、金生山化石館、輪中館、輪中生活館 ほか

（4）イベント

- 舟下り芭蕉祭（4月）、大垣まつり（5月）、水まつり（8月）、十万石まつり（10月）、中山道赤坂宿まつり（11月） ほか
- たらい舟川下り（9月～10月）、芭蕉蛤塚忌全国俳句大会（10月）、ミニ奥の細道 芭蕉句碑めぐり（10月） ほか

（5）産業

- 日本一（ナンバーワン）、日本で唯一（オンリーワン）
自動車用ヒューズ（全国シェア：94%）、医薬品用ガラス瓶（全国シェア：34%）
祝酒用木枡（全国シェア：80%）、タイヤバルブ（全国シェア：70%）、土木建築用パイプ脚立、石灰産業（生石灰生産日本一、消石灰第2位）、路線トラック輸送距離（140万キロ）、カミツレ生産（2ha） ほか
- IT関連産業
ソフトピアジャパン立地企業（約150社、約1,800人） ほか

（6）有名人（ゆかりの人）

- 故守屋多々志氏（日本画家、文化勲章受賞者、大垣市名誉市民）、中西重忠氏（医学博士、京大大学院教授、大垣市名誉市民）、立川敬二氏（NTTドコモ取締役相談役、大垣市名誉市民）、小原鉄心（大垣藩家老）、飯沼惣斎（蘭方医、植物学者）、梁川星巖（漢詩人） ほか

（7）生活

- 大学（IAMAS、岐阜経済大学、大垣女子短期大学）
- 高校（普通科、職業学科）
- NPO（まちづくり団体、ボランティア団体）
- 外国人居住者（約5,400人、（参考）住民基本台帳人口：約14万9千人） ほか

4. 構想実現に向けてのプロジェクト

（1）まちづくり活動促進プロジェクト

かがやきライフタウン構想の推進を図るため、IT（情報通信技術）の活用やまちづくりコーディネーターの養成などを通して、まちづくり活動促進プロジェクトに取り組んでいきます。

まちづくり活動促進プロジェクト

- ・（仮称）かがやきライフタウン・フェスティバルの開催
（まちづくり市民団体の見本市の開催、大学・高校による合同学園祭の開催 ほか）
- ・（仮称）かがやきライフ活動データベースの構築
（まちづくり市民活動団体、人材（達人）、イベント、講座等の情報提供 ほか）

（2）各種プロジェクト

上記のまちづくり活動促進プロジェクトを中心として、「生きがいを感じる活動」「誇りと愛着をもてる活動」「活力を生み出す活動」の各分野において、プロジェクトを実施していきます。

5. 構想推進に当たって

「かがやきライフタウン構想」の推進に当たっては、市民、企業、行政などが協働して取り組んでいくことが重要であり、そのための協働の仕組みづくりを進めていきます。

協働の仕組みづくり

○構想のPR

市民等が主体となって実施するシンポジウムなどの様々な事業を通して本構想を広くPRしていきます。

○構想を具体化する組織の検討

市民等が主体となって実施していくための組織を検討していきます。

○行政の取り組み

構想推進に当たって、関係部署などによる連絡調整会議を設置していきます。

大垣市長 小川 敏 様

かがやきライフ委員会委員一同

「(仮称) かがやきライフタウン・フェスティバル」について (提案)

大垣市では、新たなまちづくりビジョンとして、「かがやきライフタウン構想」が策定され、その中で、「(仮称) かがやきライフタウン・フェスティバル」の開催がプロジェクトとして、位置づけられております。

このため、平成17年2月、「かがやきライフタウン構想市民懇談会」に参加した者が発起人となり、「かがやきライフ委員会」を発足し、以来、4回の会議を開催し、「(仮称) かがやきライフタウン・フェスティバル」のあり方について、活発な議論と検討を重ねてまいりました。委員がそれぞれ活躍する分野での生の声を出し合い、市民の目線で話し合った結果、別添のとおり「(仮称) かがやきライフタウン・フェスティバル」に盛り込むべき内容を整理しましたので、ここに提案します。

提 案 書

かがやきライフ委員会

(仮称) かがやきライフタウン・フェスティバル

1. 趣旨

「(仮称) かがやきライフタウン・フェスティバル」は、本市に暮らすすべての市民が、それぞれの活躍の場を**発見**し、お互いに**交流**しあい、自己実現や生きがいを実感できる**活動**をしていくことで、**輝いた人生**を送るためのきっかけづくりとしていくものです。

輝いた人生を実感できるステージづくり

- ・市民の様々な活動の紹介を通して、自分のやりたいことを発見できる場を提供する。
- ・大垣市だけでなく他地域の活動を紹介し、交流できる場を提供する。
- ・子どもから高齢者まで、すべての世代が自己実現や生きがいを実感できる活動の場を提供する。

2. 名称

かがやきライフタウン・大垣 2005

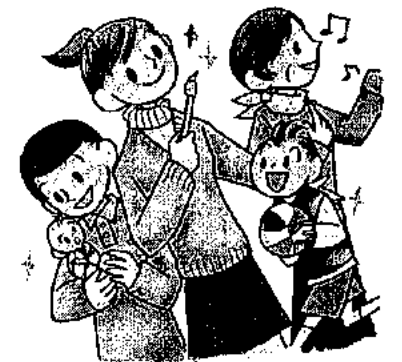
～ 発見・交流・活動から輝いた人生へ！ ～

3. 日時

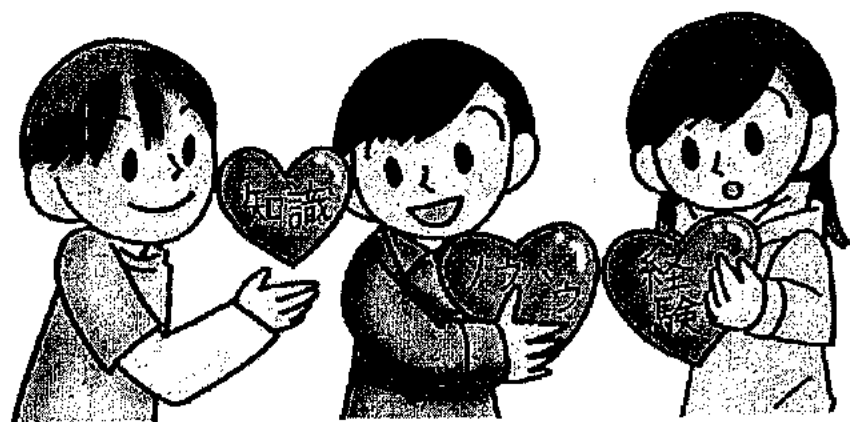
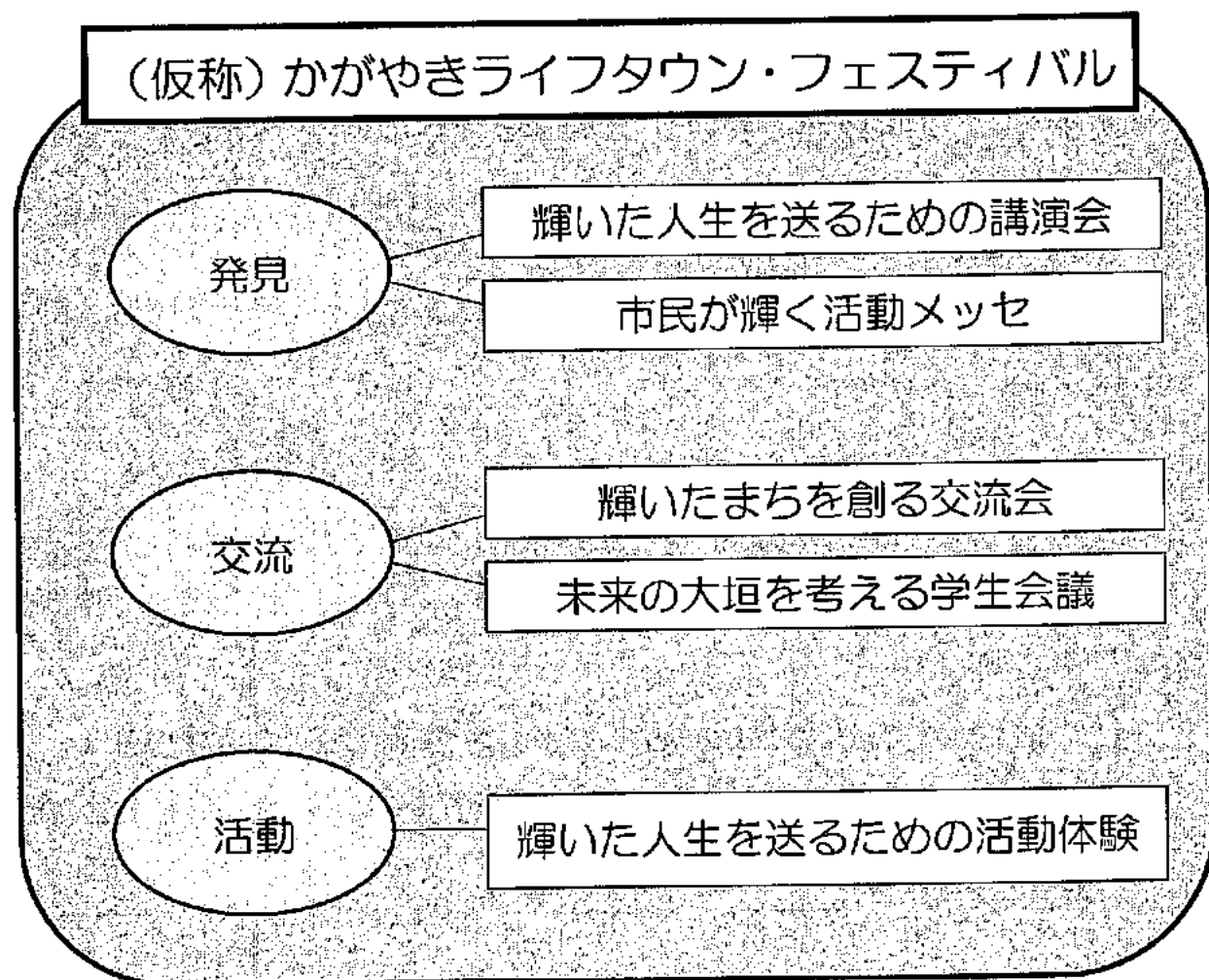
平成17年11月19日(土)、20日(日) 10:00~17:00

4. 場所

大垣城ホール ほか



5. 構成

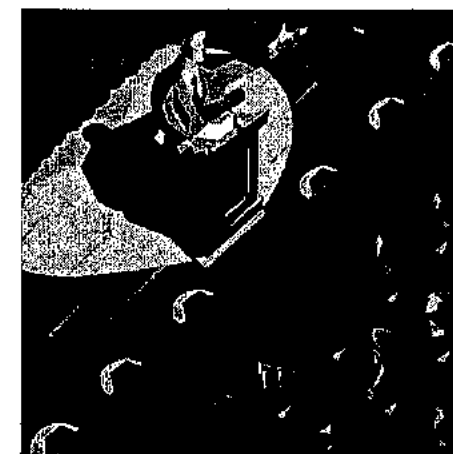


6. 内容

発見

○輝いた人生を送るための講演会

市民活動をはじめとする様々な活動の実務者、著名人を迎えての講演会を開催する。



○市民が輝く活動メッセ

県内外の市民活動団体、ボランティア団体、生涯学習グループ、文化サークル、スポーツサークル、企業（社会貢献グループ）などの活動を紹介するブースを設置するとともに、舞台での発表を行う。

特に、活動を始めたばかりの新しい団体が情報発信できる場を創る。



○輝いたまちを創る交流会

他地域の団体等と交流し、お互いの情報交換を行う場を創る。

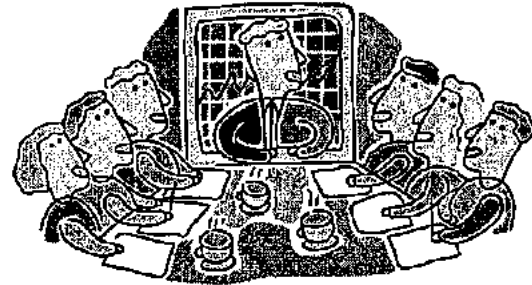
<交流会例>

・子育て交流会

子育てに関する問題や子育てを支援する活動について意見交換を行う。

・中心市街地活性化交流会

中心市街地活性化に向けた空き店舗活用事例やコミュニティビジネスについて意見交換を行う。



・地域通貨交流会

地域での支えあいやコミュニティ形成に向けた取り組みである地域通貨について導入事例を参考とした意見交換を行う。

・安全・安心交流会

市民パトロールによる防犯対策など、市民の手で進める安全・安心の取り組みについて意見交換を行う。

・環境にやさしいまち交流会

環境負荷の少ない循環型社会の構築、環境との共生をめざした取り組みについて意見交換を行う。

○未来の大垣を考える学生会議

大垣市の将来を担う若者（小・中学生、高校生、大学生）と大垣市長による座談会を開催し、未来の大垣市の姿について意見交換を行う。



活動

○輝いた人生を送るための活動体験

様々な活動体験を通して自己実現や生きがいを実感できる活動へのきっかけづくりを行う。

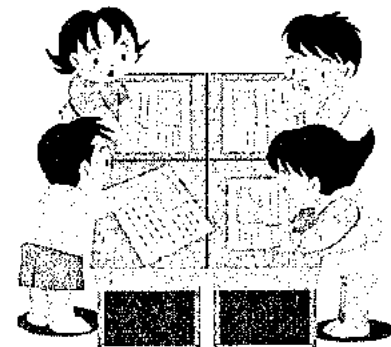
<子どもが輝く活動>

子ども達（小・中学生）による活動体験の場を提供する。

[活動例]

- ・大垣100へえ物語の作成

大垣市に関するトリビア（うんちくや豆知識など）を見つけ、まちの個性を再認識する。



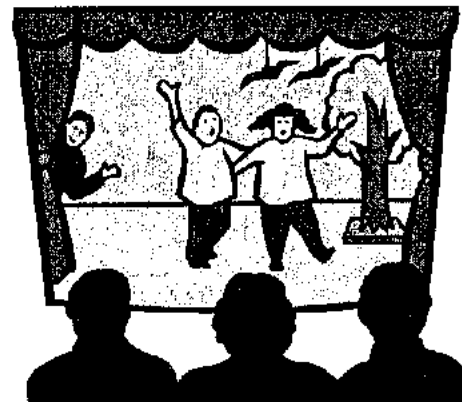
<プラチナ世代が輝く活動>

熟年世代による活動体験の場を提供する。

[活動例]

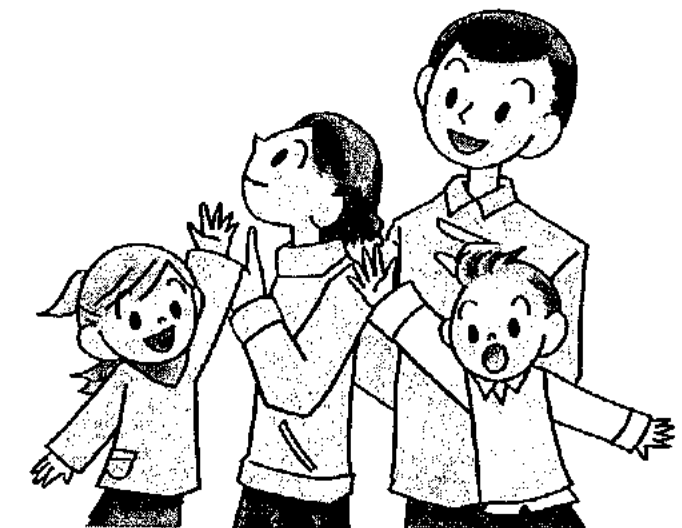
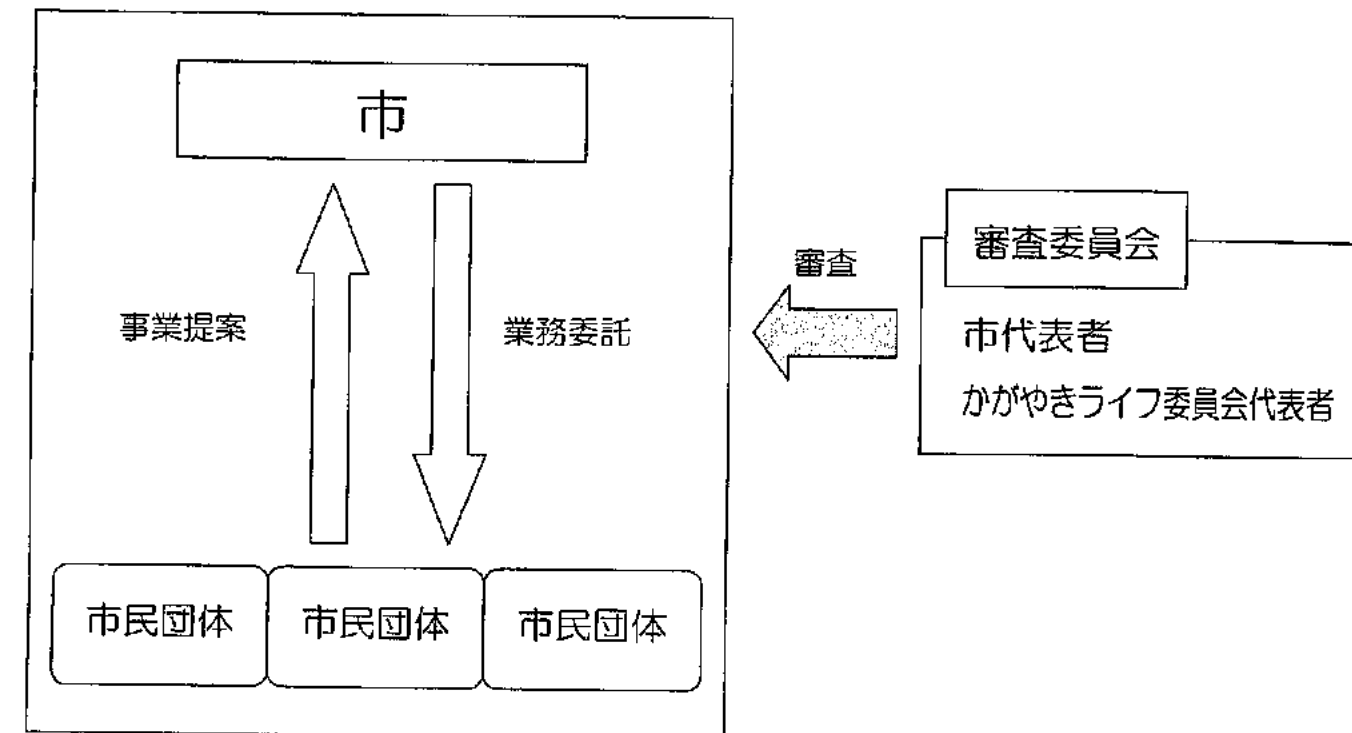
- ・かがやきさんの発見（熟年式の開催）

輝いた人生を送っている熟年者を発掘するとともに、熟年世代にスポットをあてた事業を実施する。



7. 実施方針

「（仮称）かがやきライフタウン・フェスティバル」の実施にあたっては、内容を細分化し、市民団体を対象とするコンペティションを実施し、公正な審査を経て、市から事業委託する。市民団体の提案が活かされるフェスティバルとしていく。



検討経緯

○平成17年1月12日(水)

第1回かがやきライフ委員会設立発起人会

○平成17年1月24日(月)

第2回かがやきライフ委員会設立発起人会

○平成17年2月9日(水)

第1回かがやきライフ委員会

○平成17年2月23日(水)

第2回かがやきライフ委員会

○平成17年3月15日(水)

第3回かがやきライフ委員会

(大垣市若手職員まちづくり研究会担当員も意見交換に参加)

○平成17年3月25日(金)

第4回かがやきライフ委員会

(大垣市若手職員まちづくり研究会担当員も意見交換に参加)

かがやきライフ委員会委員名簿

○委員

伊藤 允人	岩田 浩	種田 久子
種田 稔	粥川加奈子	河並健太郎
北原 信男	北村 務	佐藤 有美
白川 慶子	辻本 周作	中川ヤスエ
名和 成範	長谷川郁代	平松 和夫
溝口 隆司(設立発起人)	安田 典子(設立発起人)	山川 芳子
山田 祥子(設立発起人)		

○事務局

伊藤 義彦	広瀬 幹雄	寺嶋 太志
高木 明弘	倉畑 有里	

大垣市若手職員まちづくり研究会担当員名簿

石田 裕司	種田 昌克	小林 晋
川瀬 邦聡	神田 孝行	須田山智成
近藤留美子	残馬 智仁	舘 克典
染谷 裕治	高木 俊介	富山 知一
田中 真貴	土川 剛史	平野 暁
永墓 正広	林 隆司	三宅 忠
松山 晃司	宮内 幸三	
山田 芳弘	加藤 重徳	

「かがやきライフタウン・大垣2005」実施団体募集要領

1 趣 旨

大垣市に暮らす市民が、それぞれの活躍の場を発見し、お互いに交流しあい、自己実現や生きがいを実感できる活動をしていくことで、輝いた人生を送るためのきっかけづくりとしていく「かがやきライフタウン・大垣2005」を開催する。

このフェスティバルを構成する事業を委託するため、市民団体を対象とするコンペティションを実施するもの。

2 内 容

「かがやきライフタウン・大垣2005」は、「発見」・「交流」・「活動」の3つを柱として開催する。

(1) 発 見

①輝いた人生を送るための講演会

市民活動をはじめとする様々な活動の実務者や著名人を迎えての講演会

②市民が輝く活動メッセ

県内外の市民活動団体、ボランティア団体、生涯学習グループ、文化サークル、スポーツサークル、企業（社会貢献グループ）などの活動を紹介するブースの設置や舞台での発表

(2) 交 流

①輝いたまちを創る交流会

他地域の団体等との交流による情報交換会

・子育て交流会

・その他の分野での2つの交流会

(例) 中心市街地活性化交流会

地域通貨交流会

安全・安心交流会

環境にやさしいまち交流会

②未来の大垣を考える学生会議

大垣市の将来を担う若者（小・中学生、高校生、大学生）と大垣市長による座談会

(3) 活 動

①輝いた人生を送るための活動体験

様々な活動体験を通して自己実現や生きがいを実感できる活動へのきっかけづくり

・子どもが輝く活動

(例) 大垣100へえ物語の作成

・プラチナ世代が輝く活動

(例) かがやきさんの発見（熟年式の開催）

3 募集対象者

大垣市に登録している市民活動団体をはじめ市内で活動している市民団体とする。

4 実施条件

(1) 主催者

大垣市とする。

(2) 開催地

大垣城ホール及びその周辺とする。

(3) 開催時期

平成17年11月19日(土)、20日(日)10:00~17:00の間の割り振られた時間とする。

(4) その他

参加者を対象に、市の指定するアンケートを実施することとする。

5 委託金

(1) 委託金の上限は次の表のとおりとし、10万円単位とする。

(2) 委託金の対象となるのは、事業の実施に要する経費とする。

分野	内 容		上限額
発見	輝いた人生を送るための講演会 市民が輝く活動メッセ		3,500千円
交流	輝いたまちを創る交流会	子育て交流会	500千円
		その他の分野での2つの交流会	各200千円
	未来の大垣を考える学生会議		100千円
活動	輝いた人生を送るための活動体験	子どもが輝く活動	300千円
		プラチナ世代が輝く活動	500千円

6 応募手続

コンペティションへの参加を希望する団体は、大垣市長に応募書(別記様式第1号)を提出するものとする。

7 応募期間

平成17年5月15日から平成17年6月30日の間とする。

8 委託の決定等

(1) 大垣市及びかがやきライフ委員会の代表者による審査会で、提出された応募書の内容を審査し、委託先及び金額を決定するものとする。なお、審査にあたっては応募団体によるプレゼンテーションを実施する。

(2) 委託対象事業について変更が生じた場合は、受託団体は、その理由を付して、直ちに大垣市長に報告し、その承認を受けるものとする。

9 委託金の交付

(1) 大垣市長は、受託団体に委託金を前払いすることとする。

(2) 受託団体は、対象事業を完了したときは、事業実績報告書(別記様式第2号)を大垣市長に提出することとする。なお、残金が生じたときは、速やかに返還することとする。

10 その他

この要領に定めのない事項については、必要の都度、大垣市長が定めるものとする。

7. 選考結果の通知

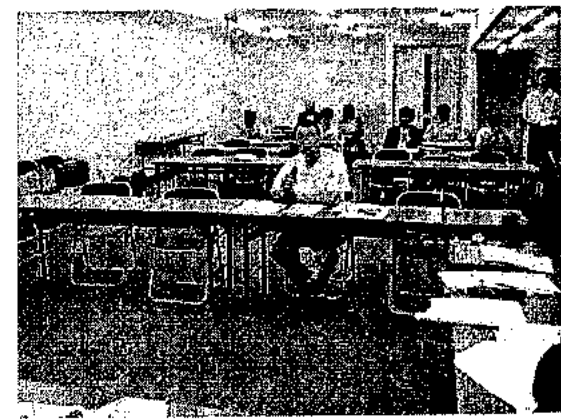
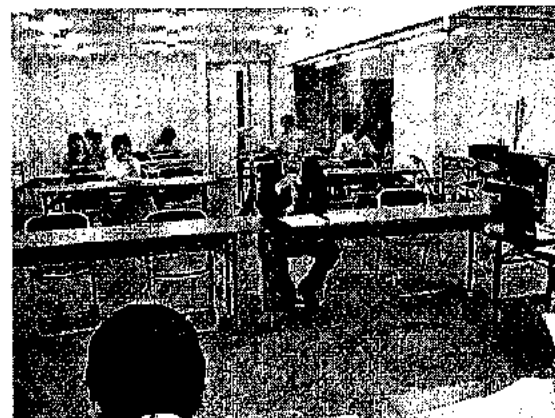
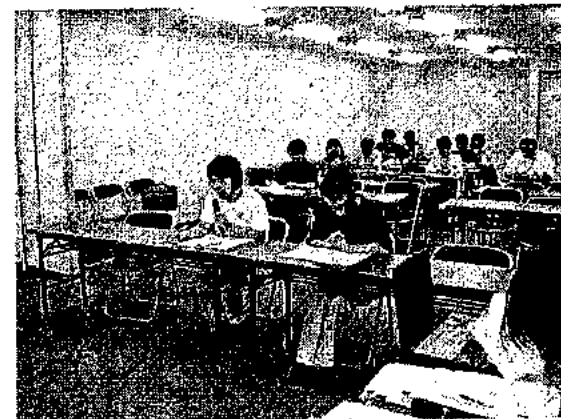
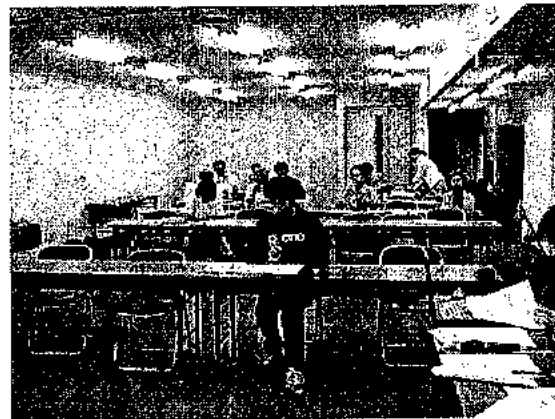
応募者に選考結果を通知します。

8. 参加費用

プレゼンテーションに要する費用など、選考会への参加費用は、応募者の負担とします。

9. 連絡調整会議

事業決定後に連絡調整会議を開催し、当日の時間や場所の割り振り等を協議します。



「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会設置要綱

(設置)

第1条 市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまちを創っていかうとする「かがやきライフタウン構想」のまちづくり活動促進プロジェクトである「かがやきライフタウン・大垣2005」を運営するため、「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 運営委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) かがやきライフタウン・大垣2005の運営に関する事。
- (2) その他運営委員会の目的を達成するために必要な事項に関する事。

(組織)

第3条 運営委員会は、次に掲げる委員により構成する。

- (1) かがやきライフ委員会の代表者
- (2) 構成事業実施団体の代表者
- (3) 大垣市の代表者

(役員)

第4条 運営委員会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長 1人
- (2) 副委員長 2人
- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、運営委員会を代表し、会務を総括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 運営委員会に顧問を置くことができる。

(会議)

第5条 運営委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長を務める。
2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(権能)

第6条 会議は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (2) 運営委員会の解散に関する事項
- (3) その他運営委員会の運営に関する重要な事項

(議事)
 第7条 会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。
 2 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専決)
 第8条 委員長は、会議を招集する暇がないと認めるときは、その議決すべき事項について専決することができる。
 2 委員長は、前項の規定により専決したときは、その内容について次の会議において報告しなければならない。

(事務局)
 第9条 運営委員会の事務局は、大垣市企画部政策調整課に置く。

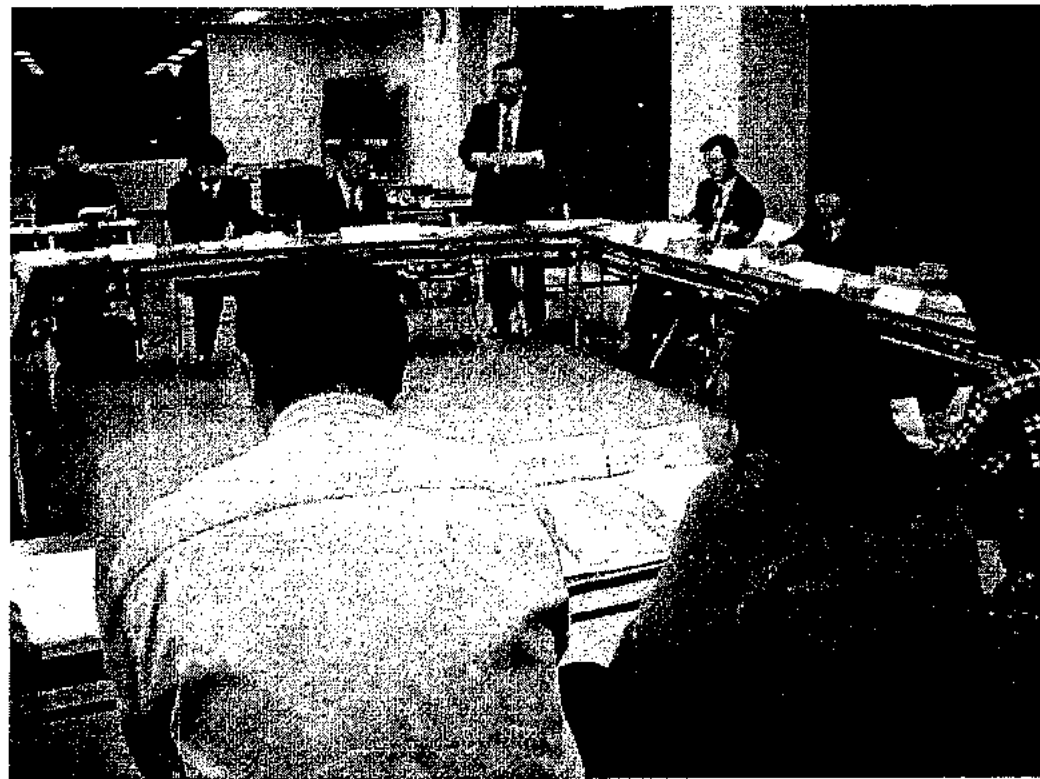
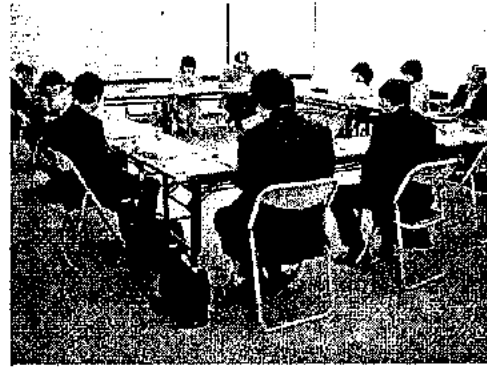
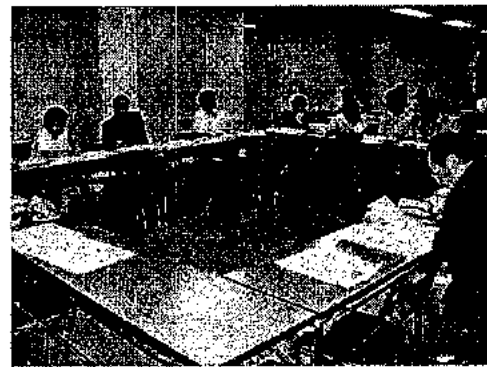
(解散後における事務の処理)
 第10条 運営委員会の解散後、「かがやきライフタウン・大垣2005」に関する問い合わせその他の事務については、大垣市企画部政策調整課において処理する。

(委任)
 第11条 この要綱に定めるもののほか、運営委員会の運営に関して必要な事項は、その都度委員長が別に定める。

附 則
 この要綱は、平成17年9月13日から施行する。

<「かがやきライフタウン・大垣2005」運営委員会名簿>

区 分		名 前	
顧問	かがやきライフタウン構想市民懇談会座長 岐阜経済大学経済学部教授	三羽 光彦	
委員長	かがやきライフ委員会の代表者	安田 典子	
副委員長	かがやきライフ委員会の代表者	山田 祥子 溝口 隆司	
委 員	構成事業実施団体の代表者	特定非営利活動法人大垣まちづくり市民活動支援会議	中村 哲也 田中 禎一
		特定非営利活動法人くすくす	松野 智里 川瀬 淑佳
		スイトミュージアム研究会	名和 成範
		ぎふ「地球村」	川口 祐司
		2005園芸の会	古田富美子
		岐阜経済大学マイスター倶楽部	佐藤 有美 河並健太郎 馬久地 浩
		特定非営利活動法人大垣おやこ劇場	田中 洋子 川村 志保 竹川 晃子
		終の住まい研究会	辻本 周作
大垣市の代表者	大垣市企画部長	伊藤 義彦	
事 務 局	大垣市企画部政策調整課長	広瀬 幹雄	
	大垣市企画部政策調整課政策調整係長兼広域政策係長	寺嶋 太志	
	大垣市企画部政策調整課	高木 明弘	



「かがやきライフタウン構想市民懇談会」設置要綱

(目的)

第1条 市民、企業、大学、行政などの協働（パートナーシップ）により、「市民一人ひとりがいつまでも輝き続け、市民の魅力で活力あふれる街・大垣」の創造を図る「かがやきライフタウン構想（案）」を策定するため、かがやきライフタウン構想市民懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇談会の所掌事務は次のとおりとする。

- (1) かがやきライフタウン構想（案）の策定及び市長への提言に関すること。
- (2) かがやきライフタウン構想の啓発に関すること。
- (3) その他目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 懇談会は次に掲げる委員で組織し、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) NPO関係者
- (3) 生涯学習グループ関係者
- (4) 文化サークル関係者
- (5) スポーツ団体関係者
- (6) ボランティア団体関係者
- (7) 自治会関係者
- (8) 婦人会関係者
- (9) 青年団体関係者
- (10) 高齢者団体関係者
- (11) 国際交流団体関係者
- (12) 大学関係者
- (13) 高校関係者
- (14) 小中学校関係者
- (15) PTA関係者
- (16) 企業関係者
- (17) 公募による市民
- (18) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、平成17年3月31日までとする。

(座長)

第5条 懇談会に座長及び副座長を置く。

- 2 座長及び副座長は、委員の中から市長が指名する。
- 3 座長は、懇談会を代表し、会務を統括する。
- 4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるとき又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(懇談会)

第6条 懇談会は、座長が招集する。ただし、委員委嘱後の最初の懇談会は、市長が招集する。

- 2 懇談会は、委員の過半数が出席しなければ開催することができない。
- 3 懇談会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、座長の決するところによる。
- 4 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第7条 懇談会の事務局は、大垣市企画部政策調整課に置く。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか懇談会の運営に関し必要な事項は、その都度座長が定める。

附 則

この要綱は、平成16年6月1日から施行する。

「かがやきライフタウン構想市民懇談会」委員名簿

区 分		氏 名	役 職
座 長	学識経験者	三羽 光彦	岐阜経済大学経済学部教授
副座長	NPO関係者	山田 祥子	特定非営利活動法人大垣まちづくり市民活動支援会議副理事長
委 員	NPO関係者	安田 典子	特定非営利活動法人くすくす理事長
//	生涯学習グループ関係者	小藪 昭朗	大垣市社会教育委員議長
//	文化サークル関係者	加藤 晴彦	大垣市文化連盟専務理事
//	スポーツ団体関係者	田邊 之雄	財団法人大垣市体育連盟副会長
//	ボランティア団体関係者	山田 孝	社会福祉法人大垣市社会福祉協議会事務局地域福祉係長
//	自治会関係者	高橋 弘	大垣市連合自治会連絡協議会副会長
//	婦人会関係者	西田 松代	大垣市連合婦人会会計監査
//	青年団体関係者	高井 竜雄	大垣市青年のつどい協議会会長
//	女性団体関係者	高山紀美子	大垣夢ある女性の会副会長
//	高齢者団体関係者	富田 重幸	大垣市老人クラブ連合会会長
//	大学関係者	浅野 照章	岐阜経済大学事務局長兼理事長室長
//	大学関係者	榎本 律男	大垣女子短期大学図書館長
//	高校関係者	奥田 邦雄	岐阜県高等学校長協会西濃地区連絡理事(大垣商業高等学校校長)
//	小中学校関係者	大橋 和義	大垣市小中学校長会会長(興文小学校校長)
//	PTA関係者	安藤 映次	大垣市PTA連合会副会長
//	企業関係者	成瀬 重雄	大垣商工会議所事務局長
//	公募による市民	粥川加奈子	
//	公募による市民	柘植 藤	
//	公募による市民	辻本 周作	
//	公募による市民	濱川 将志	
//	公募による市民	星野トチロ	
//	公募による市民	溝口 隆司	
事務局		伊藤 義彦	大垣市企画部長
//		広瀬 幹雄	大垣市政策調整課長
//		寺嶋 太志	大垣市政策調整課政策調整係長兼広域政策係長
//		高木 明弘	大垣市政策調整課

かがやきライフ委員会 設立趣意書

大垣市では、物質的な豊かさから精神的な豊かさが求められ、経済大国から生活大国へと社会が転換している中、新たなまちづくりビジョンとして、平成16年9月に、「市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまち」を創っていかこうとする「かがやきライフタウン構想」が策定されました。

この構想の策定に当たっては、各種団体代表や公募市民の参画による「かがやきライフタウン構想市民懇談会」が設立され、市民が知識やノウハウを生かし、社会参加や地域貢献を通して自己実現や生きがいを実感できる大垣を創り出すための方策について意見交換を行い、構想のもととなる提言書を市へ提出しました。

「かがやきライフタウン構想」には、「(仮称)かがやきライフタウン・フェスティバルの開催」をはじめとするプロジェクトが位置付けられており、その具体化に当たっては、市民、企業、行政などによる協働の仕組みづくりとともに、市民等が主体となって構想を推進していく組織が必要です。

このため、「かがやきライフタウン構想市民懇談会」に参加した私たちが発起人となり、構想に位置づけられている「(仮称)かがやきライフタウン・フェスティバル」や「(仮称)かがやきライフ活動データベース」などの検討を通して、生きがいを感じる活動、誇りと愛着をもてる活動、活力を生み出す活動など、市民が「かがやいた人生を実感できるステージ」づくりを進める「かがやきライフ委員会」を設立しようとするものであります。

つきましては、当委員会の設立の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

平成17年1月

かがやきライフタウン委員会
設立発起人 安田 典子
山田 祥子
溝口 隆司

かがやきライフ委員会委員名簿

団体名	氏名
特定非営利活動法人くすくす	安田 典子
特定非営利活動法人大垣まちづくり市民活動支援会議	山田 祥子
特定非営利活動法人まち創り	溝口 隆司
特定非営利活動法人まち創り	平松 和夫
特定非営利活動法人まち創り	粥川加奈子
岐阜経済大学マイスター倶楽部	佐藤 有美
	北原 信男
大垣市環境市民会議	岩田 浩
プラチナプラザ 生きがいづくりたんぽぽ	辻本 周作
岐阜県コミュニティ診断士 日本コミュニティ政策学会 大垣市環境市民会議 木曾三川フォーラム 全国生涯学習まちづくり協会	伊藤 允人
マイスター倶楽部	河並健太郎
大垣薬草の会	種田 稔
	種田 久子
	山川 芳子
	北村 務
特定非営利活動法人まち創り スイトミュージアム研究会	名和 成範
	中川ヤスエ
パソコンまるごとアシスト	長谷川郁代

大垣市若手職員まちづくり研究会

1. 設置の目的

社会経済情勢が大きく変化する中、本市では、既存産業の振興、中心市街地の活性化、少子化対策など多くの課題を抱えており、これらの諸課題に対応するため、「水と緑と情報～魅力あふれる生活文化都市」を将来都市像とする第四次総合計画（平成13年度～平成22年度）に基づき、市民・企業・行政の協働によるまちづくりを進めている。

こうした中、「自己責任・自己決定」を原則とする地方分権時代に対応できる職員の政策形成能力の向上を図るとともに、「水」や「緑」をはじめとする本市の個性を発揮した魅力あるまちづくりを進めるため、「大垣市プロジェクトチームの設置に関する規程（昭和50年3月28日規程第8号）」に基づき、若手職員がそれぞれの所属部署にとらわれない自由な発想でまちづくりを検討する「プロジェクトチーム」を設置するもの。

2. 名 称

大垣市若手職員まちづくり研究会

3. 設置する部

企画部

4. 設置期間

設置日から平成18年3月31日まで

5. 構 成

- 総括者：企画部長
- 副総括者：政策調整課長
- 担当員：主査以下の職員を対象に募集
- 事務局：政策調整課政策調整係

6. 検討テーマ

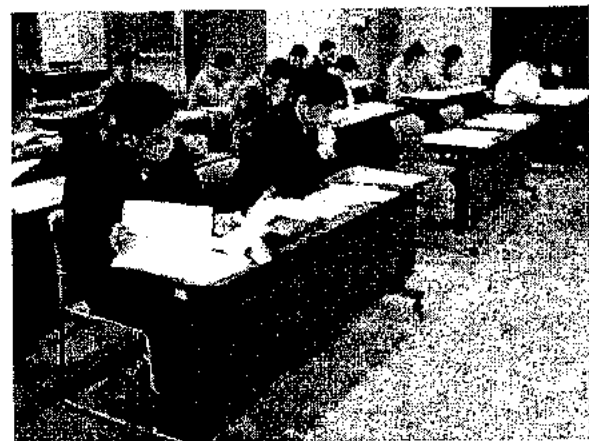
かがやきライフタウン構想について

「大垣市若手職員まちづくり研究会（第1期）」名簿

区分	所属	職名	補職名	氏名	備考
総括者	企画部	事務吏員	部長	伊藤 義彦	
副総括者	企画部	事務吏員	課長	広瀬 幹雄	
担当員	企画部	政策調整課	事務吏員	主査	奥田 卓巳
		秘書広報課	事務吏員	主任	渡部 直樹
		秘書広報課	事務吏員		石原佳奈枝
		人事課	事務吏員	主任	国枝 義典
	総務部	情報企画課	事務吏員	主任	横山 亮
		課税課	事務吏員		平野 暁
	生活環境部	市民課	事務吏員	主任	子安 英俊
		環境衛生課	事務吏員	主査	橋本 敦
	福祉部	資源対策課	事務吏員	主任	松井 淳
		社会福祉課	事務吏員	主任	三浦 武史
		高齢福祉課	事務吏員	主査	松山 正博
		高齢福祉課	事務吏員	主任	若園 竹伸
		介護保険課	事務吏員	主査	竹中 勝義
		子育て支援課	事務吏員	主任	伊藤 誠
		保険年金課	事務吏員	主査	永墓 正広
	経済部	保険年金課	事務吏員	主査	笠浪 俊彦
		商工観光課	事務吏員	主査	高木 俊介
		農務課	事務吏員		染谷 裕治
	建設部	公営競技事務所	事務吏員		箕浦 弘二
		管理課	事務吏員		須田山智成
		道路課	技術吏員	主査	田中 明
		治水課	技術吏員	主任	野原 直樹
	水道部	土地開発公社	事務吏員	主査	日比野勝之
		水道課	事務吏員		佐藤 靖子
		下水道課	技術吏員	主査	河瀬 良康
		下水道課	技術吏員	主任	古川 秀幸
	都市計画部	浄化センター	技術吏員		堀 一智
		都市計画課	事務吏員	主任	宮内 幸三
		都市施設課	技術吏員	主任	栗田 学
	議会事務局	建築課	技術吏員		舘 克典
		議事調査課	事務吏員		海谷まど夏
		教育委員会事務局	教育庶務課	事務吏員	小寺 鐘浩
		生涯学習課	事務吏員	主査	坂 隆
生涯学習課		事務吏員	主任	矢野裕一郎	
生涯学習課		事務吏員	主任	谷津 毅	
文化振興課		技術吏員	主任	大熊 貴光 (文化事業団施設課)	
担当員(事務局)	企画部	政策調整課	事務吏員	係長	寺嶋 太志
		政策調整課	事務吏員		高木 明弘

「大垣市若手職員まちづくり研究会（第2期）」名簿

区分	所属	職名	補職名	氏名	備考
総括者	企画部	事務吏員	部長	伊藤 義彦	
副総括者	企画部	事務吏員	課長	広瀬 幹雄	
担当員	企画部	秘書広報課	事務吏員	主査	松山 晃司
		秘書広報課	事務吏員	主任	神田 孝行
		秘書広報課	事務吏員	主任	田中 真貴
		秘書広報課	事務吏員		近藤留美子
		人事課	事務吏員	主任	石田 裕司
		人事課	事務吏員		土川 剛史
		情報企画課	事務吏員		残馬 智仁
	総務部	財務課	事務吏員		加藤 重徳
		課税課	事務吏員	主任	平野 暁
	生活環境部	環境衛生課	事務吏員	主任	山田 芳弘
		生活安全課	事務吏員	主任	種田 昌克
	福祉部	子育て支援課	事務吏員	主任	小林 晋
		保険年金課	事務吏員	主査	永墓 正広
	経済部	商工観光課	事務吏員	主査	高木 俊介
	建設部	管理課	事務吏員		須田山智成
		道路課	事務吏員	主任	富山 知一
	都市計画部	都市計画課	事務吏員	主任	宮内 幸三
		都市計画課	事務吏員	主任	三宅 忠
		建築課	技術吏員		舘 克典
教育委員会事務局	文化振興課	事務吏員		川瀬 邦聡	
	保健体育課	事務吏員	主任	林 隆司	
担当員(事務局)	企画部	政策調整課	事務吏員	係長	寺嶋 太志
		政策調整課	事務吏員		高木 明弘



かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議設置要綱

(目的)

第1条 市民の知識やノウハウを生かした様々なまちづくり活動を促進し、市民が生きがいや自己実現を実感できるまちを創り出すとともに、市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまちを創っていくとする「かがやきライフタウン構想」を全庁体制で推進するため、「かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議（以下「連絡調整会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 連絡調整会議の所掌事務は次のとおりとする。

- (1) 「かがやきライフタウン構想」の推進状況の管理に関すること。
- (2) 「かがやきライフタウン構想」の推進における関係部課の総合調整に関すること。
- (3) その他目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 連絡調整会議は、委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は市長とし、委員は助役、収入役、部長及びこれらに相当する職員をもって充てる。

(会議)

第4条 連絡調整会議の会議は、市長が招集し、企画部長がその運営にあたる。

2 市長は、必要があると認めるときは、前条に規定する職員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(幹事会)

第5条 市長は、連絡調整会議を補助し、基礎的な情報収集及び具体的な検討を行うため、幹事会を置く。

2 幹事会は、幹事長及び幹事をもって組織する。

3 幹事長は政策調整課長をもって充てる。

4 幹事は、事業部制における各部局の総括担当係を有する所属の長をもって充てる。

5 幹事会の会議は、幹事長が招集する。

6 幹事長は、必要があると認めるときは、幹事以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第6条 市長は、幹事会を補助し、予備的な情報収集及び具体的な検討を行うため、ワーキンググループを置く。

2 ワーキンググループは、ワーキンググループ長及びワーキンググループ員をもって組織する。

3 ワーキンググループ長は、政策調整課政策調整係長をもって充てる。

4 ワーキンググループ員は、事業部制における各部局の総括担当係長をもって充てる。

5 ワーキンググループの会議は、ワーキンググループ長が招集する。

6 ワーキンググループ長は、必要があると認めるときは、ワーキンググループ員以外の者を会議に出席させ、意見又は説明を聴くことができる。

(オブザーバー)

第7条 市長、幹事長及びワーキンググループ長は、必要があると認めるときは、オブザーバーとして、関係者に会議への参加を求めることができる。

(事務局)

第8条 連絡調整会議の事務局は、政策調整課に置く。

2 市長は、必要があると認めるときは、専門知識を有する者にアドバイザーとして参加を求めることができる。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、連絡調整会議の運営に関して必要な事項は、その都度市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成16年11月30日から施行する。

かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議

委員長	市長	小川 敏
委員	助役	土屋三千男
//	収入役	説田 泰朗
//	教育長	子安 一徳
//	技監	渥美 智康
//	企画部長	伊藤 義彦
//	新市移行準備室長	近藤 茂
//	総務部長	水井 静雄
//	生活環境部長	小倉竹治郎
//	福祉部長	五島 定和
//	経済部長	高橋 信一
//	公営競技事務所長	早藤 智章
//	建設部長兼東海環状推進室長	浅井 幸治
//	東海環状推進室付室長	寺尾 均
//	水道部長	古川 則義
//	都市計画部長	清水 義彦
//	議会事務局長	勝野 武司
//	教育委員会事務局長	牧野 義貞
//	市民病院事務局長	小川 博隆
//	消防長	佐藤 敏夫

かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議幹事会

幹事長	政策調整課長	広瀬 幹雄
幹 事	財務課長	川合 幸典
//	環境衛生課長	窪田 一仁
//	社会福祉課長	中島 章
//	商工観光課長	田中 重勝
//	管理課長	野寺 紀夫
//	水道課長	安藤 清
//	都市計画課長	渡辺 隆司
//	議事調査課長	河内 雅善
//	教育庶務課長	北村 武久
//	病院庶務課長	佐竹 啓一

かがやきライフタウン構想庁内連絡調整会議ワーキンググループ

ワーキンググループ	政策調整課政策調整係長	寺嶋 太志
ワーキンググループ	財務課庶務・情報管理担当係長	安藤 亨
//	環境衛生課生活排水係長	道鬼 富博
//	社会福祉課庶務係長	橋本 敦
//	商工観光課商工振興係長	平野 孝義
//	管理課経理係長	田川 博康
//	水道課経理係長	片岡 博
//	都市計画課計画係長	岡田 重光
//	議事調査課庶務係長	坂 喜美和
//	教育庶務課庶務係長	守屋 明彦
//	病院庶務課庶務係長	安田 敏明

事務局

政策調整課長	広瀬 幹雄
政策調整課政策調整係長	寺嶋 太志
政策調整課	高木 明弘

新聞記事・広報記事

～「発見」・「交流」・「活動」を楽しむフェスティバル～

かがやきライフタウン・大垣2005
実施団体を募集します

市は、市民が生きがいを
実感できる輝いた人生を送
るためのきっかけづくりと
して、発見・交流・活動を
キーワードとする「かがや
きライフタウン・大垣2005」
＜事業内容と委託金＞

を開催します。
今回、このフェスティバ
ルを構成する事業を実施す
る市民団体を募集し、コン
ペティション（＝企画競争）
を行います。

*応募資格/大垣市に登録
している市民活動団体を
はじめ、市内で活動して
いる市民団体
*内容など/11月19・20日
に大垣城ホールなどで開
催されるフェスティバル
「かがやきライフタウン・
大垣2005」の各事業の企
画・運営。事業内容と委
託金は左表のとおり
*応募方法/5月15日～6
月30日に応募書を提出
詳しくは、政策調整課（内
線294）でお尋ねください。

分野	内 容	上乗額
発見	輝いた人生を送るための講演会 市民が輝く活動メッセ	3,500千円
交流	輝いたまちを創る交流会	500千円
	子育て交流会	500千円
	その他の分野での 2つの交流会	各200千円
	未来の大垣を考える学生会議	100千円
活動	輝いた人生を送るための活 動体験	300千円
	子どもが輝く活動 プラチナ世代が輝 く活動	500千円

広報おおがき 5月15日号

みんなの力で創り上げる
かがやきライフタウン・大垣2005

市民主体の
フェスティバル

市は、昨年9月に「かが
やきライフタウン構想」を
策定し、市民一人ひとりが

いつまでもかがやき続け、
市民の力で活力あふれる
まちの現実に向け、まちづ
くりを進めています。
現在、この構想の一環と
して、11月19日（土）と20日

（日）の両日に、市民主体の
フェスティバル「かがやき
ライフタウン・大垣2005」
を開催を予定しています。
運営や事業内容について
は、今年2月に発足した市
民の皆さんによる「かがや
きライフ委員会」と活発な
議論を重ね、検討してしま
した。

「発見」・「交流」・「活動」をテーマに事業展開

- 輝いた人生を送るための講演会…市民活動などの実務者
や著名人を迎えての講演会
- 市民が輝くメッセ…県内外の市民団体、ボランティア団
体、生涯学習グループなどの活動を舞台やブースで紹介
- 輝いたまちを創る交流会…近隣の団体などとの交流に
よる情報交流会
- 未来の大垣を考える学生会議…小学生、中学生、高校生、
大学生と市長との座談会
- 輝いた人生を送るための活動体験…さまざまな体験を通
じて、自己実現や生きがいを実感できる活動へのきっか
けづくり（例：大垣100へえ物語の作成、かがやきさん
の発見、周年式の開催など）

この結果、「発見」「交流」
「活動」をテーマにした左記
のようなフェスティバル
を、みんなの力で創り上げ
たいと考えています。
実施にあたっては、市民
団体を対象としたコンペテ
ィション（＝企画競争）を
行い、審査を経て、市から
各種事業を委託します。市

民団体が企画・運営するこ
とで、市民の皆さんの持つ
個性や能力、知識が生かさ
れ、より輝いたフェスティ
バルとなることが期待され
ます。

あなたの「かがやき」を
活力あるまちづくりに生か
してみませんか。
「かがやきライフタウン・
大垣2005」について詳しく
は、政策調整課（内線294）
でお尋ねください。

実施団体を募集

*応募資格/大垣市に登録
している市民活動団体を
はじめ、市内で活動して
いる市民団体
*募集内容/「かがやきラ
イフタウン・大垣2005」
の各種事業の企画・運営
（詳しくは、次の事業説

明会にご参加ください）
*応募方法/応募締切日に
備え付けの応募書（市ホ
ームページからもダウン
ロードできます）を、6
月30日までに同封へ提出

事業説明会を開催

*とき/5月4日（土）午
後2時～
*ところ/大垣市まちづく
り市民活動支援センター
（館町2）
*内容/「かがやきライ
フタウン・大垣2005」の開
催趣意、募集内容などに
ついて



広報おおがき 6月1日号

「かがやきライフタウン・大垣」 パートナーシップ事業を募集!

市は、「市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまち」を創っていこうとする「かがやきライフタウン構想」を進めています。この構想は、市民の皆さんが持つ知識、経験、ノウハウを、文化、スポーツ、環境、緑化などさまざまな分野のまちづくりに生かしていこうとするものです。市は、さらなる展開を図るため、構想の主役となる市民の皆さんが実施する事業を「かがやきライフタウ

ン・大垣」パートナーシップ事業として登録し、ホームページなどで事業のPRを行います。事業実施団体は、事業の案内チラシやポスターなどに「かがやきライフタウン・大垣」パートナーシップ事業の言葉を記載し、かがやきライフタウン構想のPRを行ってください。パートナーシップ事業への登録は次のとおりです。たくさんのご応募をお待ちしています。
*対象事業/大垣市、上石

津町、豊保町において平成17年8月以降に実施する事業で、かがやきライフタウン構想の趣旨に沿ったイベントや講演会、発表会など
*応募方法/政策調整課にある登録申請書に、必要事項を記入し、同課へ提出してください(登録申請書は市ホームページからもダウンロード可)かがやきライフタウン構想について詳しくは、政策調整課(内線294)でお尋ねください。

広報おおがき 8月1日号

かがやきライフタウン・大垣2005

市民主役のフェスティバル 参加者募集!!

市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまちを創っていこうとする「かがやきライフタウン構想」——。そのきっかけづくりとして、「かがやきライフタウン・大垣2005」を、11月19日(土)・20日(日)に、大垣城ホールを主会場として開催します。

このフェスティバルでは「発見」「交流」「活動」をテーマに各種事業を展開。市民の皆さんが、それぞれの活躍の場を発見し、交流を深め、自己実現や生きがいを実感できる場を創出します。皆さん、お気軽にご参加ください。詳しくは、政策調整課(内線294)でお尋ねください。

かがやきスラサ

▷市民活動をはじめとするさまざまな活動の実務者や著名人を迎える講演会
▷市民活動団体・ボランティア団体・生涯学習活動団体・企業の社会貢献グループなどの活動を紹介するブース展示 ▷フリーマーケット ▷ステージイベント
▷出展者&出演者募集
ブース展示やステージイベントへの参加を希望する市内中心に活動する団体を募集します。申し込みなど詳しくは、まちづくりプラザ(☎/ℱ75-0394)へ。

子育て中の親の癒し 講演会&異世代交流会

▷子育てをテーマとする活動の実務者や著名人を迎

アート・イン・大垣城ホール

▷地元アーティストによるアート(芸術・文化作品)の展示・フリーマーケット
▷出展者募集
アーティストを目指している方、すでにアーティストとして活躍中の方で、フリーマーケットに出展を希望する方を募集します。申し込みなど詳しくは、まちづくりプラザ(☎/ℱ75-0394)へ。

かがやきセミナー

▷身近な環境問題や地球規模の環境問題に取り組み、

輝いた生き方をしている人を講師に迎えるセミナー

▷環境をテーマとした現状や活動などを紹介するパネル展示

大垣に園芸福祉活動を広めよう!

▷緑や花を守り、育て、生かしながら、健康で快適な生活を送ることができるまちづくりを考える交流会
▷園芸福祉活動の実務者による講演会 ▷ベクトルを利用した寄せ植え体験

おおがき未来創造会議

▷大垣市の将来を担う若者(小・中学生、高校生、大学生)の視点から、今後の大垣のまちづくりに関する提言を行う学生会議

忍びを忍者がはしる!! ~忍たま大集合~

▷子どもたちが忍者になって修行や任務をこなし、子どもと大人が一緒になって大垣の街を舞台に遊ぶ▷街をつかった遊びを子どもたち自身が考えるワークショップ
▷参加者募集
忍者に扮して修行を行う親子を募集します。申し込みなど詳しくは、NPO法人大垣おやこ劇場(☎/ℱ73-8222)へ。

プラチナオンステージ(元氣な熟年のつどい)

▷プラチナ世代の輝いた体験などの発表▷新たな誓いと決意を主張するステージ▷屋台形式による木目込、折紙、書、絵手紙、メイクなどの講座▷特技を生かしたステージイベント
▷出演者募集
55歳以上で、自慢できる特技(手品・日舞・歌声・三味線など)を持ち、ステージでの発表を希望する方を募集します。申し込みなど詳しくは、まちづくりプラザ(☎/ℱ75-0394)へ。

広報おおがき 9月15日号

~あなたにとって輝いた人生とは~

かがやきライフタウン 大垣2005

とき/11月19日④・20日⑤
ところ/大垣城ホール・大垣公園・総合福祉会館ほか
「発見」・「交流」・「活動」の3つのテーマ

市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまちを創っていこうとする「かがやきライフタウン構想」——。そのきっかけづくりとして、「かがやきライフタウン・大垣2005」を、11月19日(土)・20日(日)に、大垣城ホールを主会場として開催します。このフェスティバルでは、市民の皆さんが、それぞれの活躍の場を「発見」し、お互いに「交流」しあい、自己実現や生きがいを実感できる「活動」の場を創出します。申し込み方法など詳しくは、政策調整課(内線294)でお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。

発見

かがやきプラザ
企画運営:大垣まちづくり市民活動支援会
①五風庄兵衛(からくり人形師)のからくりの世界(要申し込み)
とき/19日④ 11時15分~12時45分
ところ/大垣城ホール
内容/講演とからくり変演
②市民が輝く活動メッセ
とき/19日④・20日⑤ 午前10時~午後5時(20日は午後4時まで)
ところ/大垣城ホール
内容/市民活動団体、ボランティア団体などの活動を紹介するブース展示、フリーマーケット、オンステージなど
③イキイキメイク体験(要申し込み)
とき/19日④ 午後1時~2時30分(20~30歳代の人)、午後3時~4時30分(40歳代以上の人)
ところ/まちづくりプラザ(和町2)

セレモニー

ところ/大垣城ホール
①オープニング
とき/19日④ 午前10時15分~10時45分
②クロージングステージ
とき/20日⑤ 午後3時30分~4時



活動

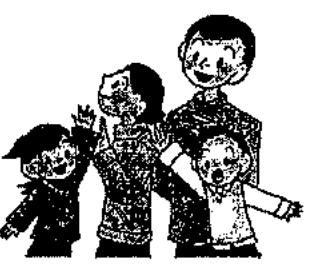
まちに忍者がはしる!! 忍たま大集合
企画運営:大垣おやこ劇場
とき/20日⑤ 午前10時~正午
ところ/大垣公園、旧大垣城体育館ほか
内容/子どもが忍者修行をするまち遊び体験など(要申し込み)
③プラチナオンステージ(元氣な熟年のつどい)
とき/19日④ 午後3時30分~5時、20日⑤ 午後0時30分~2時
ところ/大垣城ホール
内容/大垣市、上石津町、豊保町の熟年世代による手品、日舞、歌など特技の披露やこれからの輝く人生を語るステージ
④プラチナオンステージ
とき/20日⑤ 午後2時30分~3時30分
場所/大垣城ホール

交流

高野優さんのトークとおしゃべり会
わくわく異世代地産物体験
企画運営:くすくす
①トーク&おしゃべり会(要申し込み)
とき/20日⑤ 午後2時~3時30分
ところ/総合福祉会館5階ホール
内容/漫遊家高野優さんによる講演とおしゃべり会
②熱気球体験(事前に要申し込み)
とき/19日④ 午前10時15分~午後0時15分、午後2時~4時
ところ/大垣公園城西広場
定員/各回70人
大垣に園芸福祉活動を広めよう!
企画運営:2005園芸の会
③講演(要申し込み)
とき/20日⑤ 午後1時30分~2時30分
ところ/大垣城ホール
内容/植しの園芸の会コーディネーターの講演
④ベクトルを利用した寄せ植え体験(要申し込み)とパネル展示
とき/19日④ 午前10時45分~午後0時45分、午後1時30分~3時30分、20日⑤ 午前10時30分~午後0時30分、午後2時30分~3時30分
ところ/大垣城ホール

おおがき未来創造会議

企画運営:岐阜大学マイスタークラブ
とき/20日⑤ 午後2時~3時30分
ところ/大垣城ホール
内容/大垣市長、上石津町長、豊保町長と高校生、大学生による今後のまちづくりについての座談会



かがやけ! 男女共同参画トーク

一本音で語る 男の育児休暇?
市は今年3月、県下で初めて「男女共同参画都市」を宣言しました。この宣言の記念事業として、男女共同参画をテーマとしたトーク集を開きます。男性の育児休暇や積極的な女性の人事採用などをテーマに、大学生、高校生や主婦な

ど、男女約20人が本音で話し合います。ぜひ、ご観覧ください。(申し込み不要)詳しくは、男女共同参画推進室(内線230)でお尋ねください。
▷対象/男女共同参画について関心のある中学生以上の人
▷とき/11月19日(土) 午後2時30分~3時30分
▷ところ/大垣城ホール(かがやきライフタウン・大垣2005会場)

広報おおがき 11月1日号

折り紙、講演... 催し多彩

大垣市の市民団体活動発表イベント 「かがやきライフタウン」開幕



市民活動団体が活動成「かがやきライフタウン」を披露するイベント。大垣2005（大垣市）会場。参加者らによるクリスマスツリー作り。

市民活動団体が活動成「かがやきライフタウン」を披露するイベント。大垣2005（大垣市）会場。参加者らによるクリスマスツリー作り。

市民一人ひとりが活躍するまち大垣を創る「かがやきライフタウン」構想を、昨年市民の皆さんにより決定していただきました。その実現のためには、市民の皆さんが活躍の場を発見し、お互いに交流し、生きがいを実感できる活動をしていただくことが大切です。そうした思いから、市民の皆さんが主役となる「かがやきライフタウン」が、大垣2005を開幕します。

同フェスティバルは、十一月十九日、二十日、大垣城ホールを中心に、大垣公園、総合福祉会館などで「発見」交流「活動」の三つの分野を柱として、八つの事業を展開します。玉屋庄兵衛のからくり人形や、漫画家高野純一さんの子育てトーク、環境セミナー、アーティストのワークショップ、音楽療法やペットボトルを利用した寄せ植え体験、さらには子どもが忍者修行をするなど大集合なイベントが満載です。また、市民が活躍の場「フェスティバル」が、大垣市、上石津町、豊原町をはじめ市内外のまちづくり、ボランティア、生涯学習、文化、スポーツなど約五十の団体が、各フェスティバルでそれぞれの活動を紹介します。この機会に、皆さんもぜひお立ち寄りください。

十五万市民の皆さんは、すべて違った個性をお持ちです。たとえば熱心な世代の方は人生経験が豊富で、それぞれの方が多くの知識や技術をお持ちです。それら自分の持ち味を社会活動で発揮し、生きがいとしていただきたいと思います。

生涯学習から自己発見、そして社会貢献へ。スローライフからかがやきライフへ。十五万市民一人ひとりが魅力と個性を発揮できるまちを創りましょう。



市長の
かがやきライフタウン

市民一人ひとりが活躍するまち大垣を創る「かがやきライフタウン」構想を、昨年市民の皆さんにより決定していただきました。その実現のためには、市民の皆さんが活躍の場を発見し、お互いに交流し、生きがいを実感できる活動をしていただくことが大切です。そうした思いから、市民の皆さんが主役となる「かがやきライフタウン」が、大垣2005を開幕します。

同フェスティバルは、十一月十九日、二十日、大垣城ホールを中心に、大垣公園、総合福祉会館などで「発見」交流「活動」の三つの分野を柱として、八つの事業を展開します。玉屋庄兵衛のからくり人形や、漫画家高野純一さんの子育てトーク、環境セミナー、アーティストのワークショップ、音楽療法やペットボトルを利用した寄せ植え体験、さらには子どもが忍者修行をするなど大集合なイベントが満載です。また、市民が活躍の場「フェスティバル」が、大垣市、上石津町、豊原町をはじめ市内外のまちづくり、ボランティア、生涯学習、文化、スポーツなど約五十の団体が、各フェスティバルでそれぞれの活動を紹介します。この機会に、皆さんもぜひお立ち寄りください。

十五万市民の皆さんは、すべて違った個性をお持ちです。たとえば熱心な世代の方は人生経験が豊富で、それぞれの方が多くの知識や技術をお持ちです。それら自分の持ち味を社会活動で発揮し、生きがいとしていただきたいと思います。

広報おがき 11月15日号

「かがやきライフタウン」大垣2005 発表会

市民一人ひとりが活躍するまち大垣を創る「かがやきライフタウン」構想を、昨年市民の皆さんにより決定していただきました。その実現のためには、市民の皆さんが活躍の場を発見し、お互いに交流し、生きがいを実感できる活動をしていただくことが大切です。そうした思いから、市民の皆さんが主役となる「かがやきライフタウン」が、大垣2005を開幕します。

同フェスティバルは、十一月十九日、二十日、大垣城ホールを中心に、大垣公園、総合福祉会館などで「発見」交流「活動」の三つの分野を柱として、八つの事業を展開します。玉屋庄兵衛のからくり人形や、漫画家高野純一さんの子育てトーク、環境セミナー、アーティストのワークショップ、音楽療法やペットボトルを利用した寄せ植え体験、さらには子どもが忍者修行をするなど大集合なイベントが満載です。また、市民が活躍の場「フェスティバル」が、大垣市、上石津町、豊原町をはじめ市内外のまちづくり、ボランティア、生涯学習、文化、スポーツなど約五十の団体が、各フェスティバルでそれぞれの活動を紹介します。この機会に、皆さんもぜひお立ち寄りください。

十五万市民の皆さんは、すべて違った個性をお持ちです。たとえば熱心な世代の方は人生経験が豊富で、それぞれの方が多くの知識や技術をお持ちです。それら自分の持ち味を社会活動で発揮し、生きがいとしていただきたいと思います。

岐阜新聞 朝刊 11月18日

市民一人ひとりが魅力と個性を発揮するまちづくり

大垣でフェスタ

市民一人ひとりが魅力と個性を発揮できるまちづくりを目標としたフェスティバル「かがやきライフタウン」が、大垣市、上石津町、豊原町をはじめ市内外のまちづくり、ボランティア、生涯学習、文化、スポーツなど約五十の団体が、各フェスティバルでそれぞれの活動を紹介します。この機会に、皆さんもぜひお立ち寄りください。

十五万市民の皆さんは、すべて違った個性をお持ちです。たとえば熱心な世代の方は人生経験が豊富で、それぞれの方が多くの知識や技術をお持ちです。それら自分の持ち味を社会活動で発揮し、生きがいとしていただきたいと思います。

毎日新聞 朝刊 11月21日

岐阜新聞 朝刊 11月20日

発行：大垣市企画部政策調整課

課長：広瀬、係長：寺嶋、係：高木

〒503-8601 大垣市丸の内2-29

TEL：(0584) 81-4111

FAX：(0584) 81-3301

E-mail：seisakuchouseika@city.ogaki.gifu.jp